Vodafone 804NK 取扱説明書

9247900
第 2 版

CE 434

適合宣言
NOKIA CORPORATION は、その責任において、本製品「RM-67」が Council Directive 1999/5/EC の規定に準拠していることをここに宣言します。適合宣言書につきましては、こちらをご参照ください。
http://www.nokia.com/phones/declaration_of_conformity/

交差した線が引いてある車輪付きのごみ箱マークは、欧州連合では製品の寿命が尽きたときに分別回収されることを意味しています。これは本製品だけでなく、このマークが付いているどのアクセサリ製品にも適用されます。これらの製品を自治体の無分別廃棄物として廃棄しないでください。

Nokia、Nokia Connecting People、Pop-Port、Visual Radio は、Nokia Corporation の登録商標または商標です。本書に記載されている製品名、社名は、各所有者の商標、または商標名です。

Nokia tune は Nokia Corporation の商標です。

symbian

本機には、Symbian Software Ltd © 1998-200(6) よりライセンス供与されたソフトウェアが含まれています。Symbian および Symbian OS は、Symbian Ltd の商標です。

Java™ およびすべての Java ベースの商標は、Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

Stac ®, LZS ®, © 1996, Stac, Inc., © 1994-1996 Microsoft Corporation. 米国特許 No 4701745、5016009、5126739、5146221、および 5414425 を取得しており、また、その他の特許を出願中です。

Hi/fn ®, LZS ®, © 1988-98, Hi/fn. 米国特許 No 4701745、5016009、5126739、5146221、および 5414425 を取得しており、また、その他の特許を出願中です。

本機ソフトウェアの一部の著作権は © Copyright ANT Ltd. が所有しています。(1998 年)。

本機は米国特許 No 5818437 を取得しており、また、その他の特許を出願中です。T9 テキスト入力ソフトウェアの著作権 © は Tegic Communications, Inc. が所有しています。(1997-2006 年)

本製品は、次の目的に関して、MPEG-4 Visual Patent Portfolio License に基づくライセンス許可を得ています。(i) 消費者が個人的および非営利的活動において MPEG-4 Visual Standard に準拠して情報をエンコードする場合、それに関連する個人的および非営利的使用。(ii) ライセンス許可を得たプロバイダによって提供された MPEG-4 ビデオに関連する使用。前述以外の使用のためには、黙示的なものも含め、いかなるライセンスも許諾されていません。宣伝、内部的、商業的な使用に関係する追加情報は、MPEG LA. LLC から入手できます。http://www.mpegla.com を参照してください。

Nokia は製品の改良を継続的に行っています。そのため、本書に記載された全ての製品の仕様は、事前の通知なしに変更または改良されることがあります。

Nokia は、状況のいかんを問わず、データまたは収益の喪失、またはいかなる特別損害、付随損害、派生損害、間接損害に対しても一切責任を負いません。

本書は、現状有姿のまま提供されるものです。準拠法により要求される場合を除き、Nokia は、本書の正確性、信用性に関連するいかなる明示的または黙示的保証も行いません。この保証には、商品性、および特定目的に対する適合性の黙示的な保証を含みますが、これに限定されません。Nokia は、事前の通知なく本書を変更する権利または取り消す権利を有します。

使用できる製品は地域により異なります。お近くの Nokia 代理店にお問い合わせください。

本機には、米国および他の国の輸出関連法令の適用対象となる商品、技術、またはソフトウェアが含まれています。法令に違反する輸出は禁じられています。

FCC / INDUSTRY CANADA の通告

本機は、TV またはラジオに電波障害を引き起こす可能性があります（例えば電話機を受信機器の近くで使用した場合）。FCC または Industry Canada は、そのような電波障害が除去されない場合は、電話機の使用の中止を要求することができます。必要な場合は、地域のサービス機関にお問い合わせください。本機は、FCC 規則の第 15 条に適合しています。本機が有害な電波障害を引き起こさないという条件に従って本機を操作してください。

9247900
第 2 版

本機用の追加アプリケーションについて

本機の製品パッケージには、メモリカードと CD-ROM が同梱されており、その中には Nokia や第三者が開発した追加アプリケーションが格納されています。メモリカードと CD-ROM の内容や、アプリケーションとサービスの利用可能性は、国、代理店、携帯電話事業者によって異なる場合があります。www.nokia.com/support で提供されるアプリケーションと、そのアプリケーションの使い方に関する詳細情報は、限定された言語でのみ提供されます。

一部の操作や機能は、USIM カードやネットワークによって、MMS によって、または機器の互換性や対応しているコンテンツ形式によって変わります。一部のサービスでは、別料金がかかることがあります。

非保証の表示

メモリカードと CD-ROM に格納されている第三者製アプリケーションは、ノキアとは関連のない個人または法人によって作成され、所有されています。ノキアはこれら第三者製アプリケーションについての著作権や知的財産権を有しておりません。従いまして、ノキアはこれらの第三者製アプリケーションの機能や、アプリケーションに含まれる情報や素材について責任を負いません。ノキアはこれらアプリケーションに関する保証も行いません。

あなたは、このソフトウェア及び / またはアプリケーション (総合して以下「ソフトウェア」と称します) が現状有姿 (“as is”) で提供され、適用ある法律によって認められる最大限の範囲で、あらゆる明示的および黙示的な保証も提供されないことを確認します。ノキアおよび関連会社は、明示または黙示の如何を問わず、権限や商業性の保証、特定目的への適合性に関する保証、またはソフトウェアが第三者の特許、著作権、商標などの権利を侵害しないことの保証を含み (ただしこれらに限定されない)、いかなる保証もするものではありません。ノキアもその関連会社も、ソフトウェアのどの部分もあなたの要求に見合うものであるかどうかについて、また、ソフトウェアの操作が中断されないことや、エラーが発生しないことについて、一切保証を行いません。あなたは、ご自身の意図する目的を達成させるためのソフトウェアの選択、またソフトウェアのインストール、使用、ならびにそれらによる結果に対して全責任を負うものとします。ノキア、その従業員および関連会社は、ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害 (逸失利益、売上、データ、情報、代替品またはサービスの購入費用、物質損害、人的損害、事業の中断、その他の特別な、または間接的、付随的、経済的、結果的な損害を含みますが、これらに限られないものとします。) についても、それがどのような原因により生じたものであっても、契約、不法行為、過失その他のいかなる責任理論によるものであっても、一切の責任を負いません。またノキアもしくは関連会社がそのような損害の可能性について知らされていた場合でも同様とします。国、州、または管轄によっては上述のような保証の排除または責任の制限を認めていない場合がありますが、責任の上限額を設定することを認めている場合があります。かかる場合には、ノキア、その従業員および関連会社の責任は、50 ユーロを上限とします。この免責条項は、消費者に認められている法的権利を侵害するものではありません。

本書に記載された製品の仕様は、事前の通知なしに変更または改良されることがあります。使用可能性は国や地域により異なります。

NOKIA CORPORATION
NOKIA MULTIMEDIA MARKETING
P.O. BOX 100, FIN-00045 NOKIA GROUP, FINLAND
TEL. +358 7180 08000
TELEFAX +358 7180 34016
WWW.NOKIA.COM

目次

電話帳 42

メール 159

ウェブ 177

安全上のご注意

次のガイドラインをお読みください。ここに記載されている注意事項をお守りいただくことで、危険な状態が生じる可能性や違法行為を未然に防ぐことができます。また、本書では更に詳しい説明も記載されています。

安全を確認して電源をお入れください
携帯電話の使用が禁止されている場合や、電波干渉、または危険な状態を引き起こす可能性がある場合は、電話機の電源を入れないでください。

交通安全を最優先に
ご使用になる地域のすべての法令に従ってください。運転中は携帯電話を手に持たないでください。運転中は安全第一を心がけてください。

電波干渉
携帯電話は電波干渉に敏感で、電波干渉を受けると動作に影響が及ぶ場合があります。

病院では電源をお切りください
規則に従い、医療機器の近くでは電話機の電源をお切りください。

航空機内では電源を切ってください
規則に従い、航空機内では電話機の電源をお切りください。無線機器の使用は、機内で何らかの電波干渉を引き起こすことがあります。

給油時には電源をお切りください
ガソリンスタンドなど、燃料や化学薬品の近くでは 携帯電話を使用しないでください。

爆発現場付近では携帯電話を使用しないでください
規則に従い、爆発処理が行われている現場では携帯電話を使用しないでください。

正しくご使用ください
製品に付属の取扱説明書に従い、電話機を通常の位置で使用し、不必要にアンテナ部分に触れないでください。

正規サービス
資格のあるサービススタッフ以外は、装置の取り付けや修理を行わないでください。

アクセサリと電池 指定のアクセサリや電池を使用してください。また、本機に対応していない機器を接続しないでください。

水をかけないでください
本機は防水仕様ではありません。水気のあるところで使用しないでください。

データのバックアップ
本機に保存した重要なデータは、すべてバックアップ、またはメモを取るようにしてください。

他の機器への接続
本機を他の機器へ接続する場合、その製品に付属の取扱説明書に記載された安全上の注意をお読みください。また、本機に対応していない機器を接続しないでください。

緊急通報
本機の 電源が入っており、サービスエリア内であることを確認します。キーパッドは、本機がオープンポジションモードの状態でのみ使用できます。 を必要なだけ押して通話中の電話を終了する、または使用中のメニューを終了し、待受画面に戻します。緊急通報の電話番号を入力し、 を押します。電話がつながったら現在地を知らせて、指示があるまでは電話を切らないでください。

本機について

本機は、EGSM 900/1800/1900 および WCDMA 2100 ネットワーク上での利用が認められています。これらのネットワークについての詳細は、ご契約されている携帯電話事業者にご確認ください。

本機を、すべての法律に従って正しくご使用ください。また、他人のプライバシーや正当な権利を尊重し、適切なご使用を心がけてください。

画像撮影やビデオ録画は、すべての法律に従い、他人のプライバシーや正当な権利、またご使用になる国や地域の習慣を尊重し、適切なご使用を心がけてください。

警告：アラーム以外の本機のあらゆる機能を使うためには、電源を入れる必要があります。電波干渉や危険な事態を引き起こす可能性がある場合は、本機の電源を入れないでください。

ネットワークサービス

本機を利用するにあたって、携帯電話事業者のサービスが必要となります。本機の機能のほとんどがネットワーク側の機能に依存しています。これらのネットワークサービスは、すべてのネットワークで利用できるとは限りません。また、ネットワークサービスをご

利用になる前に、ご契約されている携帯電話事業者のサービスに加入するなどの手続きが必要になる場合があります。ご契約されている携帯電話事業者から、サービスをご利用になる際の追加の指示や、課金についての説明が必要になる場合があります。一部のネットワークでは、ネットワークサービスの利用に制限がある場合があります。ネットワークによっては、各言語特有の文字やサービスをすべてサポートできない場合があります。本書では、ネットワークを利用する機能に対して、（ネットワークサービス）と表記しています。

ご契約されている携帯電話事業者が、本機の一部の機能を停止、または無効にしている場合があります。その場合は、それらの機能が本機のメニューに表示されません。本機は特別な仕様に設定されている場合があります。その場合は、メニュー名やメニューの順番、アイコンなどが異なって表示される場合があります。詳細については、ご契約されているサービスプロバイダにお問い合わせください。

本機は、TCP/IP プロトコルを基盤とした WAP 2.0 プロトコル (HTTP と SSL) に対応しています。本機の MMS、ブラウザ、E-mail、またはブラウザや MMS を経由したコンテンツダウンロードなどの機能には、このような技術に対応したネットワークが必要になります。

アクセサリ、電池、充電器

電池を本機から取り外す際は、常に本機の電源を切り、充電器から外した状態でおこなってください。

充電器をご使用になる前に、充電器の型番を確認してください。本機は、DC-4、AC-3、AC-4 充電器、また、充電器アダプタ CA-44 は、AC-1、ACP-7、ACP-8、ACP-9、ACP-12、LCH-8、LCH-9、LCH-12 充電器に対応しています。

本機に対応している電池は、BL-5C です。

警告：本機を使用する際には、Nokia が認定した電池、充電器およびアクセサリのみを使用してください。これ以外の機器を使用すると、本機に対する認定あるいは保証の対象外となるだけでなく、事故などが起こる場合があります。

認定アクセサリの在庫状況については、製品お買い上げ店までお問い合わせください。アクセサリの電源コードを外す際には、コードではなくプラグを持って抜いてください。

本機のデータをプリンタを使用して印刷する場合、印字対応言語や印刷の性能などはプリンタに依存されます。

本書に記載されているアイコンや表示は、電話機に表示されるものと異なる場合があります。

はじめに

本書の見かた

本書には次のマークが使用されています。

マーク	説明
注意：	本機を操作する上で必要な注意点を記載しています。
重要：	セキュリティに関する記述です。
警告：	操作中などに身体に影響を及ぼす可能性が想定される場合、注意事項を記載しています。
補足：	操作の補足的な説明になります。
用語：	特殊な用語の説明になります。

キーの表記について

各キーの位置については、「各部の名称」(P.26) を参照してください。

ナビゲーションキー () の表記は次のようになります。

キー	説明
	操作を決定するときにナビゲーションキーの中央を押します。
	ナビゲーションキー左を押します。
	ナビゲーションキー右を押します。
	ナビゲーションキー上を押します。
	ナビゲーションキー下を押します。

画面下部の左右に表示されるソフトキーは、
[オプション] のように [　] 付きで記載しています。

お買い上げ品の確認

- Vodafone 804NK 本体
- 電池パック BL-5C
- AC アダプタ AC-4
- Vodafone 804NK 取扱説明書
- Vodafone 804NK ファーストステップガイド
- miniSD カード 128MB(装填済み)
- ステレオヘッドセット HS-23
- USB 接続ケーブル CA-53
- PC Suite 用 CD-ROM

Vodafone、Vodafone live！およびスピーチマークデバイスは Vodafone Group Plc の登録商標または商標です。
TV コール、V アプリ、着ビデオはボーダフォン株式会社の登録商標または商標です。

ご利用になる前に

USIM カードのお取り扱い

■ USIM カードをご利用になる前に

USIM(ユーシム）カード（以下 USIM カード）は電話番号やお客様情報が入った IC カードです。USIM カード対応のボーダフォン携帯電話に取り付けて使用します。USIM カードが取り付けられていない場合、電話の発着信、メール、ウェブなどのネットワーク接続ができません。

・ USIM カードには電話帳を保存できます。
・ USIM カードに保存したデータは、他の USIM カード対応のボーダフォン携帯電話でもご利用いただけます。
・ USIM カードに使用する機器はボーダフォンの指定品以外のものは使用しないでください。指定品以外のものを使用すると、データの消失や故障の原因となる場合があります。
・ 電子レンジなどの加熱調理器や高圧容器に、USIM カードを入れないでください。溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。
・ USIM カードの詳細については、USIM カードに付属の説明書を参照してください。
・ USIM カードは乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んだり、けがの原因となる場合があります。
・ USIM カードの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないでください。(USIM カードの取り外し、および挿入時に過剰な力を加えると故障の原因となります。また、取り外しの際、手や指などを傷つける可能性がありますのでご注意ください。)
・ 他社製品の IC カードリーダなどに、USIM カードを挿入し故障した場合、お客様ご自身の責任となりボーダフォンでは責任を負いかねます。
・ ご利用中、USIM カード自体が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。
・ IC 部分はいつもきれいな状態でご使用ください。(USIM カードの IC 部分への接触は、データの消失や故障の原因となる可能性があります。不必要な IC 部分への接触はなるべく避けるようにしてください。)
・ USIM カードにラベル等を貼り付けないでください。USIM カードは非常に薄く、精密に作られているため、ラベルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因となることがあります。

■ USIM カードについてのその他のご注意

・ USIM カードの所有権はボーダフォンに帰属します。
・ 紛失、破損などによる USIM カードの再発行は有償となります。
・ 解約、休止などの際は、USIM カードをボーダフォンにご返却ください。
・ お客様からご返却いただいた USIM カードは、環境保全のためリサイクルされています。
・ USIM カードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。
・ お客様自身で USIM カードに登録された情報内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは控えをとっておかれることをおすすめします。
なお、データの消失または変化した場合の損害につきましては、ボーダフォンでは責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
・ 国内外問わず USIM カードならびにボーダフォン携帯電話（USIM カード挿入済み）を盗難・紛失した場合は必ず緊急利用停止の手続きをおこなってください。緊急利用停止の手続きは「お問い合わせ先一覧」(P.216) までご連絡ください。
・ 804NK の修理、USIM カードの交換や機種変更をした場合、本体やメモリカードに保存した着うた® や着うたフル®、V アプリ、動画などのファイルがご利用できなくなる可能性があります。あらかじめご了承ください。
・ USIM カードを交換するとお気に入りなどの情報が利用できなくなります。

■ PIN コードについて

USIM カードには、「PIN コード」と「PIN2 コード」という 2 種類の暗証番号があります。

PIN コード

第三者によるボーダフォン携帯電話や USIM カードの無断使用を防ぐための 4 ～ 8 桁の暗証番号です。

・ お買い上げ時は、「9999」に設定されています。
・ PIN コードは変更できます。(「PIN/PIN2 コードを変更する」P.129)
・ 「PIN コード要求」を「オン」に設定すると、電源を入れるたびに PIN コードを入力する必要があります。(「PIN コード要求を設定する」P.130)

PIN2 コード

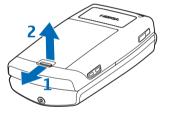
本機の一部の機能を利用する場合に使用する 4 ～ 8 桁の暗証番号です。

・ お買い上げ時は、「9999」に設定されています。
・ PIN2 コードは変更できます。(「PIN/PIN2 コードを変更する」P.129)

PIN ロック解除コード (PUK)

PIN コードまたは PIN2 コードの入力を 3 回続けて間違えると、PIN コードがロックされます。PIN ロックは、「PIN ロック解除コード (PUK)」を入力すると解除できます。

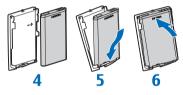
- PIN ロック解除コードについては、お問い合わせ先までご連絡ください。(「お問い合わせ先一覧」P.216)

USIM カードと電池パックを取り付ける

1 本機を裏返し、解除ボタンを矢印 (1) の方向へ押しながら、バックカバーを矢印 (2) の方向へ持ち上げる
または、解除ボタンの下の隙間に爪を入れ、矢印 (2) の方向に引き上げる

電池を取り外す場合は、本機の電源を切り、充電器からはずしてからおこなうようにします。

2 USIM カードをスロットへ挿入

USIM カードの角が欠けた部分 **(3)** が図の方向で、USIM カードの接続端子部分が本体の接続端子と向かい合っていることを確認します。

3 電池をバックカバーに取り付ける (4)

- 電池の接続端子部分が右上にあることを確認し、先に電池の下部をバックカバーに差し込みます **(5)**。
- 電池の上部がバックカバーに固定されるまで強く押し込みます **(6)**。

4 バックカバーを元に戻す (7)

バックカバーの下部が、カチッと音がして、本機に固定されるまで押し込みます (8)。

電池パックと充電器のお取り扱い

電池パックとアクセサリについての情報は、「電池について」(P.208)、「Nokia 純正アクセサリ」(P.205) を参照してください。

■ 急速充電器を利用して充電する

1 充電器のプラグをコンセントに差し込む

2 電源コードを本機に接続する

- 画面右上の電池残量表示が点滅を開始します。
- 充電中も本機を使用できます。
- 電池残量がまったく無い状態で充電を開始すると、充電表示が出るまでに数分かかる場合があります。
- 電池の充電が終了すると、電池残量表示の点滅が止まります。

3 充電器を本機からはずし、次に充電器のプラグをコンセントから抜く

メモリカードのお取り扱い

メモリカードには、電話機本体にあるデータを保存することができます。

·メモリカード (miniSD カード)
販売パッケージに同梱されています。

·miniSD カード アダプタ
本機でこのアダプタを使用する必要はありません。フルサイズ SD カードスロットを備えた機器の場合に使用します。

メモリカードを取り付ける

1 メモリカードスロットのカバーを開く

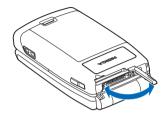
本体を下向きにし、カバーの上側にあるくぼみに指を入れて、カバーを引き出します。

2 スロットにメモリカードを挿入する

右図のように角が欠けた部分を右上に、カードの接続端子部分が上向きになっていることを確認してください。

3 カードを押し込む

所定の場所におさまると、カチッと音がします。

4 カバーを閉じる

カバーが開いていると、メモリカードを使用できません。

メモリカードを取り出す

1 電源キーを短く押し、リストから メモリカード取り外し を選択

- メモリカードを取り外す前に、起動しているすべてのアプリケーションを終了する必要があります。

2 メモリカードを取り外すと、開いているすべてのアプリケーションが終了します。取り外しますか？のメッセージが表示されるので、[はい] を押す

3 メモリカードを取り外して「OK」を押してください が表示されるので、カバーを開きメモリカードを押して、スロットから取り出す

4 [OK] を押す

重要：処理の途中でメモリカードスロットカバーを開かないでください。メモリカードや電話機本体、カードに保存されているデータが破損する可能性があります。

ヘッドセットを取り付ける

本機対応ヘッドセットを本機の Pop-Port™ コネクタに接続します。

注意：ヘッドセットを使用すると、周囲の音が聞こえにくくなります。お客様の安全を脅かすおそれがある状況では、ヘッドセットの使用をお控えください。

ストラップを取り付ける

本機の上部にある穴にストラップのひもを通し、結んで取り付けます。

各部の名称

本体

オープンポジション

1 レシーバー（受話口）

相手の声がここから聞こえます。

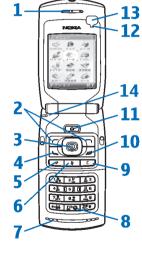
2 （左・右）ソフトキー [⌐ ・ ¬]

画面に表示されるコマンドを選択できます。

3 ナビゲーションキー [ ]

項目の選択やカーソルの移動、画面をスクロールするときなどに使用します。

4 開始キー [ ]

電話をかけるときや受けるときに使用します。

5 編集キー [ ]

テキストの編集に使用するコマンドリストが表示されます。

6 メニューキー [ ]

メインメニューを表示します。

7 スピーカー

8 [ ]

長く押すと、ウェブに接続します。

9 クリアキー [C]

入力した文字を削除します。また、画像やサウンドなどのファイルを選択しているときに押すと削除できます。

10 終了キー [ ]

通話を終了するときなどに使用します。長く押すとパケットデータ接続が終了します。

11 マルチメディアキー [ ]

長く押すと、カメラが起動します。

12 光センサー

常に周囲の明るさを測定し、暗い場合は表示部やキーを明るくします。

13 カメラレンズ

14 マイク（送話口）

クローズポジション

1 電源キー

長く (約 2 秒) 押して、電源の ON/OFF をおこないます。

2 LED フラッシュ

3 メインカメラ

4 カバーキー

5 サブ画面

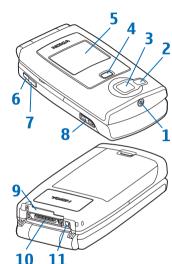
クローズポジションの場合、電話の着信やメールの受信などをお知らせします。

6 赤外線ポート

赤外線通信でデータを送受信するときに使用します。

7 ボイスキー

8 スピーカー

9 メモリカードスロット

10 Pop-Port™ コネクタ

データケーブルやヘッドセットを接続します。

11 充電器の外部接続端子

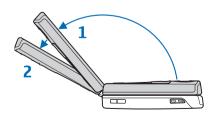
アイコン

- 「」- GSM ネットワーク使用中
- 「3G」- WCDMA ネットワーク使用中
- 「」- 留守番電話サービスセンターに伝言メッセージあり
- 「」- 受信メールフォルダにメールが 1 件以上あり
アイコンが点滅している場合は、受信メールフォルダがいっぱいで、メモリ不足の状態を示します。不要なデータを削除してください。
- 「@」- リモートメールボックスに新着 E-mail あり
- 「」- 未送信メールフォルダに送信待ちメールあり
- 「」- 不在着信あり
- 「」- マナーモード設定中
- 「」- キー操作ロック中
- 「」- アラーム設定中
- 「」- 通話着信を別の電話番号へ転送
- 「」- ヘッドセット接続中
- 「」- Bluetooth ﾜｲﾔﾚｽﾍｯﾄﾞｾｯﾄ 接続切断中
- 「」- カーキット接続中
- 「D」- データ通信使用中

- 「」- GPRS/EDGE パケットデータ接続利用可能
- 「 」- GPRS/EDGE パケットデータ接続使用中
- 「 」- GPRS/EDGE パケットデータ接続保留中
- 「 」- WCDMA パケットデータ接続利用可能
- 「」- WCDMA パケットデータ接続使用中
- 「」- WCDMA パケットデータ接続保留中
- 「」- Bluetooth 接続設定中
- 「」- Bluetooth 接続でデータ転送中
- 「 」- USB 接続使用中
- 「」- 赤外線通信使用中
  アイコンが点滅している場合は、他の機器へ接続中であるか、接続が切断されている状態です。

主なアイコンは、サブ画面にも表示されます。

本機のお取り扱い

本機は使い方に応じて、クローズポジション、またはオープンポジションの 2 種類があります。

本書では、「オープンポジション」を中心に操作の説明をします。

オープンポジション

オープンポジションの場合、2 つの異なる使い方ができます。

- カバーディスプレイを (1) の角度まで開きます。TV コールを使用の場合、本機をテーブルなどに置いたまま使用できます。
- カバーディスプレイを (2) の角度まで開きます。通常通話の場合、本機を耳元で使用します。

クローズポジション

クローズポジションでは、メールの受信を確認することができます。

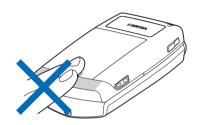
- メール送信や通話 /TV コールの受信、アプリケーションを使用する場合は、本機をオープンポジションで使用します。
- クローズポジションの場合、ダイヤルキーが使用できないので、緊急電話番号へかけることができません。緊急電話番号へかける場合は、本機をオープンポジションで使用してください。

電源を入れる / 切る

1　電源キーを長く (約 2 秒) 押す

- PIN コード、UPIN コード、またはロックコードの入力を求められた場合、コードを入力し (**** と表示)、 ⌐ (**[OK]**) を押します。
- PIN コードや UPIN コードは通常、USIM カードと一緒に提供されます。
- お買い上げ時には、ロックコードは「12345」に設定されています。
- 各コードの詳細については、「無断で利用されたくないとき」(P.130) を参照してください。

■ 内蔵アンテナについて

本機には、内蔵アンテナがあります。

重要：他の無線送信機器と同様、本機の電源が入っているときには不用意にアンテナに触れないでください。アンテナに触れると、通話の音質に影響を及ぼしたり、本機が必要以上に高い電力レベルで動作したりする可能性があります。本機の動作時にアンテナ領域に触れないようにすると、アンテナの性能や電池の寿命が最適な状態になります。

■ ディスプレイについて

ディスプレイやカメラには、保護用プラスチックフィルムが貼られています。ご使用に応じてはがしてください。

画面上の少数のドットが表示されなかったり、変色したり、明るく光ったりすることがあります。これは、このタイプのディスプレイに特有のことです。一部のディスプレイでは、ピクセルやドットがオンまたはオフのままになることがありますが、正常なことであり不具合ではありません。

初回設定

はじめて本機の電源を入れたときに、都市、日付 / 時刻を設定する画面になります。

■ 都市を設定する

1 都市の最初の文字を入力検索し、設定する

- 漢字の都市名の場合は、都市名の最初の文字を入力して漢字に変換します。例えば、「東京」を検索する場合、最初の文字の「東」を入力して検索します。
- 都市を選択すると、時計のタイムゾーンも指定されます。(「世界時計」P.89)

■ 日付 / 時刻を設定する

1 現在の日付 / 時刻を入力

(「日付時刻設定」P.89)

機能の呼び出しかた

■ 簡単な操作で機能を呼び出す

- よく使う機能を待受画面のショートカットに登録しておけば、簡単な操作で利用できます。(「待受画面機能拡張」P.90)
- モードを変更する場合は、を短く押し、リストから選択します。
- 最近の発信記録を表示する場合は、を押します。
- インターネットに接続する場合は、待受画面でを長く押します。
- カメラを起動する場合は、を長く押します。
- マルチメディアアプリケーションを開く場合は、を短く押します。(「マルチメディアキー」P.32)

マルチタスキング機能

本機では、複数のアプリケーションを同時に開くことができますが、電池の消耗が早くなる場合があります。使用していないアプリケーションは次の方法で終了することができます。

1 待受画面、またはアプリケーションを開いた状態で、 を長く押す

- 起動中のアプリケーションが画面左上に表示されます。
- メモリ残量が少なくなると、本機によって一部のアプリケーションが閉じられる場合があります。未保存のデータは、アプリケーションが閉じられる前に保存されますが、すべてのケースにおいて保存されるとは限りません。

2 または を押し、アプリケーションを選択

- アプリケーションを終了する場合は、C を押します。
- を押しても、起動中のアプリケーションは終了しません。

同一のアプリケーションが同時に起動されていると、適切に動作しない場合があります。

暗証番号

本機のご使用にあたっては、「操作用暗証番号(ロックコード)」、「交換機用暗証番号」、「発着信規制用暗証番号」が必要になります。

操作用暗証番号(ロックコード)

「12345」が初期設定です。ロックコードが必要な機能を操作するときに使用します。

交換機用暗証番号

お客様がご契約時に申し込み書に記入された4桁の暗証番号です。

オプションサービスを一般電話から操作する場合や「ウェブの有料情報」の申し込みの際に必要な番号です。

発着信規制用暗証番号

ご契約時にお決めいただいた4桁の暗証番号で、本機で発着信規制サービスの設定をおこなうときに使用します。

便利な使い方

マークをつける

1つの項目にマークを付ける

・ 項目を選択して、と を同時に押します。選択した項目の横にチェックマークが表示されます。

複数の項目にマークを付ける

・ を長く押し、同時に または を押します。
選択を終了するには、ナビゲーションキーを押すのをやめて、から指を離します。必要な項目をすべて選択したら、移動したり削除したりできます。

状況によっては、を押すと、オプションリストが表示され、その表示で利用できる主要なコマンドが表示されます。

別の電話機からコンテンツを転送する

・ 転送アプリケーションを使用します。「データ転送」(P.126) を参照してください。
・ Nokia PC Suite の Nokia Content Copier を使用して、互換性のある Nokia 電話機からコンテンツをコピーします。本機付属 CD-ROM を参照してください。Nokia Content Copier は複数機種の Nokia 電話機に対応しています。各 Nokia PC Suite の対応機種の詳細については、http://www.nokia.co.jp/pcsuite を参照してください。

マルチメディアキー

マルチメディアキーを長く押すとカメラが起動します。(「カメラ」P.63)

マルチメディアキーに各アプリケーションを登録して、ショートカットとして利用することができます。

マルチメディアキーの利用方法

カメラを起動する

1 を長く押す

マルチメディアキーの設定を表示する

1 を短く押す

マルチメディアアプリケーションのショートカットが表示されます。

2 アプリケーションを選択

ナビゲーションキーを利用して、アプリケーションを開きます。

3 を押す

マルチメディアキーのショートカット画面が終了します。

■ ショートカットを変更する

1 を押し、 (設定) を押す

2 上、左、または 右 を選択 > を押す

アプリケーションのリストが表示されます。

3 設定するアプリケーションを選択 > [OK] を押す

- アプリケーションによっては、設定が固定されており、変更できないものもあります。
- サウンド を オフ にすると、マルチメディアキーの起動音がオフになります。

ヘルプ

本機にはヘルプ機能があります。アプリケーションからヘルプにアクセスするには、[オプション] > ヘルプ を選択します。

例：電話帳の作成方法に関する説明を表示するには、電話帳の作成を開始して、[オプション] > ヘルプ を選択します。または、ツール > ヘルプ の順に選択して、電話帳 に関する説明を表示します。説明を読んでいるときに、ヘルプ とバックグラウンドで開いているアプリケーションを切り替えるには を長く押します。

Nokia 製品に関するその他の情報、およびダウンロードサービスについては、「サポート情報」(P.188) をご確認ください。

基本的な操作のご案内

電話をかける

1 待受画面で、市外局番から電話番号を入力

番号を削除する場合は、C を押します。

2 を押し、電話をかける

3 を押し、通話を終了する

- 互換性のあるヘッドセットが接続されていない場合、オープンポジションからクローズポジションにすると電話は切れます。(「サブ画面表示」P.135)
- 他のアプリケーションが開いている場合でも、通話を終了できます。

■ 以前かけた番号にもう一度かける（リダイヤル）

1 待受画面で、を押し、発信履歴を開く

2 電話番号を選択し、を押す

3 を押し、通話を終了する

補足：電話帳から通話相手を選択し、電話をかけることもできます。(「電話帳から電話をかける」P.44)

補足：頻繁にかける番号をワンタッチダイヤルに登録し、すばやく電話をかけることができます。ワンタッチダイヤルには、８つの番号を割り当てることができます。(「ワンタッチダイヤルで電話をかける」P.44)

補足：ボイスダイヤルを使用して、電話をかけることもできます。(「声で電話をかける」P.44)

電話を受ける

オープンポジションの場合

・ を押す

クローズポジションの場合

・ カバーディスプレイを開き、オープンポジションにする

■ 着信中に着信音を消す

オープンポジションの場合

・ **[消音]** を押す

クローズポジションの場合

・ カバーキーを押して、**[消音]** を押す

着信中に待受画面上部に音量変更を示す表示がみられますが、この表示は受話音量調節用ですので、着信音の音量変更はできません。

補足：本機と互換性のあるイヤホンマイクが接続されている場合は、イヤホンマイクのキーを押すことで、電話に応答したり、終了することができます。

電話にでられないとき

■ 発信者へ SMS を送信する

着信を拒否する場合、発信者へ電話に応答できない理由を知らせる SMS を送信することができます。

1 [オプション] > SMS 送信 を選択

- SMS 編集画面が表示されます。
- SMS の本文をあらかじめ編集しておくことができます。(「通話拒否時 SMS 送信」P.135)

2 [オプション] > 送信 を選択

着信を拒否する

■ オープンポジションの場合

1 を押す、またはカバーディスプレイを閉じる

■ クローズポジションの場合

1 カバーキーを押して、[消音] > [拒否] に設定し、受信を拒否する

補足：着信を拒否した場合、発信者には通話中音が聞こえます。

■ 拒否した電話を転送する

転送電話サービスの設定 > **通話中** の機能を開始している場合、拒否した電話を転送します。(「転送電話ｻｰﾋﾞｽ」P.153)

通話中の操作

■ 受話音量を調節する

1 通話中に、音量を大きくするには 、小さくするには を押す

- 着信中に画面上部に表示されるインジケータは、受話音量を調節するものであって、着信音量を調節するものではありません。着信中に着信音を消音にするには、[消音] を押します。

- **ミュート** に設定している場合は、 または を使用して音量を調節することができません。**[ﾐｭｰﾄ解除]** に設定してから調節します。

ハンズフリースピーカーを使用する

ハンズフリースピーカーを使用すると、電話機を持たずに近い距離で (例えば、近くのテーブルに置いて) 話したり聞いたりできます。

1 通話中に、[ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ] を押す

画面上部に「 」が表示されます。

2 通常通話に戻すには、[通常通話] を押す

ハンズフリースピーカーがオフとなります。

注意：ハンズフリースピーカーを使用中は、本機を耳元に近づけないでください。音量が非常に大きくなる可能性があります。

通話中に相手の声を録音する

通話中に相手の声を録音することができます。(「音声メモ」P.149)

その他通話中にできること

通話中に使用できるオプションの多くは、ネットワークサービスです。表示されるオプションは、状況によって異なります。

通話中 > **[オプション]**

- **電話をかける** - 通話中に別の相手へ電話をかけます。
- **通常通話に切替** / **ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ通話に切替**
  ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ通話に切替 を設定している場合、クローズポジションでも通話を続けることができます。
- **ﾜｲﾔﾚｽﾍｯﾄﾞｾｯﾄに切替** - 本機と互換性のある Bluetooth ヘッドセットが接続されている場合に使用できます。
- **保留** / **保留解除** - 通話を保留にすることができます。
- **ミュート** / **ミュート解除** - 通話相手への送信音声がミュートとなります。多者通話、ハンズフリースピーカーなどをご利用の際に使用すると便利です。
- **多者通話** - 複数の相手と通話をおこないます。(「多者通話サービス」P.156)
- **通話切り替え** - 通話中の電話を終了し、かわりに待機中の電話（または、かかってきた電話）に応答できます。(「割込通話サービス (ﾈｯﾄﾜｰｸｻｰﾋﾞｽ)」P.156)
- **MMS 送信** - （WCDMA ネットワークのみ）通話相手へ MMS で静止画やビデオを送信します。メッセージを編集したり、送信相手を変更したりすることもできます。 を押して、本機と互換性のある機器に送信します。
- **プッシュ信号送信** - 一連のプッシュ信号（例えば、パスワード）を送信できます。プッシュ信号を入

力するか、**電話帳** でプッシュ信号を検索します。待機文字（w）または一時停止文字」（p）を入力するには、 [*+記号] を繰り返し押し、**[OK]** を押して送信します。

補足：電話帳の **電話番号** や**プッシュ信号**項目にプッシュ信号を保存しておくこともできます。

- **切替** - 複数の相手と通話している場合、相手を切り替えることができます。(「多者通話サービス」 P.156)
- **転送** - このネットワークサービスには対応しておりません。

発信履歴 / 着信履歴の確認

■ 発着信履歴を表示する

1 > **通信履歴** > **発着信履歴** を選択

- **不在着信履歴**、**着信履歴**、**発信履歴** を確認することができます。
- **不在着信履歴**と**着信履歴**は、本機の電源がオンの状態で、かつネットワーク圏内の場合にのみ記録されます。
- テレビ電話には、ビデオマーク「 」が右側に表示されます。

補足：待受画面に不在着信履歴の通知が表示された場合に **[表示]** を押すと、不在着信履歴のリストを表示することができます。折り返し電話をかける場合は、名前または電話番号を選択して、 を押します。

■ 発着信履歴を消去する

> **通信履歴** > **発着信履歴**

すべての履歴リストの履歴をすべて消去する

1 **[オプション]** > **発着信履歴を消去** を選択

いずれかの履歴リストの履歴をすべて消去する

1 消去するリストを開く

2 **[オプション]** > **履歴消去** を選択

履歴を 1 件ずつ消去する

1 **消去するリスト開き、消去する履歴を選択**

2 **C を押す**

通話時間表示

> **通信履歴**

通話時間

通話時間を表示する

1 **通話時間 を選択**

通話時間、発信履歴、着信履歴、すべての通話が表示されます。通話時間は、累計の通話時間が表示されます。

通話中に通話時間を表示する

1 **通話時間 > [オプション] > 設定 > 通話時間表示 の順に選択**

2 **はい を選択**

注意：携帯電話事業者が実際に請求する通話料金は、ネットワーク機能や請求額の端数計算などによって異なる場合があります。

通話時間を消去する

1 **[オプション] > 通話時間記録を消去 を選択**

この操作をおこなうには、ロックコードが必要です。(「操作用暗証番号 (ロックコード)」P.31)

パケット接続送受信データ量を表示する

> **通信履歴** > **パケット接続**

パケットデータ接続料金は、送受信したデータ量によって課金される場合があります。

すべての通信履歴を表示する

> 通信履歴

1 を押す

アイコン

「 」- 着信
「 」- 発信
「 」- 不在着信

- 電話、TV コール、SMS、パケットデータ接続の履歴を表示します。
- 通信履歴ごとに送信者と受信者の名前、電話番号、携帯電話事業者名またはアクセスポイントを表示します。
- サブ記録（複数の部分に分割されて送信された SMS やパケットデータなど）も 1 つの通信履歴として記録されます。メールボックス、MMS センター、インターネットのページへの接続は、パケットデータ接続として表示されます。

通信履歴にフィルタをかけて表示する

1 [オプション] > フィルタ を選択

2 表示する条件を選択

条件ごとにフィルタされた通信履歴が表示されます。

通信履歴 1 件の詳細情報を表示する

1 通信履歴を選択し、 を押す

補足：通信履歴の詳細情報画面で、電話番号をクリップボードにコピーし、テキストに貼り付けることができます。
[オプション] > 電話番号コピー の順に選択します。

パケットデータ接続カウンタと接続時間

1 ﾊﾟｹｯﾄ の表示がある通信履歴を選択

2 [オプション] > 詳細情報表示 を選択

転送したデータ量（kB 単位）や特定のパケットデータ接続時間を表示します。

すべての通信履歴を消去する

1 [オプション] > 通信履歴消去 を選択

メッセージが表示されます。

2 [はい] を選択し、全件を消去する

通信履歴、発着信履歴、配信レポートの内容が完全に消去されます。

- 1 件ずつ消去する場合は、C を押します。

■ 通信履歴保存期間を設定する

1 [オプション] > 設定 > 通信履歴保存期間 を選択

通信履歴は、設定した日数の期間中、電話機メモリに保存されます。その期間を過ぎると自動的に消去されます。**通信履歴なし** を選択すると、通信履歴の内容、発着信履歴、配信レポートはすべて削除されます。

自分の電話番号を確認する

1 > 電話帳 > [オプション] > SIM 電話帳 > SIM フォルダ を選択

2 [オプション] > 自局電話番号 を選択

国際電話をかける

■ 国内から国際電話をかける

1 国際電話用のアクセスコードを設定

(「国際アクセスコード置換」P.136)

2 [*+記号] を2度押して、「+」を入力する

3 国番号、市外局番、電話番号を入力する

市外局番は、必要に応じて先頭の0を除いて入力します。

4 を押して、電話をかける

設定したアクセスコードが、番号の先頭に自動的に追加されます。

■ 海外から国際電話をかける

1 [*+記号] を2度押して、「+」(国際通話アクセスコード)を入力する

国際電話用のアクセスコードが設定されている場合は、「いいえ」に設定します。(「国際アクセスコード置換」P.136)
ネットワークモードについては、「ネットワークモード」(P.138) を参照してください。

2 国番号、市外局番、電話番号を入力する

市外局番は、必要に応じて先頭の0を除いて入力します。

3 を押して、電話をかける

緊急電話発信について

緊急電話発信とは、「110」や「119」など、緊急時に使用する電話発信のことです。

・ 緊急電話番号 - 110、118、119

本機で次の設定をしている場合は、緊急電話発信は不可となります。

・ 電話機ロック - (「本機の操作を禁止する (電話機ロック)」P.130)
・ 誤動作防止 (キーガード設定) - (「キーガードを設定する」P.131)
・ 発信規制 - (「発着信規制を設定する」P.157)

緊急電話発信をかける場合は、「緊急通報」(P.214) を参照してください。

電話帳

電話帳 では、次の操作ができます。

- 個人用の着信音や電話帳にサムネイル画像を追加することができます。
- 電話帳グループを作成し、複数の宛先へ SMS や E-mail を同時に送信することができます。
- 受信した連絡先情報（ビジネスカード）を、電話帳に登録することができます。連絡先情報の送受信は、本機と互換性のある機器との間でのみ可能です。

電話帳の登録

> **電話帳**

1 [オプション] > 新規電話帳登録 を選択

2 必要な項目を入力し、[OK] を押す

新規電話帳登録で設定できる項目は、次のとおりです。姓、フリガナ (姓)、名、フリガナ (名)、会社、役職、携帯、電話番号、テレビ電話、FAX、ポケットベル、インターネット電話、E-mail

電話帳検索には、フリガナに登録した名称が使用されます。

■ 発信履歴 / 着信履歴の電話番号を登録する

発信履歴 / 着信履歴に記録された電話番号を電話帳に登録できます。

1 発信履歴 / 着信履歴の電話番号を選択

(「発信履歴 / 着信履歴の確認」P.37)

2 [オプション] > 電話帳へ登録 を選択

新規登録 または **既存電話帳へ追加** を選択します。

3 詳細情報選択 から登録する電話番号の種類を選択

4 その他必要な項目を入力し、[OK] を押す

- ボイスタグが自動的に登録されます。詳細は、「声で電話をかける」(P.44) を参照してください。

■ 電話帳の登録状況を確認する

1 [オプション] > 電話帳情報 を選択

電話帳やグループ、使用メモリ、空きメモリの確認ができます。

基本番号と基本アドレス

電話帳に、基本電話番号や基本アドレスを登録することができます。これにより、電話帳に複数の電話番号やアドレスがある場合、特定の番号やアドレスを指定して電話をかけたり、メールを送信することができます。ボイスダイヤルには、基本電話番号が使用されます。

1 電話帳を選択し、 を押す

2 [オプション] > デフォルト値設定 を選択

3 基本番号や基本アドレスとして登録するタイプを選択し、[登録] を押す

4 基本番号や基本アドレスとして登録する番号やアドレスを選択

登録した基本電話番号や基本アドレスに下線が表示されます。

電話帳のリストでは、左横にアイコンが表示されます。

グループ設定

グループを作成する

> 電話帳 >

1 [オプション] > 新規グループ を選択

2 グループ名を入力し、[OK] を押す

メンバをグループに追加する

1 グループを選択し、 を押す

2 [オプション] > メンバ追加 を選択

- メンバを一度に複数追加する場合は、 を押してマークをつけます。

3 [OK] を押す

グループがあらかじめ作成してある場合は、電話帳リスト選択 > [オプション] > グループへ追加 の順に選択します。

グループからメンバを削除する

1 グループを選択し、 を押す

2 メンバを選択し、[オプション] > グループから削除 を選択

3 [はい] を押す

グループ名を変更する

1 名前を変更するグループ > [オプション] > 名前変更 を選択

2 新しいグループ名を入力し、[OK] を押す

所属グループを確認する

 > 電話帳

1 **電話帳を選択し、[オプション] > 所属グループを選択**

電話帳の利用

電話帳から電話をかける

 > 電話帳

1 **電話をかける相手の電話帳を選択**

検索フィールドに名前の最初の文字を入力すると、合致する名前リストが表示されます。

2 **を押す**

ワンタッチダイヤルで電話をかける

あらかじめワンタッチダイヤルを利用可能に設定する必要があります。 > ツール > 設定 > 通話 > ワンタッチダイヤル > オン の順に選択し、設定します。

1 ** > ツール > ワンタッチ の順に選択**

2 **2 abc - 9 wxyz のいずれかを選択し、[オプション]> 登録 を選択**

1 は、留守番電話サービスを呼び出すために使用されます。

3 **電話帳から通話相手を選択**

- 電話番号が複数登録されているときは、使用する電話番号を選択します。

4 **を押す**

- ワンタッチダイヤルに登録されると、電話帳の使用される電話番号の項目に「」が表示されます。

5 **電話をかけるには、待受画面で登録したダイヤルキーを長く押す**

声で電話をかける

登録されたボイスタグを発声し、電話番号を呼び出して、電話をかけることができます。

・ ボイスタグは、電話帳 に登録されている名前やニックネームから自動生成され、ボイスタグを発声すると電話番号を呼び出します。
・ 本機はメインユーザの発声に順応し、正確にボイスタグを認識する機能を持っています。

声で電話をかける

注意 : ボイスタグは、騒がしい場所での発声や緊急時の使用に適していません。どのような環境や事態においても、ボイスダイヤルの機能だけに依存しないでください。

ボイスタグで電話をかけるときは、内蔵スピーカーが使用されます。電話機を少し離して、ボイスタグを明瞭に発声してください。クローズポジションではご利用になれません。

1 ボイスキーを長く押す

- 短いビープ音が鳴り、**音声を入力してください**が表示されます。
- 互換性のあるヘッドセットを使用している場合は、ヘッドセットキーを長く押して、声で電話をかける機能を開始することができます。

2 ボイスタグをはっきりと発声する

- 認識されたボイスタグが再生されます。名前と電話番号が表示され、電話がかかります。
- ボイスタグが正しく認識されなかった場合は、メッセージが表示され、元の画面に戻ります。**[終了]** を押すと、声で電話をかける機能を中止します。

1 件の電話帳に複数の電話番号が保存されている場合は、基本番号として登録されている番号に、ボイスタグが自動的に登録されます。基本番号が設定されていない場合は、次の優先順位で登録されている番号を使用します。**携帯**、**携帯 (自宅)**、**携帯 (会社)**、**電話番号**、**電話番号 (自宅)**、**電話番号 (会社)**

■ ボイスタグを確認する

1 電話帳 > ボイスタグが設定されている番号を選択

2 [オプション] > ボイスタグ再生 を選択

ボイスタグが再生します。

■ 電話帳 (ビジネスカード) を送信する

1 電話帳を選択し、[オプション] > 送信 を選択

2 送信方法を選択

SMS、**MMS**、**E-mail**、**Bluetooth**、**赤外線通信**から選択します。

3 宛先を入力し、[OK] を押す

受信する機器により送信方法が限られる場合があります。

■ 電話帳をプリントする

この機能は、Bluetooth 接続機能のあるプリンタを使用した場合にご利用できます。

1 電話帳を選択し、[オプション] > 印刷 を選択

電話帳の編集

■ 電話帳を編集する

> **電話帳** > **編集する電話帳** > **[オプション]** > **編集**

補足： 電話帳を追加したり、編集したりする場合に、Nokia PC Suite の Nokia Contacts Editor を使用することができます。

詳細情報を追加して編集する

1 **[オプション]** > **情報追加** を選択
2 リストから詳細情報項目を追加する
3 追加する項目を選択し、**[OK]** を押す

サムネイル画像を追加する

1 **[オプション]** > **画像追加** を選択
2 追加する画像を選択

画像を追加した電話帳の相手から電話がかかってくると、サムネイル画像が表示されます。

着信音を設定する

電話帳に登録されている相手やグループから着信すると、設定された着信音が再生されます。

1 電話帳またはグループを選択し、を押す
2 **[オプション]** > **着信音** を選択
3 着信音リストから着信音を選択

- 設定した着信音を削除する場合は、リストから **デフォルト音** を選択します。
- 電話帳グループに一度着信音を設定し、その後にそのグループへ電話帳を追加した場合、追加された電話帳にはグループの着信音が反映されません。

■ 電話帳を削除する

> **電話帳**

1 電話帳を選択し、C を押す

- 一度に複数の電話帳を削除する場合は、を押しながら を押し、マークをつけてから C を押します。
- 電話帳を全件削除するには、 > **電話帳** > **[オプション]** > **マーク / マーク解除** > **すべてをマーク** > **[オプション]** > **削除** の順に選択します。

■ 電話帳の登録内容をコピーする

本機と USIM カード間で、電話帳をコピーできます。

> **電話帳**

USIM カードの電話帳を本機にコピーする

1 **[オプション]** > **SIM 電話帳** > **SIM フォルダ** の順に選択
2 電話帳を選択し、**[オプション]** > **電話帳にコピー** を選択

本機の電話帳を USIM カードにコピーする

1 電話帳を選択する
2 **[オプション]** > **SIM フォルダにコピー** を選択
電話帳のコピーされる内容は、USIM カードで対応している項目のみとなります。

補足： Nokia PC Suite を使用して、互換性のある PC との間で同期をとることができます。製品パッケージに同梱されている CD-ROM を参照してください。

SIM フォルダ

USIM カードに表示されている情報を表示します。

> **電話帳** > **[オプション]** > **SIM 電話帳**

■ USIM カードに保存されている電話帳を表示する

1 **SIM フォルダ** を選択

SIM フォルダでは、電話番号などの情報を追加や変更したり、電話帳へコピーしたりすることができます。また、SIM フォルダから直接、電話をかけることもできます。

■ 指定番号ダイヤル

1 **指定ﾀﾞｲﾔﾙ電話帳** を選択

USIM カードが対応している場合、本機の発信先や SMS の送信先を、選択した電話番号に制限できます。この機能を使用するには PIN2 コードが必要です。**指定番号ﾀﾞｲﾔﾙ**を使用しているときは、パケットデータ接続を使用できません。ただし、パケットデータ接続で SMS を送信する場合は除きます。この場合、メッセージセンターの番号と受信者の電話番号が指定番号ダイヤルに含まれている必要があります。

SIM センター番号：+819066519300

■ サービス番号

1 **サービス番号** を選択

USIM カードが対応している場合、電話番号案内や技術的なトラブルシューティングなど、ネットワークサービス用の電話番号にアクセスします。USIM カードにサービス番号が含まれていない場合は、この機能を利用できないことがあります。

マナーモード

マナーについて

携帯電話をご使用になるときは、周囲の方への気配りを忘れないようにしましょう。

- 劇場や映画館、美術館などでは、周囲の迷惑にならないように電源を切りましょう。
- レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では周囲の迷惑にならないよう気をつけましょう。
- 新幹線や電車の中では、社内のアナウンスや指示に従いましょう。
- 街の中では、通行の妨げにならない場所で使いましょう。

マナーモードでは、次の場合は無音になりません。

- Real Player でのコンテンツ再生音
- 時計のアラーム音
- 通話時のスピーカーからの音声
- ブラウザのプラグインからの音声
- カメラのシャッター音
- ビデオの録音開始・終了音

マナーモード設定

■ マナーモードを設定 / 解除する

マナーモードにする

1 待受画面で、[文字マナー #] を約 1 秒以上押す

マナーモード に変更され、画面上部に表示されます。

マナーモードを解除する

1 マナーモード設定中に待受画面で、[文字マナー #] を約 1 秒以上押す

- **通常モード** に変更されます。
- 他のモードに変更する場合は、[電源] を短く押し、リストからモードを選択します。(「使用するモードを変更する」P.93)

■ マナーモードの設定内容を変更する

1 [メニュー] > ツール > モード > マナーモード > [オプション] > カスタマイズ の順に選択

2 項目を選択し、設定をする

「着信パターンの設定」(P.92)、「各種効果音の設定」(P.93) を参照してください。

電波の送受信を停止する

オフラインモード

オフラインモード を使用すると、ネットワークに接続せずに、本機を使用することができます。**オフラインモード** を使用するとネットワーク接続が切断され、電波強度インジケータに「✖」が表示されます。本機ですべてのワイヤレス通信ができなくなります。オフラインモードでメールを送信する場合、メールは未送信メールフォルダに保存され、オフラインモードを解除し、ネットワーク接続が可能になったときに送信されます。

警告 : オフラインモード では、特定の緊急電話番号以外に電話をかけたり、ネットワーク接続が必要な機能を使用したりできません。電話をかけるには、モードを変更して電話機能を有効にします。本機がロックされている場合は、ロック解除コードを入力してから、モードを変更して電話をかける必要があります。

オフラインモードを終了する

1 待受画面で、⏻ を短く押す

モードリストが表示されます。

2 リストから オフラインモード 以外のモードを選択

- ワイヤレス通信が可能になります。

- Bluetooth 接続が**オン** のときに、**オフラインモード** に設定すると、Bluetooth 接続は無効となります。**オフラインモード** を解除すると、自動的に Bluetooth 接続は**オン** となります。(「Bluetooth を設定する」P.119)

文字の入力方法

文字入力について

漢字、ひらがな、カタカナ (全角 / 半角)、英数字 (全角 / 半角)、記号、絵文字、顔文字を入力することができます。文字の入力方式には、「予測入力方式」と「かな入力方式」の 2 種類があります。

■ 文字入力画面

予測入力方式

- 「 」: オン
- 「 」: オフ

文字入力モード

- 「 漢 字 」: ひらがな / 漢字モード (全角)
- 「 ｶﾀｶﾅ」、「カナ」: カタカナモード (半角 / 全角)
- 「 Abc 」、「 abc 」、「ABC 」、「全Ab」、「全ab」、「全AB」: 英字モード (文頭大文字 / 小文字 / 大文字 / 半角 / 全角)
- 「 123 」「全 12」: 数字モード (半角 / 全角)

■ 入力言語 (電話機言語) について

電話機で使用する言語の設定については、「電話機設定」(P.134) を参照してください。電話機言語を英語に設定した場合、デフォルトの文字入力モードは英語になり、日本語に設定した場合は日本語になりますが、ここで設定した言語にかかわらず、文字入力モードを切り替えることで日本語と英語の入力が可能です。

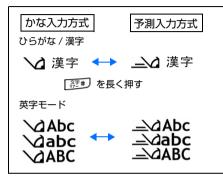
■ 文字入力方式

文字の入力方式は、「予測入力方式」と「かな入力方式」の 2 種類から選択します。

予測入力方式

- **日本語予測の場合：**入力された文字に続く語句を予測して候補を表示します。目的の語句が候補に表示されている限り、語句を選択するだけで文字を次々と入力できます。
- **英語予測の場合：**入力する文字が割り当てられているキーを 1 回ずつ押し、表示された候補から目的の語句を選択する方式です。押されたキーから語句を予測するため、少ないキー操作で文字を入力できます。

かな入力方式

・ 目的の文字が表示されるまで、文字が割り当てられているキーを繰り返し押す方式です。

文字入力方式を変更する

1 ひらがな / 漢字、または英字モードで、文字# を長く押す

- 予測入力方式の場合は「」が表示されます。
- かな入力方式の場合は「」が表示されます。

補足：文字入力画面で を押して、文字入力方式を変更することもできます。

■ 文字入力モード

文字入力画面で、文字# を連続して短く押すと、入力モードは次のように切り替わります。

英字モードで、約 1 秒待って 文字# を短く押すと、英字モードの種類が変わります。（「英字モードの種類」P.55）

数字は、数字モードに切り替えずに、入力したい番号のキーを長く押すだけで入力できます。

ダイヤルキーの割り当て

キー	ひらがな / 漢字モード（全角）	カタカナモード（半角 / 全角）	英字モード（半角 / 全角）	数字モード（半角 / 全角）
1 あ @	あいうえおぁぃぅぇぉ	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ	記号	1
2 か abc	かきくけこ	ｶｷｸｹｺ	ABCabc	2
さ def 3	さしすせそ	ｻｼｽｾｿ	DEFdef	3
4 た ghi	たちつてとっ	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	GHIghi	4
5 な jkl	なにぬねの	ﾅﾆﾇﾈﾉ	JKLjkl	5
は mno 6	はひふへほ	ﾊﾋﾌﾍﾎ	MNOmno	6
7 ま pqrs	まみむめも	ﾏﾐﾑﾒﾓ	PQRSpqrs	7
8 や tuv	やゆよゃゅょ	ﾔﾕﾖｬｭｮ	TUVtuv	8
ら wxyz 9	らりるれろ	ﾗﾘﾙﾚﾛ	WXYZwxyz	9
0 わ	わをんー、。！？改行、スペース	ﾜｦﾝｰ､｡!? 改行、スペース	スペース、改行	0
＊+゛゜記号	゛゜（濁点と半濁点）、小さなひらがな、記号、絵文字リスト	゛゜（濁点と半濁点）、小さなカタカナ、記号、絵文字リスト	記号、絵文字リスト	記号、絵文字リスト
文字 マナー #	入力モードの切り替え	入力モードの切り替え	入力モードの切り替え	入力モードの切り替え

文字の入力方法

■ 漢字 / ひらがな / カタカナを入力する

予測入力方式で入力する

文字入力画面の右上に「 」が表示されていない場合は、予測入力方式に切り替えます。(「文字入力方式を変更する」P.51)

1 ダイヤルキーを押して、文字を入力

- 予測変換候補リストが表示されます。文字を入力するごとに、変換候補が絞り込まれます。
- 入力した文字は、変換の対象として範囲選択されて表示されます。

補足 : 文字入力中に を押して、**日本語予測オン** または **英語予測オン** を選択してもそれぞれの予測入力方式をオンにすることができます。

2 予測変換候補リストから確定したい語句を選択し、 を押す

- 入力された内容に基づき、次の語句が予測され、予測変換候補リストが表示されます。変換が確定された語句に引き続いて、文字を入力すると、別の予測変換候補リストが表示されます。

- 予測変換候補リストを画面から消去するには、C または **[キャンセル]** を押します。
- 確定したい語句が予測変換候補リストにない場合は、**[通常変換]** を押してから を押し、漢字変換候補リストを表示します。リストの右上にあるカウンタは、漢字変換候補の数です。

- 頻繁に使用する語句やユーザ辞書に登録した語句は、予測変換候補リストの上位に表示されます。リストを

初期値に戻す場合は、「予測辞書リセット」(P.134) を参照してください。

かな入力方式で入力する

文字入力画面の右上に「 」が表示されていない場合は、かな入力方式に切り替えます。(「文字入力方式を変更する」P.51)

1 ダイヤルキーを押して、文字を入力

- 入力した文字は、変換の対象として範囲選択されて表示されます。
- 変換が不要な場合は、 を押して、語句を確定します。

2 範囲選択された状態で、 を続けて 2 回押す

漢字変換候補リストが表示されます。

補足 : 目的の漢字に変換されない場合は、変換する語句の選択範囲を または で変更します。

3 漢字変換候補リストから確定したい語句を選択し、 を押す

- 範囲選択された語句が変換され、範囲選択が解除されます。

カタカナで入力する

1 文字入力画面で を押し、カタカナ を選択

- 文字入力画面で を連続して短く押して (ひらがな / 漢字モードからカタカナモードにする場合は、1 回短く押す)、変更することもできます。(「文字入力モード」P.51)
- 全角 / 半角を切り替える場合は、 > **全角** (または**半角**) を選択します。

小文字 (っ、ッなど) を入力する

ひらがなやカタカナの「あいうえおつやゆよ」を小文字に変換します。

1 文字入力画面で、文字を入力し、 を押す

- 「つ」のように小文字と濁点の両方の入力ができる文字の場合は、 を 1 回押すと小文字、2 回押すと濁点の入力となります。
- 小文字にできない文字は、 を押しても小文字に変換されません。

濁点 (゛)/ 半濁点 (゜) を入力する

1 文字入力画面で、文字を入力し、 を押す

- ひらがな / 漢字モードやカタカナモードの場合、「か行」、「さ行」、「た行」は 1 回押すと濁点が付き、2 回押すと元に戻ります。また、「は行」は 1 回押すと濁点が付き、2 回押すと半濁点が付き、3 回押すと元に戻ります。
- 半角カタカナモードの場合、濁点や半濁点は半角 1 文字分で入力されます。 を押して文字を確定した後に を押すと、濁点または半濁点のみが削除されます。
- 濁点や半濁点を付けられない文字は、 を押しても変換されません。

英数字を入力する

英字モードの種類

英字モードには、3 つの種類があり、英字で文字を入力中に、文字マナー# を短く 1 回押すと、英字モードの種類が切り替わります。次のアイコンは、文字入力画面の右上に表示されます。

・「Abc」- 文頭大文字モード
文頭の文字だけ大文字で入力され、あとの文字は小文字に変わります。ピリオドを入力し、引き続き文字を入力する場合は、自動的にこのモードに切り替わります。
・「abc」- 小文字モード
文頭の文字を入力したあと、自動的に小文字モードに切り替わります。
・「ABC」- 大文字モード
文頭大文字モード、または小文字モードで文字を入力した直後 (スペースを空けず) に、文字マナー# を短く 1 回押すと切り替わります。大文字モードから、ピリオド 1 > スペース 0 を入力すると文頭大文字モードに自動的に切り替わります。

予測入力方式で入力する

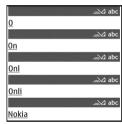
・英字モードの予測入力方式は、ダイヤルキー (2 abc ～ 9 wxyz) を 1 文字につき 1 回だけ押し、そのキーに割り当てられている変換候補から単語を選択して入力します。(「予測入力方式」P.50)
・文字入力画面の右上に「」が表示されていない場合は、予測入力方式に切り替えます。(「文字入力方式を変更する」P.51)

予測入力方式で「nokia」と入力する場合

1 文字入力画面で、6 mno (n) → 6 mno (o) → 5 jkl (k) → 4 ghi (i) → 2 abc (a) を押す

• 「nokia」と入力されます。
• 単語の候補は、キー入力ごとに変化します。

2 入力した単語を確定する場合は、を押す

• 0 を押し、スペースを入力して確定することもできます。
• 入力した単語が正しくない場合は、*+記号 または 、を押して、他の候補を表示します。 > **英語予測** > **一致した単語** の順に選択し、予測変換候補リストを表示することもできます。

複合語「shellfish」を入力する場合

1 複合語の前半を入力

「shell」と入力します。

2 を押して、確定する

「shell」が確定され、下線が取れます。

3 複合語の後半を入力

「fish」と入力します。

4 を押して、スペースを入力

「fish」の下線が取れ、「shellfish」が確定されます。

英語予測辞書に単語を登録する

・ 英字モードでの予測入力方式は、内蔵の英語予測辞書に基づいています。この英語予測辞書には新しい単語を追加することができます。
・ 英語予測辞書に登録されていない単語を予測入力方式で入力した場合、単語の末尾に文字「?」が表示されます。
・ ひらがな / 漢字モードの語句の登録については、ユーザ辞書を使用します。「よく使う語句を登録する (ユーザ辞書)」(P.58) を参照してください。

英語予測辞書に単語を登録する

1 (文字入力画面で、単語の末尾に文字「?」が表示された単語が選択されている状態で)[スペル入力] を押す

2 登録する単語を入力し、[OK] を押す

• 32 文字まで入力することができます。
• 英語予測辞書がいっぱいになると、もっとも古い単語が、新しい単語で上書きされます。

使用できるオプション

1 文字入力画面で予測変換対象の単語 (下線付き) を選択

2 > 英語予測 > の順に選択

次のオプションが選択できます。
一致した単語 - キー入力に応じた単語のリストを表示します。
語句挿入 - 辞書に単語 (32 文字まで) を追加します。辞書がいっぱいになると、もっとも古い単語が、新しい単語で上書きされます。
単語の編集 - かな入力方式で単語を編集します。これは、その単語が有効 (下線付き) の場合に使用できます。

予測入力をオフにする

1 文字入力画面で、 > 英語予測 > オフ の順に選択

英字モードでの予測入力方式がオフになります。

かな入力方式で入力する

・ 入力する文字が割り当てられているダイヤルキー (1 ～ 9) を、目的の文字が表示されるまで連続して押し、文字を入力します。(「かな入力方式」P.51)
・ 文字入力画面の右上に「」が表示されていない場合は、かな入力方式に切り替えます。(「文字入力方式を変更する」P.51)

かな入力方式で「nokia」と入力する場合

1 文字入力画面で、[6] (2 回)(n) → [6] (3 回)(o) → [5] (2 回)(k) → [4] (3 回)(i) → [2] (1 回)(a) を押す

- 「nokia」と入力されます。
- 同じダイヤルキーに割り当てられている文字を連続して入力する場合は、カーソルが表示されるのを待ってから (または ▶ を押してから)、次の文字を入力します。
- 全角 / 半角を切り替える場合は、 > **全角** (または**半角**) を選択します。予測入力方式がオンとなっている場合は、切り替えることができません。

数字モードで入力する

1 文字入力画面で、 > 数字 を選択

- 文字入力画面で [#] を連続して短く押して、変更することもできます。(「文字入力モード」P.51)
- 全角 / 半角を切り替える場合は、 > **全角** (または**半角**) を選択します。

■ 記号 / 絵文字 / 顔文字などを入力する

記号を入力する

1 文字入力画面で、[*] を 1 回押す

 > **記号挿入** を選択し、リストを表示することもできます。

2 リストから記号を選択し、挿入

- 英字モードの場合は、文字入力中に [1] を押して、句読点やよく使用される記号を入力することもできます。
- 英字モードのかな入力方式の場合、[1] を連続して短く押すと、リストにある記号が順番に表示されます。

補足 : 英字モードの予測文字入力では、よく使われる句読点 (**.,?!`**) のうち、どれが必要であるか推測されます。句読点の順位と利用可能性は、辞書の言語によって異なります。

絵文字を入力する

1 文字入力画面で、[*] を 2 回押す

 > **絵文字挿入** を選択し、リストを表示することもできます。

2 リストから絵文字を選択し、挿入

顔文字を入力する

1 かな入力方式で、「かお」と入力し、▲ または ▼ を2回以上押す

顔文字のリストが表示されます。

- 予測入力方式の場合は、「かお」と入力し、**[通常変換]** > ▼ を押します。

2 リストから顔文字を選択し、挿入

スペースを入力する

1 文字入力画面で、 を押す

- 漢字 / ひらがなモードの予測入力方式では、予測変換候補リストが表示されていない状態で を押します。
- 英字モードの場合は、 を 1 回押し、スペースを入力することもできます。

改行する

1 文字入力画面で、 を 1 回押す

- 漢字 / ひらがなモードの予測入力方式では、予測変換候補リストが表示されていない状態で を押します。
- 英字モードの場合は、 を 2 回押し、改行することもできます。

■ 区点コードを利用する

「区点コード一覧表」の 4 桁のコードを使用して、文字、記号、数字を入力できます。(「区点コード一覧表」P.191)

1 > 区点コード挿入 を選択

2 コードを入力し、[OK] を押す

文字の変換機能

■ よく使う語句を登録する (ユーザ辞書)

- ユーザ辞書とは、特殊な読みかたをする漢字やよく使う語句を登録しておく機能です。
- ユーザ辞書に登録した語句を呼び出す場合は、文字入力画面でユーザ辞書に登録した読み仮名を入力して変換します。
- 英字モードの新しい単語登録については、(「英語予測辞書に単語を登録する」P.56) を参照してください。

1 > ツール > ﾕｰｻﾞ辞書 の順に選択

2 [オプション] > 新規単語登録 を選択

3 単語 に登録する語句を入力

4 読み にひらがなで読みを入力

- 小さなひらがななど、読みの最初の文字として入力できない文字があります。
- 文字入力画面から、 > 単語登録 を選択し、単語を登録することもできます。

文字の編集

■ 入力した文字を修正する

1 文字入力画面で、修正する文字の右側にカーソルを移動

2 C を押し、文字を削除

3 正しい文字を入力

■ 文字を削除する

1 文字入力画面で、修正する文字の右側にカーソルを移動

2 C を押し、文字を削除

C を長く (1 秒以上) 押すと、カーソルの左側にある文字がすべて削除されます。

■ コピー / 貼り付けをする

範囲選択した文字や絵文字をコピーし、クリップボードに記憶することができます。また、クリップボードに記憶した内容を文字の入力画面でカーソル位置に貼り付ける (ペースト) ことができます。

1 文字入力画面で ✎ を押しながらナビゲーションキーを使用してカーソルを移動させ、コピーする語句を選択

2 ✎ を押したまま、[コピー] を押す または、✎ を一回押して コピー を選択

範囲選択された語句がクリップボードに記憶されます。

3 コピーした語句を挿入する位置へカーソルを移動

4 ✎ を押したまま、[貼り付け] を押す または、✎ を一回押して 貼り付け を選択

コピーした語句が貼り付けられます。

TV コール

TV コールをご利用になる前に

お客様ご自身と通話相手の映像を見ながら、通話することができます。通話相手には、メインカメラで撮影したお客様の映像が送信されます。テレビ電話では、待受画面上部のカメラをメインカメラと呼称します。

アイコン

・「」- テレビ電話着信
・「」- お客様が映像送信を拒否している
かわりに静止画を送信することができます。
(「通話設定」P.135)

テレビ電話利用時のご注意

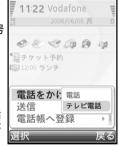
・ 本機に、USIM カードが正しく挿入され、本機を WCDMA ネットワーク圏内で使用することが必要です。
・ テレビ電話に対応している携帯電話との間でご利用できます。
・ 音声電話、テレビ電話、データ通信を行なっている間は、新たにテレビ電話を開始することはできません。

TV コールをかける

1 待受画面で電話番号を入力

電話帳 を開き、電話番号を選択することもできます。

2 [オプション] > 電話をかける > テレビ電話 の順に選択

• 通話相手がテレビ電話に応答すると、画面が表示されます。
• テレビ電話が開始するまでに時間がかかる場合は、画面に**ビデオ画像待機中** が表示されます。テレビ電話の利用ができない場合 (例えば、ネットワークが対応していない場合や、通話相手の携帯電話がテレビ電話に対応していない場合) は、メッセージ表示後に通常通話として通

話をおこなうか、または SMS を送信するかどうかなどをリストから選択できます。
- テレビ電話通話中の画面には、お客様と通話相手の 2 つの映像が表示され、ハンズフリースピーカーから音声が聞こえます。
- 通話相手が映像送信を拒否した場合、画面には**ビデオ画像待機中**と表示されます。

TV コールを受ける

1 を押す

ビデオ画像を発信者に送信しますか？ が表示されます。

2 [はい] を選択

- 映像が通話相手へ送信されます。
- 映像を通話相手に送信しない場合は、**[いいえ]** を選択します。
- 映像の送信を拒否した場合、画面には通話相手の映像と左上の映像枠に が表示されます。
- 映像を送信せずに、あらかじめ設定しておいた静止画を送信することもできます。(「通話設定」P.135)

3 を押す

テレビ電話が終了します。

テレビ電話の通話中に他の通常電話を受ける場合、テレビ電話の通話は切断されます。テレビ電話の通話中は、**割込通話サービス** を利用することができません。

TV コール通話中の操作

映像送信 / オーディオ送信を切り替える

1 [オプション] > 有効 / 無効 > ビデオ送信、オーディオ送信、ｵｰﾃﾞｨｵとﾋﾞﾃﾞｵ送信 のいずれかを選択

メインカメラ / 第2カメラを切り替える

1 [オプション] > メインカメラ使用 または 第2カメラ使用 を選択

- 通話相手に、お客様ご自身の映像を送信するには、**メインカメラ使用** を選択します。
- バックカメラの映像を第三者に見せる場合は、**第2カメラ使用** を選択します。

映像をズームする

1 [オプション] > ズームイン または ズームアウト を選択

ズームインジケータ「± ▬▬▬」は、画面上部に表示されます。

送信映像の表示順序を切り替える

自分の映像と通話相手の映像を画面上で切り替えることができます。

1 **[オプション] > 画像順序変更 を選択**

通話モードを切り替える

1 **[オプション] > 通常通話に切替、ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ通話に切替、ﾜｲﾔﾚｽﾍｯﾄﾞｾｯﾄに切替** （本機と互換性のある Bluetooth イヤホンマイクが接続されている場合に使用できます。）

補足：通話中に受話音量を大きくしたり、小さくしたりする場合は、 または を押します。

カメラ

カメラをご利用になる前に

本機には、２台のカメラが搭載されています。本機の背面にあるメインカメラは、高解像度カメラです。本機内側のメイン画面上部にある、第２カメラは低解像度カメラで、いずれもカバーディスプレイを開いて利用します。カメラでは、静止画とビデオの撮影が可能です。

カメラで撮影した静止画やビデオは、自動的に ｷﾞｬﾗﾘｰ の **画像とビデオ** フォルダに保存されます。(「ギャラリー」P.75)

静止画は .jpeg ファイル形式、ビデオクリップは .3gp ファイル拡張に対応する .3gpp ファイル形式（標準モード、および共有モード用）や、.mp4 ファイル形式 (高画質モード用）に変換されます。

撮影した静止画やビデオを MMS や、E-mail に添付したり、Bluetooth 接続や、赤外線通信を利用して送信することができます。

補足：電話帳に撮影した画像を挿入することもできます。（「サムネイル画像を追加する」P.46）

本機の背面にあるメインカメラの解像度は最大 1600 x 1200 ピクセルです。ただし、実際の静止画解像度は、撮影状況により異なる場合があります。

カメラ利用時のご注意

- 本機を両手で持ち、本体がぶれないようにして撮影してください。
- 撮影環境に適した撮影モードを選んで、撮影してください。(「撮影モード」P.69)
- 撮影後、静止画が保存されるまで本機を動かさないでください。
- 画像を拡大すると、元の画像よりも画質が落ちます。
- 本機ではどのキーも押さずに約 1 分経過すると、省電力モードに入ります。撮影を続行するには、[キー] を押します。

カメラを起動する

次の方法でカメラを起動します。

- [メニュー] > ｲﾒｰｼﾞﾝｸﾞ > **カメラ** の順に選択
- [カメラキー] を長く押す

■ ディスプレイ表示について

静止画アイコン

画面に静止画を表示すると、各所に次のアイコンが表示されます。

- 電話機メモリ「」またはメモリカード「」アイコン (1) は 、静止画の保存先を示します。
- 画像保存件数 (2) は、電話機メモリやメモリカードに保存できる画像数の概算値を示します。

- セルフタイマーアイコン (3) は、セルフタイマーが有効であることを示します。(「セルフタイマー」P.66)
- 連写モードアイコン (4) は、連写モードが有効であることを示します。(「連写モード」P.66)
- (5) は、静止画の画質を示します。(「静止画設定」P.71)

ビデオアイコン

画面にビデオを表示すると、各所に次のアイコンが表示されます。

- 電話機メモリ「」またはメモリカード「」アイコン (1) は、ビデオの保存先を示します。
- ビデオ録画時間アイコン (2) は、ビデオ録画の経過時間と、残り時間を表示します。
- マイクアイコン (3) は、音声がない状態で録画されていることを示します。(「録音」P.72)
- (4) は、ビデオクリップの画質を示します。(「ビデオ設定」P.72)

静止画の撮影

■ 静止画を撮影する

1 > **イメージング** > **カメラ** **の順に選択**

- カメラがビデオモードになっている場合は、**[オプション]** > **静止画モード** を選択して、静止画モードにします。

2 [オプション] > 第2カメラ使用 または、メインカメラ使用 を選択

3 ビューファインダに被写体を表示して、 を押す

シャッターが下り、静止画が撮影されます。

- ビューファインダに被写体を表示させ、 または を押すと、画面右横にズームアイコンが表示され、被写体をズームあるいはズームアウトすることができます。

補足： 撮影後、静止画が保存されるまで、本機を動かさないでください。

■ 静止画撮影で利用できる機能

撮影後、ビューファインダに表示されている静止画に対して、次の操作をすることができます。

カメラのオプション設定にある、**撮影静止画を表示** を **オフ** にしている場合は、撮影直後に画像がビューファインダに表示されません。(「撮影直後に画像を確認する」P.73)

撮影した静止画を削除する

1 [オプション] > 削除 または C を押す

削除を確認するメッセージが表示されます。

2 [はい] を押す

新規に静止画を撮影する

1 [戻る] を押してビューファインダに戻り、 を押す、または [オプション] > 新規静止画 を選択する

撮影した静止画を送信する

1 [オプション] > 送信 を選択

詳細については、「撮影した画像の送信」(P.74) を参照してください。
この機能は、通話中に使用することはできません。

通話中に静止画を通話相手に送信する

通話中に電話をかけてきた相手に画像を送ることができます。画像は MMS で送信されます。

1 ビューファインダに静止画を表示 > [オプション] > 発信者に送信 の順に選択

- MMS のアクセスポイントの設定 (「アクセスポイント設定」P.137) で、**パスワード確認** が **はい** になっていると、ここでアクセスポイントのユーザ名とアクセスポイントのパスワードを確認する画面が表示されます。

2 [OK] を押す

画像が送信されます。

撮影した静止画を編集する

1 [オプション] > 編集 を選択

詳細については、「静止画ファイルを編集する」(P.76) を参照してください。

撮影した静止画を印刷する

1 [オプション] > 印刷 を選択

接続するプリンタは、画像印刷からの設定に依存します。詳細については、「プリンタの設定」(P.103) を参照してください。

■ 連写モード

連写モードを利用して、静止画を連続して撮影することができます。撮影の速度を、2 フレーム / 1 秒 (高速) から 1 フレーム / 15分 (低速) の範囲で選択することができます。連写できる枚数は、使用できるメモリ容量により異なります。

1 > ｲﾒｰｼﾞﾝｸﾞ > カメラ の順に選択
または、 を長く押す

カメラが静止画モードであることを確認してください。

2 [オプション] > 詳細連写 を選択

連写頻度の画面が表示されます。

3 連写の速度を または を押して選択し、[OK] を押す

4 連続撮影を開始するには、 を押す

5 連続撮影を停止するには、 を押す

静止画保存中のメッセージが表示され、自動的に ｷﾞｬﾗﾘｰ に保存されます。

撮影後、画像はメイン画面にグリッド状に表示されます。連写した各画像を開くには、選択して、 を押します。

・ 連写モードを設定すると、連写モードアイコンが画面上部に表示されます。
・ 再度、連続撮影をおこなうには、[戻る] を押します。

セルフタイマーで連写モードを利用する

セルフタイマー 時に、連写モードを利用することもできます。先に連写モードを設定し、次にセルフタイマーを設定して撮影を行います。(「セルフタイマー」P.66)

連写モードを解除する

1 [オプション] > 通常モード を選択

■ セルフタイマー

セルフタイマーを利用して、静止画を撮影することが可能です。セルフタイマーのスピードは、10 秒、20秒、30秒から選択することができます。

1 > ｲﾒｰｼﾞﾝｸﾞ > **カメラ** > **[オプション]** > **セルフタイマー** の順に選択

2 **10 秒** 、**20 秒** あるいは **30 秒** から選択

3 **[開始]** を押す

セルフタイマーのアイコン ( ) が画面上部に点滅し、ビープ音が鳴ります。設定した時間が経過すると、シャッターが下り、画像が撮影されます。

セルフタイマー時に、連写モードを利用することもできます。(「セルフタイマーで連写モードを利用する」P.66)

静止画撮影のポイント

画質について

・ 適切な画質を選択します。画像のサイズや用途に合わせて、3 種類の画質を設定することができます。「静止画設定」(P.71) を参照してください。

・ 画像が高画質になるほど、メモリを多く消費します。

背景について

・ シンプルな背景を使用します。ポートレイトや集合写真を撮影する場合は、背景に複雑な模様やオブジェクトを入れないようにしてください。シンプルな背景を使用した方が、被写体をより際立たせることができます。被写体をはっきりと撮影したい場合は、なるべく近づいて撮影してください。

奥行きについて

・ 風景を撮影する場合、前面にオブジェクトを置くと、画像に奥行きが出ます。前面に配置するオブジェクトがカメラを妨ることのないようにしてください。

ライティングの状態

ライティングの種類、量、方向を考慮すると被写体の写りが変わります。

・ 逆光 - 被写体の後ろに、強い光源を置くことは避けてください。もし光源が被写体の後ろにあったり、あるいはディスプレイから見える場合は、画像のコントラストが弱くなり、画像が暗くなるか、ライティング効果がなくなる場合があります。周りが暗い場合は、フラッシュを使用してください。(「フラッシュ」P.70)

・ サイド光 - 側面からの光源で撮影すると、画像に強い印象を与えますが、コントラストが強くなりすぎ、粗い印象の画像になる場合があります。

・ 順光 - 強い太陽光の元では、被写体は目を細めがちになります。また画像のコントラストも強くなりすぎる場合があります。

・ 最適配光 - 明るい薄曇りの日や、晴天時の木陰などのやわらかい光や、拡散光が多い場合にライティングを考慮します。

動画の撮影

■ ビデオを撮影する

1 > イメージング > カメラ の順に選択 または、を長く押す

- カメラが静止画モードになっている場合は、[オプション] > ビデオモード を選択して、ビデオモードにします。

2 [オプション] > 第2カメラ使用 または メインカメラ使用 を選択

使用するカメラを選択します。

3 ビューファインダに被写体を表示して、を押す

録画開始音が鳴り、録画が開始されます。録画中は、● が画面上部に表示され、LED が点灯します。録画したビデオにフラッシュの影響はありません。

補足： 録画を一時停止するには、[一時停止] を押します。一時停止になると「❚❚」が点滅します。一時停止をしてそのままにしておくと、約一分後に自動的に解除されます。録画を再開するには、[録画] を押します。

4 [停止] を押す

ビデオ保存中のメッセージが表示され、自動的に ギャラリー に保存されます。

■ ビデオ撮影で利用できる機能

撮影後、ビューファインダに表示されているビデオに対して、次の操作をすることができます。

カメラのオプション設定にある 撮影ビデオを表示 を オフ にしている場合は、撮影直後に画像がビューファインダに表示されません。(「撮影直後に画像を確認する」P.73)

撮影したビデオを再生する

1 [オプション] > 再生 を選択

撮影したビデオを削除する

1 [オプション] > 削除 を選択 または C を押す

新規にビデオを撮影する

1 [戻る] を押してビューファインダに戻り、を押す

撮影したビデオを送信する

1 ビューファインダにビデオを表示 > [オプション] > 送信 の順に選択

詳細については、「撮影した画像の送信」(P.74)を参照してください。
通話中にこの機能は使用することができません。

通話中にビデオを通話相手に送信する

通話中に通話相手にビデオを送ることができます。ビデオは MMS 送信されます。

1 [オプション] > 発信者に送信 を選択

- MMS のアクセスポイントの設定 (「アクセスポイント設定」P.137) で、**パスワード確認** が **はい** になっていると、ここでアクセスポイントのユーザ名とアクセスポイントのパスワードを確認する画面が表示されます。

2 [OK] を押す

ビデオが送信されます。

ビデオファイルを編集する

1 [オプション] > 編集 を選択

詳細については、「ビデオファイルを編集する」(P.79) を参照してください。

設定表示機能

静止画やビデオの撮影前にビューファインダの設定画面から、次の機能を設定をすることができます。

設定できる機能は、メインカメラと第2カメラで異なります。

- **撮影モード** (「撮影モード」P.69)
- **フラッシュ** (「フラッシュ」P.70)
- **ホワイトバランス** (「ホワイトバランス」P.71)
- **色合い** (「色合い」P.71)

静止画のライティング、色の設定を変更すると、保存に時間がかかる場合があります。

1 > ｲﾒｰｼﾞﾝｸﾞ > カメラ > または を押すあるいは [オプション] > 設定表示 を選択

画面下部のカメラの設定表示が有効になります。

2 または を押し、設定する機能を選択し、を押す

設定表示内の正方形の黒枠に、設定する機能を表示します。

3 ビューファインダを再度有効にするには、[キャンセル] あるいは、を押します。

■ 撮影モード

撮影モードでは、現在の環境に適した色調やライティングを調整することができます。特定の状況や環境に合わせて、撮影モードを設定します。

- 利用できるモードの種類は、静止画とビデオでは異なります。

・ 撮影モードのデフォルトは **自動** に設定されています。**ユーザ定義** モードの設定を行なった後は、ユーザ定義の設定がデフォルトになります。

1 設定表示を有効にする (P.69、操作 1 ～ 2)

2 撮影モードを選択して、 を押す

3 または を押して、使用する撮影モードを選択し、 を押す

静止画撮影モード

・ **自動** (デフォルト) - 本機が自動的にモードを選択します。
・ **ユーザ定義** - 各種機能を設定し、独自のモードを作成することができます。
・ **ポートレート** - 顔写真や座りポーズなどの、ポートレートを撮影する場合に使用します。
・ **風景** - 遠景撮影時に使用します。
・ **スポーツ** - スポーツ場面など、動いている被写体を撮影する時に使用します。
・ **夜** - 夜間など、光の少ない環境で利用します。

ビデオ撮影モード

・ ビデオでは、**自動** と **夜** モードが設定できます。

ユーザ定義モードを設定する

ユーザ定義では、独自の撮影モードを設定することができます。

1 枠内にユーザ定義を入れる

2 [オプション] > 変更 を選択

次の機能を設定することができます。

- **モードに依存**
- **フラッシュ**
- **ホワイトバランス**
- **色合い**
- **ﾕｰｻﾞﾓｰﾄﾞのﾘｾｯﾄ**

3 各機能を選び、 を押す、または **[オプション]** > **変更** を選択します。設定表示画面が開くので、設定する機能を選び、 を押します。

■ フラッシュ

本機には、暗い場所でも撮影できるように、LED フラッシュが搭載されています。

フラッシュ使用時は、被写体と安全な距離を保ち、至近距離での人や動物の撮影にはフラッシュを使用しないでください。写真の撮影時はフラッシュを手で覆わないようにしてください。

フラッシュを設定する

1 設定表示を有効にする (P.69、操作 1 ～ 2)

2 フラッシュを選択して、 を押す

3 または を押して、使用するフラッシュを選択し、 を押す

- フラッシュは、**自動**、**オン**、**オフ** から選択することができます。

フラッシュが **オフ** あるいは、**自動** に設定されている場合、周囲が明るい時に静止画を撮影しても、フラッシュが少し光ります。これにより、被写体が撮影されたタイミングがわかります。撮影された画像にフラッシュの影響はありません。

■ ホワイトバランス

ライティングの状態にあわせて、ホワイトバランスを設定すると、より正確な色調を表現することができます。

1 設定表示を有効にする (P.69、操作 1 ～ 2)

2 ホワイトバランスを選択して、● を押す

3 ◀ または ▶ を押して、使用するホワイトバランスを選択し、● を押す

次のホワイトバランスを選択することができます。

- **自動**（デフォルト）
- **晴**
- **曇**
- **白熱灯**
- **蛍光灯**

■ 色合い

色合いでは、設定に合わせて画面の色合いが変わります。設定前に画像やビデオの色効果が確認できます。

1 設定表示を有効にする (P.69、操作 1 ～ 2)

2 色合いを選択して、● を押す

3 ◀ または ▶ を押して、使用する色合いを選択し、● を押す

次の種類の色効果を選択することができます。

- **標準**（デフォルト）
- **セピア**
- **モノクロ**
- **ネガ**

静止画 / 動画の設定

■ 静止画設定

静止画の設定メニューから、画質の調整や、撮影後静止画を表示するようにしたり、シャッター音などを設定することができます。

静止画の設定は、次に設定を変更しない限りカメラを閉じてもそのまま保存されます。

1 ⌘ > ｲﾒｰｼﾞﾝｸﾞ > カメラ > [オプション] > 設定 の順に選択

次の設定をおこなうことができます。

静止画画質 - 静止画の画質を次の 3 種類から選択することができます。（メインカメラ使用時のみ）

- **印刷** - 最大サイズ 25 × 20 cm（10 × 8 in.）までの大判印刷に適した画質です。
- **E-mail** - E-mail 送信に適した画質です。

- **MMS -** MMS 送信に適した画質です。

アルバムに追加 - ギャラリーのアルバムに画像を追加することができます。**はい** を選択すると、利用できるアルバムのリストが開きます。

拡大ズーム - **オン** を選択するとビューファインダの画像をズームすることができます。ズームを使用して撮影した場合、画質が荒くなります。ズーム範囲を限定し、解像度が下がるのを防ぎたい場合は、**オフ** を選択してください。

撮影静止画を表示 - 撮影直後に、撮影した静止画をビューファインダに表示するには **オン** を設定します。(「撮影直後に画像を確認する」P.73)

デフォルト静止画名 - 撮影する静止画のデフォルト名を **日付** または **文字** から選択します。

- **日付** - 撮影した日付が表示されます。
- **文字** - デフォルトになるファイル名を入力します。

シャッター音 - カメラのシャッター音を選択します。

使用するメモリ - 静止画の保存先を選択します。

■ ビデオ設定

ビデオの設定メニューから、画質の調整や、撮影後ビデオを表示するようにしたり、デフォルトのビデオ名などを設定することができます。

ビデオ設定は、次に設定を変更しない限り、カメラを閉じても設定はそのまま保存されます。

1 **> ｲﾒｰｼﾞﾝｸﾞ > カメラ の順に選択**

- カメラが静止画モードになっている場合は、**[オプション]** > **ビデオモード** を選択し、ビデオモードにします。

2 **[オプション] > 設定 を選択**

次のオプションを設定することができます。

録音 - ビデオと同時に音声を録音する場合は、**オン** を選択します。

ビデオ画質 - ビデオクリップの品質を次の 3 種類から選択することができます。

- **高** - CIF 解像度 (352x288)、.mp4 ファイル形式でビデオを録画します。互換性のある PC や TV でビデオを再生する場合に適した品質です。MMS では .mp4 形式のビデオを送信することができません。
- **標準** - QCIF 解像度 (176x144)、.3gp ファイル形式でビデオを録画します。携帯電話でビデオクリップを再生する場合に適した品質です。
- **共有** - QCIF 解像度、.3gp ファイル形式 でビデオを録画します。MMS を利用して、ビデオクリップを送信する場合に選択してください。ビデオクリップの容量は、300 kB (時間にするとデフォルトで約 35 秒）に限られているので、MMS を利用して互換性のある機器へ送信するのに適しています。ただし、ネットワークによっては、送信できる MMS の最大サイズは 100 kB に制限されている場合があります。

詳細については、サービスプロバイダにお問い合わせください。

補足： ビデオの設定を **高** あるいは、**標準** に設定した場合、ビデオの録画時間はメモリカードの空き容量により制限されます。最長で約 1 時間に設定されます。

アルバムに追加 - **ｷﾞｬﾗﾘｰ** のアルバムにビデオを追加するには、**はい** を選択します。

撮影ビデオを表示 - 撮影直後に、撮影したビデオをビューファインダに表示するには **オン** を設定します。（「撮影直後に画像を確認する」P.73）

デフォルトビデオ名 - 録画するビデオのデフォルト名を **日付** または **文字** から選択します。

- **日付** - 撮影した日付が表示されます。
- **文字** - デフォルトになるファイル名を入力します。

使用するメモリ - ビデオの保存先を選択します。

撮影した画像の確認

■ 撮影した静止画 / ビデオを確認する

カメラを起動中に、**ｷﾞｬﾗﾘｰ** に保存した静止画やビデオを確認することができます。

1 カメラのビューファインダが有効な状態で、[オプション] > ギャラリーへ移動 を選択

ギャラリーの 画像とビデオフォルダが開きます。

2 または を押して、確認する静止画、あるいはビデオを選択し を押す

撮影した静止画、あるいはビデオが表示されます。

撮影直後に画像を確認する

撮影直後に、撮影した画像をビューファインダに表示するように設定することができます。

1 > ｲﾒｰｼﾞﾝｸﾞ > カメラ > [オプション] > 設定 > 撮影静止画を表示 の順に選択

- ビデオモードの場合は、**撮影ビデオを表示** を選択してください。

2 を押して、オン にする

- 撮影後、続けて撮影をおこなう場合は **オフ** を選択します。

撮影した画像の編集

■ 撮影した静止画 / ビデオを編集する

撮影した静止画や **ｷﾞｬﾗﾘｰ** に保存してある静止画にエディタ機能を利用して、クリップアートや文字を挿入したりすることができます。ビデオは、ビデオエディタを利用して、編集したり、カスタムビデオクリップを作成することができます。詳細については、

「静止画ファイルを編集する」(P.76)、「ビデオファイルを編集する」(P.79) を参照してください。

撮影した画像の送信

■ 撮影した静止画 / ビデオを送信する

撮影後に、ビューファインダに表示されている静止画ファイルやビデオファイルを、MMS、Bluetooth 接続、赤外線通信を利用して送信することができます。

- 通話中はこの機能を使用することはできません。
- ギャラリーに保存されている、静止画ファイルや、ビデオファイルの送信については、(「ファイルを送信する」P.85) を参照してください。
- E-mail に添付して送信する場合は、いったんギャラリーに保存してください。(「添付ファイルの利用」P.167)

カメラのオプション設定にある、**撮影静止画を表示** (ビデオモードの場合は、**撮影ビデオを表示**) を **オフ** にしている場合は、撮影直後、画像がビューファインダに表示されません。(「撮影直後に画像を確認する」P.73)

1 静止画やビデオを撮影する

「静止画の撮影」(P.64)、「動画の撮影」(P.68) ビューファインダに撮影した画像が表示されます。

2 [オプション] > 送信 を選択

送信方法のリストが表示されます。次の送信方法を選択することができます。

- **MMS** で送信する
  詳細については、「MMS を作成する」(P.163) を参照してください。

  補足：MMS で送信可能なファイルサイズは、添付ファイルとメッセージ本文などを合わせて最大 300 kB です。ファイルサイズが大きく、MMS で送信することができない場合には、 が表示されます。携帯電話事業者が MMS 送信に推奨するよりも、大きなサイズでファイルを送信したい場合は、Bluetooth 接続を使用してファイルを送信してください。
- **Bluetooth** で送信する
  詳細については、「Bluetooth 接続でデータを送信する」(P.120) を参照してください。
- **赤外線通信** で送信する
  詳細については、「赤外線通信」(P.118) を参照してください。
- **E-mail** で送信する
  詳細については、「メール送信」(P.162) を参照してください。

ギャラリー

ギャラリーについて

ギャラリーの各フォルダに、静止画ファイル、ビデオファイル、音楽ファイル、プレイリスト、ストリーミングリンクなどを保存し、整理することができます。

・ ギャラリーでは、フォルダに保存してあるファイルの再生、コピー、および移動などをすることができます。(「ギャラリーファイルの編集」P.85)
・ ギャラリーのアルバム機能を利用して、オリジナルのアルバムを作成したり、編集したりすることができます。(「アルバム」P.82)
・ ビデオファイル、音声クリップ、.ram ファイルは **RealPlayer** で再生します。(「RealPlayer™」P.99) 音楽ファイルは、ミュージックプレーヤーで再生します。(「ミュージックプレイヤー」P.95)

■ カメラからギャラリーを開く

カメラで撮影した画像は、自動的にギャラリーに保存されます。カメラからギャラリーを開くこともできます。

1 > **ｲﾒｰｼﾞﾝｸﾞ** > **カメラ** > **[オプション]** > **ギャラリーへ移動** **の順に選択**

ｷﾞｬﾗﾘｰ の画像とビデオフォルダが開きます。

補足：ギャラリーからカメラに表示を切り替えるには、画像とビデオ フォルダから、**[オプション]** > **カメラに移動** を選択します。

■ ギャラリーの構成

ギャラリーは、次のフォルダで構成されています。

・ **画像とビデオ**「 」- 静止画ファイルやビデオファイルを保存します。
・ **ミュージック**「 」- 音楽ファイルを保存します。
・ **ｻｳﾝﾄﾞｸﾘｯﾌﾟ**「 」- 音声クリップを保存します。
・ **ｽﾄﾘｰﾐﾝｸﾞﾘﾝｸ**「 」- 保存したインターネットページの URL を登録します。
・ **ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ**「 」- ファイル形式が SVG などのプレゼンテーションファイルを保存します。
・ **すべてのﾌｧｲﾙ**「 」- 電話機やメモリカードに保存されている、すべてのファイルをリストします。

ギャラリー
画像とビデオ
ミュージック
ｻｳﾝﾄﾞｸﾘｯﾌﾟ
ｽﾄﾘｰﾐﾝｸﾞﾘﾝｸ
ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ
オプション 終了

ギャラリーのフォルダを開く

ギャラリーのフォルダを開き、保存されているファイルを確認します。

1 > ｷﾞｬﾗﾘｰ > フォルダ の順に選択

各フォルダに保存されているファイルのリストが表示されます。

- または、を押して各ファイルをプレビューします。
- ファイルがメモリカードに保存されている場合、画面に「」が表示されます。

補足：Nokia PC Suite に搭載されている Nokia Phone Browser を利用して、ファイルを移動することが可能です。本機付属の CD-ROM を参照してください。

静止画 / 動画ファイルの利用

- **画像とビデオ** フォルダには、画像ファイル、およびビデオファイルがループ状に配置されています。または、を押して各ファイルをプレビューします。
- 静止画ファイルやビデオファイルはメールや MMS の添付ファイルとして、また Bluetooth 接続を利用して受信することができます。受信した静止画ファイルを ｷﾞｬﾗﾘｰ に表示したり、ビデオファイルを **RealPlayer** で再生するには、電話機メモリ、または本機に挿入されているメモリカードに保存する必要があります。
- ビデオファイルのプレビュー画面左側には、映像品質を示す次のアイコンが表示されます。

アイコン

「」- MMS 送信可
「」- MMS 送信不可
「」- MMS 送信不可 (高画質)

■ 静止画ファイルを編集する

ｷﾞｬﾗﾘｰ に保存してある静止画に、編集機能を利用して、クリップアートや文字などを挿入することができます。

編集機能を利用する

1 > ｷﾞｬﾗﾘｰ > 画像とビデオ > 編集する静止画を選択 > [オプション] > 編集 > [オプション] > 効果適用 の順に選択

静止画を切り取る

1 切取り「」を選択

切り取り枠のサイズリストが表示されます。

2 サイズを選択 > [OK] を押す

静止画に四角い選択枠が表示されます。

3 サイズが決定したら [設定] を押す

- （上）または、（下）を使用して選択枠の大きさを調整することができます。
- 選択枠の右下は、画像に固定されており、動かすことができません。
- 選択を取り消すには、[戻る] を押します。
- [キャンセル] を押すと、編集画面に戻ります。

4 もう一度 [設定] を押し、[切取り] を押す

画像が切り抜かれます。

- 切取りを取り消すには、[オプション] > 取消し を選択してください。編集画面に戻ります。

5 [戻る] を押す

ｷﾞｬﾗﾘｰ に編集した静止画が保存されます。

赤目補正をする

1 赤目補正 「 」を選択

静止画に十字型のカーソルが表示されます。

- [キャンセル] を押すと、選択画面に戻ります。

2 ナビゲーションキーを使用して、目の位置に合わせ、（中央キー）を押す

静止画にループ枠が表示されます。

- [オプション] > 取消し を選択するとカーソルが十字型に戻ります。
- [オプション] > 効果キャンセル を選択すると、編集画面に戻ります。

3 ナビゲーションキーを動かして、ループ枠を目のサイズに合わせて、[OK] を押す

- [オプション] > 取消し を選択すると編集画面に戻ります。

4 [戻る] を押す

ｷﾞｬﾗﾘｰ に編集した静止画が保存されます。

静止画にクリップアートを挿入する

1 クリップアート 「 」を選択

クリップアートのリストが表示されます。

2 ナビゲーションキーを使用して、クリップアートを選択

静止画に選択したクリップアートと、十字型のカーソルが表示されます。

- [キャンセル] を押すと、クリップアートの位置が確定されます。

3 ナビゲーションキーを使用して、クリップアートを移動し、[OK] を押す

- [オプション] > 効果キャンセル を押すと編集画面に戻ります。

4 もう一度、[OK] を押す

- [オプション] > 取消しを選択すると編集画面に戻ります。

5 [戻る] を押す

ｷﾞｬﾗﾘｰ に編集した静止画が保存されます。

静止画にテキストを追加する

1 文字「A」を選択

テキストの入力画面が表示されます。

- [キャンセル] を押すと、編集画面に戻ります。

2 テキストを入力し、[キー] を押す

入力する文字が確定されます。

- 入力した文字を取り消すには、C を押します。

3 「静止画にクリップアートを挿入する」(P.77) の操作 3 - 5 をおこなう

静止画にフレームを挿入する

1 フレーム「□」を選択

2 [キー] または [キー] を押してフレームを選択

3 [戻る] を押す

ｷﾞｬﾗﾘｰ に編集した静止画が保存されます。

編集中のオプション

- 編集画面の静止画を全画面表示 / 通常画面表示にするには、[*+記号] を押します。
- 編集画面の静止画を左右に回転させるには、[1] と [3] を押します。
- 編集画面の静止画を拡大するには、[5] を押し、拡大した画像を縮小するには、[0] を押します。この操作は、静止画のプレビュー表示画面でも有効です。

■ 壁紙に設定する

1 [キー] > ｷﾞｬﾗﾘｰ > 画像とビデオ > 壁紙に設定するファイル > [オプション] > 登録 > 壁紙に設定 の順に選択

- 設定した壁紙を解除するには、「設定した壁紙を解除する」(P.88) を参照してください。

■ 画像を電話帳へ登録する

1 [キー] > ｷﾞｬﾗﾘｰ > 画像とビデオ > 電話帳に登録する画像ファイル > [オプション] > 登録 > 電話帳へ登録 の順に選択

電話帳が開きます。

2 画像を登録するアドレスを選び、[OK] を押す

■ ビデオを電話帳へ登録する

着信時、登録したビデオが再生されます。保護されていないファイルは設定しても再生されません。

1 [キー] > ｷﾞｬﾗﾘｰ > 画像とビデオ > 電話帳に登録するビデオファイル > [オプション] > 登録 > 電話帳へ登録 の順に選択

電話帳が開きます。

2 ビデオを登録する連絡先を選び、[OK] を押す

登録できないファイルもあります。

■ 撮影した静止画を縮小する

撮影した静止画のサイズを縮小することができます。(この機能はすべてのファイルタイプに対応しておりません。)

1 縮小する画像を選択

2 [オプション] > 縮小 を選択

メッセージが表示されます。

3 [はい] を選択

画像が縮小され、タイトル名の最後に「小」が表示されます。

・ メモリの空きスペースをつくるため、Nokia PC Suite などを使用して、互換性のある PC などにコピーしたファイルのサイズを減らすには、コピーしたファイルを選択し、**[オプション]** > **メモリ解放** を選択します。

■ ビデオファイルを編集する

ギャラリー に保存してあるビデオファイルをビデオエディタを利用して、ビデオクリップを挿入したり、効果やトリミングを追加して編集することができます。カスタムビデオクリップをビデオエディタで作成することもできます。

カスタムビデオクリップを作成する

カスタムビデオクリップは、ビデオクリップを組み合わせたり、画像、サウンドクリップ、トランジション、効果をビデオに追加して作成したビデオです。

補足：トランジションとは、ビデオの始めや終わり、ビデオクリップの間に追加できる視覚効果のことです。

クリップ編集を利用する

1 > ギャラリー > 画像とビデオ の順に選択

2 または を押して、編集するビデオを選択

3 [オプション] > 編集 を選択

クリップ編集画面が表示されます。

補足：クリップ編集画面下部には、2種類のタイムライン (ビデオクリップタイムライン、およびサウンドクリップタイムライン) が表示されます。ビデオクリップに、画像、テキスト、トランジションを追加すると、ビデオクリップタイムラインに表示されます。サウンドを追加すると、サウンドクリップタイムラインに表示されます。タイムラインを切り替えるには、

または を押します。タイムライン上を移動するには、または を押します。

補足：クリップ編集の **[オプション]** > **設定** では、**ﾃﾞﾌｫﾙﾄのﾋﾞﾃﾞｵ名、ﾃﾞﾌｫﾙﾄｽｸﾘｰﾝｼｮｯﾄ名、解像度、使用するメモリ** を定義することができます。

ビデオクリップ編集

1 クリップ編集画面を表示します

（「クリップ編集を利用する」(P.79) 操作 1 〜3）

2 [オプション] > ﾋﾞﾃﾞｵｸﾘｯﾌﾟ 編集 を選択

次のオプションを選択することができます。

- **カット** - ビデオクリップをトリムします。
- **カラー効果追加** - 色効果を追加します。
- **スローモーション使用** - 再生速度を遅くします。
- **ミュート** - ビデオクリップのサウンドをミュート / ミュート解除します。
- **移動** - タイムライン上で、選択した場所にビデオクリップを移動します。編集可能なビデオが 2 ファイル以上ある場合に表示されます。
- **削除** - ビデオからビデオクリップを削除します。
- **複製** - 選択したビデオクリップをコピーします。
- **テキスト編集** (ビデオにテキストを追加した場合) - テキストを移動、削除、コピーしたり、テキストの色、スタイルを変更したり、画面に表示される時間を設定したり、効果を追加したりします。
- **画像編集** (ビデオに静止画を追加した場合) - 静止画を移動、削除、コピーしたり、画面に表示される時間を設定したり、背景や、効果を追加したりします。

トランジション編集

ビデオクリップにトランジションを追加することができます。トランジションの追加は、クリップ編集画面からおこないます。

1 クリップ編集画面を表示します

（「クリップ編集を利用する」(P.79) 操作 1 〜3）

2 トランジションの挿入場所を選択

- 開始部分 - を押す
- 終了部分 - を押す

3 または を押して、追加するトランジションの種類を選択

4 [戻る] を押す

メッセージが表示されます。

5 [はい] を押す

ファイル名の入力画面が表示されます。

6 ファイル名を入力して、[OK] を押す

編集したクリップが保存されます。

サウンドクリップ編集

1 クリップ編集画面を表示します

(「クリップ編集を利用する」(P.79) 操作 1 ～ 3)

2 を押して、サウンドクリップタイムラインを選択

- サウンドクリップが挿入されていない場合は、「サウンドクリップなし」と表示されます。

3 [オプション] > サウンドクリップ編集 を選択

次のオプションを選択することができます。

- **カット** - サウンドクリップをトリムします。
- **移動** - タイムライン上の選択した位置にサウンドクリップを移動します。
- **長さ設定** - サウンドクリップの長さを変更します。
- **削除** - ビデオからサウンドクリップを削除します。
- **複製** - 選択したサウンドクリップのコピーを作成します。

ビデオクリップに挿入する

クリップ編集画面から、ビデオクリップにテキストを入力したり、サウンドクリップを挿入したりすることができます。

1 クリップ編集画面を表示します

(「クリップ編集を利用する」(P.79) 操作 1 ～3)

2 [オプション] > 挿入 を選択

次のオプションを挿入することができます。

- **ビデオクリップ** - 画像とビデオフォルダにあるビデオクリップのサムネイル表示から、挿入するクリップを選択します。
- **画像** - 画像とビデオフォルダにある、静止画ファイルのサムネイルが表示から、挿入するファイルを選択します。
- **テキスト** - タイトルなどを挿入します。
- **サウンドクリップ** - 音楽ファイルやサウンドクリップのリストから、挿入するファイルを選択します。
- **新規サウンドクリップ** - その場で音声を録音し、ビデオに挿入することができます。録音を開始するには、[録音] を押します。

補足：ビデオクリップのスナップショットを撮影する場合、プレビュー表示 (小) から を押して、**ｽﾅｯﾌﾟｼｮｯﾄ撮影** を選択してください。

アルバム

アルバムを利用して、画像とビデオフォルダにある静止画ファイルやビデオファイルを整理することができます。アルバムの作成は、**画像とビデオ** のフォルダから行います。

新規アルバムを作成する

1 > **ｷﾞｬﾗﾘｰ** > **画像とビデオ の順に選択**

2 [オプション] > アルバム > アルバム表示 を選択

アルバムのリストが表示されます。

- アルバムの内容を確認するには、アルバムリストを選択して、決定キーを押します。画面にアルバムにあるファイルのサムネールが表示されるので、ナビゲーションキーを使用して、それぞれのファイルを確認することができます。

3 [オプション] > 新しいアルバム を選択

アルバムの名前を入力する画面が表示されます。

4 アルバムの名前を入力し、[OK] を押す

5 ギャラリーを開いて、アルバムに追加する画像ファイルを選択

6 [オプション] > アルバム > アルバムに追加 の順に選択

7 追加先のアルバム > [OK] を押す

ファイルがアルバムに追加されます。

- アルバムからファイルを削除するには、アルバムを開いて追加したファイルを選択し、C を押して削除します。
- ファイルはアルバムから取り除かれますが、画像とビデオフォルダからは削除されません。

スライドショー

静止画ファイルやビデオファイルを、全画面モードで表示して、スライドショーを実行することができます。

スライドショーを開始する

1 > **ｷﾞｬﾗﾘｰ** > **画像とビデオ の順に選択**

2 [オプション] > スライドショー > 開始 の順に選択

スライドショーが開始されます。

スライドショーの操作

- スライドショー実行中に を押し、(- スピードダウン) または、(+ スピードアップ) を利用して、スライドショーのテンポを調節することができます。
- スライドショーを終了する： を２回押す
- スライドショーを一時停止する：静止画が表示されている際に、 を２回押す
- ビデオファイルを再生する： を押す
- 画像を手で送る： または を押す

スライドショーに音楽を挿入する

スライドショー再生時のバックグラウンドミュージックを設定することができます。

1 > ｷﾞｬﾗﾘｰ > 画像とビデオ > [オプション] > スライドショー > ミュージック設定 > ミュージック > オン の順に選択

2 トラック を選択

ミュージックフォルダにある、音楽ファイルリストが表示されます。

3 設定する音楽ファイルを選択し、[選択] を押す

- 音量の調節は、音量 フィールドを選択し、 または を押します。

音楽ファイル / ｻｳﾝﾄﾞｸﾘｯﾌﾟ の利用

音楽ファイルは、ミュージック フォルダの中に保存されます。効果音などのサウンドクリップは、ｻｳﾝﾄﾞｸﾘｯﾌﾟ フォルダに保存されます。ミュージックフォルダから、トラックリストを作成したり、サウンドクリップフォルダから好きな音楽ファイルを着信音に設定することができます。

■ トラックリスト

新規トラックリストを作成する

好きな曲をトラックリストに登録して、オリジナルのアルバムを作ることができます。

1 > ｷﾞｬﾗﾘｰ > ミュージック の順に選択

2 [オプション] > 新規トラックリスト を選択

メモリ選択画面が表示されます。

3 トラックリストの保存先選択 > [OK] を押す

トラックリスト名の入力画面が表示されます。

4 トラックリスト名を入力 > を押す

ミュージック フォルダにある、音楽ファイルのリストと、検索フィールドが表示されます。

- 表示された検索フィールドに、挿入するファイル名を入力して、検索することができます。

5 トラックリストに登録する音楽ファイルを選択 > を押す

トラックリストを削除する

1 > ｷﾞｬﾗﾘｰ > ミュージック の順に選択

2 削除するトラックリスト > [オプション] > 削除 の順に選択

メッセージが表示されます。

3 [はい] を押す

音楽アルバムファイルを表示 / 非表示にする

1 > ｷﾞｬﾗﾘｰ > ミュージック の順に選択

2 [オプション] > アルバム表示 を選択

- アルバムを非表示にするには、**[オプション]** > **アルバム非表示** を選択します。

■ 音楽ファイルを並べ替える

ミュージック フォルダにある音楽ファイルを各情報ごとに、並べ替えることができます。

1 > ｷﾞｬﾗﾘｰ > ミュージック の順に選択

2 [オプション] > 並べ替え を選択

次の情報にもとに、ファイルを並べ替えることができます。

- **アーティスト**
- **タイトル**
- **アルバム**（オプションの**アルバム表示**が設定されている場合）
- **ジャンル**
- **作曲者**
- **日付**
- **サイズ**
- **形式**

■ 音楽データをインポートする

音楽データのインポートについては、「サウンドファイルの利用」(P.180) を参照してください。

■ ｻｳﾝﾄﾞｸﾘｯﾌﾟを着信音に設定する

1 > ｷﾞｬﾗﾘｰ > ｻｳﾝﾄﾞｸﾘｯﾌﾟ の順に選択

2 着信音に登録するサウンドクリップ > [オプション] > 着信音に設定 の順に選択

確認メッセージが表示されます。

3 [はい] を押す

選択したサウンドクリップが着信音に設定されます。

プレゼンテーション

プレゼンテーション フォルダには、SVG ファイル (スケーラブルベクターグラフィクスファイル）を保存することができます。SVG ファイルを様々なサイズや解像度で表示したり、印刷したりすることができます。

■ SVG ファイルを再生する

1 > ギャラリー > プレゼンテーション の順に選択

2 表示するファイル > を押す

- [オプション] > 再生 を選択してもファイルが表示されます。

■ SVG ファイルを拡大する

1 > ギャラリー > プレゼンテーション の順に選択

2 拡大するファイルを選択 > を押す

SVG ファイルが開き、画面にカーソルが表示されます。

3 スクロールキーを押して、カーソルを拡大したい部分に合わせて、[オプション] > ズームイン を選択

- 拡大したファイルを、元のサイズに戻すには、[戻る] を押します。
- 拡大したファイルを一つ前のサイズに戻すには、[オプション] > ズームアウト を選択します。

■ 全画面表示する

1 > ギャラリー > プレゼンテーション の順に選択

2 表示するファイル > を押す

3 [オプション] > 全画面表示 を選択

- 全画面表示を標準画面に戻すには、[オプション] > 標準画面表示 を選択します。

ギャラリーファイルの編集

> ギャラリー > **各フォルダ の順に選択**

■ ファイルを開く / 再生する

1 [オプション] > 開く または 再生 を選択

■ ファイルを削除する

1 削除するファイル > [オプション] > 削除 の順に選択

2 [はい] を押す

■ ファイルを送信する

画像ファイルや映像ファイルを MMS や E-mail に添付したり、Bluetooth 接続、赤外線通信を利用して送信することができます。

1 送信するファイル > [オプション] > 送信 を選択

送信方法の選択画面が表示されます。

2 送信方法を選択 > [選択] を押す

それぞれの送信方法については、「MMS を作成する」(P.163)、「Bluetooth 接続」(P.119)、「赤外線通信」(P.118) を参照してください。E-mail を利用したファイルの送信方法については、「添付ファイルの利用」(P.167) を参照してください。

ファイルを検索する

1 [オプション] > 検索 を選択

ファイル名を入力するフィールドが表示されます。

2 検索するファイル名を入力し、● を押す

ファイルの検索が開始されます。

画像とビデオフォルダにはこのメニューはありません。

複数のファイルを選択する

ファイルにチェックマークを付けると、一度に複数のファイルを選択することができます。複数のファイルをコピーしたり、移動する場合に利用すると便利です。

ファイルをコピー / 移動する

ギャラリーのファイルを、電話機メモリやメモリカードにコピーしたり、移動したりすることができます。

1 コピー / 移動するファイル > [オプション] > 移動およびコピー の順に選択

電話機メモリにファイルが保存されている場合 :

- **メモリカードにコピー** および **メモリカードへ移動** が表示されます。

メモリカードにファイルが保存されている場合 :

- **電話機メモリにコピー** および **電話機メモリへ移動** が表示されます。

2 コピー / 移動先を選択 > ● を押す

ファイルを並べ替える

フォルダ内のファイルを情報ごとに並べ替えることができます。並べ替えられる情報はフォルダによって異なります。

1 [オプション] > 並べ替え を選択

画像とビデオ / ｽﾄﾘｰﾐﾝｸﾞﾘﾝｸフォルダには、このメニューはありません。

ファイル名を変更する

1 ファイル名を変更するファイルを選択 > [オプション] > 名前変更 の順に選択

入力画面が表示されます。

2 ファイル名を入力 > ● を押す

ファイル名が確定されます。

3 [OK] を押す

ファイル名が変更されます。

ｽﾄﾘｰﾐﾝｸﾞﾘﾝｸフォルダでは、**[オプション]** > **編集** から名前の変更をおこないます。

詳細情報を表示する

ファイル名、ファイル形式、サイズなど、ファイルの詳細を表示します。表示される詳細は、ファイルの内容によって異なります。

1 詳細情報を表示するファイルを選択 > [オプション] > 詳細情報表示 の順に選択

ファイルの詳細情報が表示されます。

- 詳細内容はファイル形式によって異なります。

ディスプレイ設定

テーマ設定

> **ツール** > **テーマ**

1 テーマを選択し、[オプション]> 適用 を選択

使用中のテーマには、「✓」が表示されます。

- テーマを設定する前にプレビューするには、**プレビュー** を選択します。

■ 壁紙を設定する

1 [オプション]> 編集 > 壁紙 の順に選択

2 ユーザ定義 を選択

- **画像ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ** と **ｷﾞｬﾗﾘｰ** に保存されている静止画のリストが開きます。

3 壁紙に設定する静止画を選択

設定した壁紙を解除する

1 [オプション] > 編集 > 壁紙 の順に選択

2 デフォルト を選択

パワーセーバーの表示を変更する

1 [オプション]> 編集 > パワーセーバー の順に選択

2 日時表示 または テキスト表示 を選択し、● を押す

ﾊﾟﾜｰｾｰﾊﾞｰﾀｲﾑｱｳﾄ を設定する場合は、「メイン画面表示」(P.135) を参照してください。

補足：テーマの内容を編集した場合、もとの設定に戻す場合は、**[オプション]** > **元のテーマに戻す** を選択します。

日時設定

> **ｵｰｶﾞﾅｲｻﾞ** > **時計** > **[オプション]** > **設定**

補足：クローズポジションで日時を表示する場合は、カバーキーを長く押します。

■ 時計表示設定

1 時計のタイプ を選択

2 ● を押して、アナログまたはデジタル を選択

時間表示形式 あるいは**時刻区切り文字** も設定することができます。

日付時刻設定

1 時刻 > 時刻を入力 > [OK] を押す

2 日付 > 日付けを入力 > [OK] を押す

- ダイヤルキー、またはスクロールキーを使用して入力することができます。
- 携帯電話ネットワークを使用して、本機の時刻、日付、タイムゾーンを更新するには (ネットワークサービス)、**ネットワーク時刻** を**自動更新** に設定します。
- **日付形式**、**日付区切り文字** を設定することもできます。

アラームを設定する

> **オーガナイザ** > **時計**

1 [オプション] > アラーム設定 を選択

2 アラームの時刻を入力 > [OK] を押す

待受画面に「 」が表示されます。

3 アラームが鳴ったときに停止する場合は、[停止] を押す

- **スヌーズ** を押した場合、アラームは一旦停止しますが、約 5 分後に再び鳴り始めます。
- アラーム音を変更する場合は、**[オプション]** > **設定** > **アラーム音** を選択します。

アラームを解除する

1 [オプション] > アラーム解除 > [はい] を押す

本機の電源が入っていないときにアラーム時刻になると、自動的に電源が入ってアラーム音が鳴り始めます。**[停止]** を選択すると、通話できる状態にするかどうかの確認が本機に表示されます。電源を切る場合は **[いいえ]** を選択します。電話をかけたり受けたりする場合は **[はい]** を選択します。携帯電話によって電波干渉や危険な事態を引き起こす可能性がある場合は、**[はい]** を選択しないでください。

世界時計

> オーガナイザ > 時計 > を押す

都市を追加する

1 [オプション] > 都市追加 を選択

- 都市名の最初の文字を入力します。(「都市を設定する」P.30)
- 最大 15 都市まで設定することができます。

現在地の設定をする

1 都市を選択し、[オプション] > 現在地の設定 > [はい] を押す

- 時刻とタイムゾーンが合っているかを確認してください。

夏時間のある都市に設定すると、**時計**の現在時刻表示画面の右横に、☼ が表示されます。

サブ画面設定

■ サブ画面の壁紙を設定する

1 > **ツール** > **設定** > **電話機** > **サブ画面** **の順に選択**

2 **壁紙** **を選択し、設定する静止画を選択**

- **ﾕｰｻﾞｰ定義** を選択するとギャラリーのフォルダが開き、フォルダにある静止画を選択することができます。ギャラリーの静止画を選択した場合は、画面を切り取って使用します。
- メインディスプレイの壁紙設定は、「壁紙を設定する」(P.88) を参照してください。
- **明るさ**、**パワーセーバー** の設定もおこなうことができます。

待受画面機能拡張

待受画面から頻繁に使用するアプリケーションを簡単に開くことができます。

画面上部にデフォルトとして設定されたアプリケーションのアイコンが表示され、その下にカレンダー、To-do など保存されている予定が表示されます。

■ 待受画面機能拡張を設定する

> **ツール** > **設定** > **電話機** > **待受画面のキー設定**

1 **待受画面機能拡張** **>** **[オプション]** **>** **変更** **>** **オン** **の順に選択**

- デフォルトではオンとなっています。オフにすると待受画面からショートカットアイコンや、予定の表示が消えます。

■ 起動するアプリケーションを変更する

1 **待受画面ｼｮｰﾄｶｯﾄ設定** **を選択**

2 **ショートカットを選択し、** **[オプション]** **>** **変更** **を選択**

ショートカットとして設定できるアプリケーションのリストが表示されます。

3 アプリケーションを選択し、[OK] を押す

■ 待受画面からアプリケーションを起動する

1 待受画面でアプリケーションを選択し、(●) を押す

待受画面機能拡張がオンの場合、待受画面で使用できる標準のナビゲーションキーショートカットが使用できなくなります。

■ 待受画面のキー設定

> **ツール** > **設定** > **電話機** > **待受画面のキー設定**

ソフトキー（左・右）、ナビゲーションキー（上・下・左・右）、決定キーに登録されているショートカットを変更することができます。(「待受画面のキー設定」P.134)

・ ナビゲーションキーと決定キーは待受画面機能拡張がオフの場合に表示されます。

■ ｳｪｲｸｱｯﾌﾟﾒｯｾｰｼﾞ / ﾛｺﾞを設定する

> **ツール** > **設定** > **電話機** > **一般** > **ｳｪｲｸｱｯﾌﾟﾒｯｾｰｼﾞ / ﾛｺﾞ**

ｳｪｲｸｱｯﾌﾟﾒｯｾｰｼﾞ / ﾛｺﾞを変更することができます。(「電話機設定」P.134)

■ メインメニュー表示を変更する

>**[オプション]** > **表示変更** > **アイコン** または **リスト**

メインメニュー表示をリスト表示またはアイコン表示に変更することができます。

> **[オプション]** > **移動**、**フォルダへ移動** または **新規フォルダ**

アプリケーションを移動して位置を変更したり、新しいフォルダを作成することができます。

英語表示に切り替える

> **ツール** > **設定** > **電話機** > **一般** > **電話機言語**> **English** を選択

本機が自動的に再起動し、選択した言語表示となります。

音の設定

・ あらかじめ **通常モード**、**マナーモード**、**会議モード**、**屋外モード**、**ﾎﾟｹｯﾄﾍﾞﾙﾓｰﾄﾞ**、**オフラインモード** のモードが登録されています。これらのモードの動作をお好みで変更することもできます。

・ 現在選択されているモードは、待受画面の上部で確認できます。**通常モード** が使用されている場合は、現在の日付だけが表示されます。

着信音量の設定

> **ツール** > **モード** > **モード選択** > **[オプション]** > **カスタマイズ**

1 着信音量 を選択

2 または を押し、音量レベルを選択

- 音量レベルは、 1 〜 10 段階から選択できます。
- 変更した音量レベルを選択したまま数秒間待つと、自動的に着信音が再生され、設定した音量を確認することができます。

着信パターンの設定

> **ツール** > **モード** > **設定するモードを選択** > **[オプション]** > **カスタマイズ**

■ 着信音を設定する

1 着信音 を選択

着信音のリストが表示されます。

2 または を押し、着信音を選択

- メモリカードに保存されている着信音には、「 」が表示されます。
- 着信音リストから着信音を試聴することができます。試聴する着信音を選択し、数秒待つと着信音が再生されます。再生音を停止する場合は、いずれかのキーを押します。
- **着信音ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ** - ウェブへ接続し、着信音をダウンロードします。

- テレビ電話音、メッセージ受信音、E-mail 受信音 についても同様に設定することができます。

■ 着信音の再生方法を設定する

1 着信音の再生方法 **を選択**

2 通常着信音、次第に大きく、再生一回、ビープ音一回、着信音なし **から選択**

■ バイブレータを設定する

1 バイブレータ **を選択**

2 オン **を選択**

- バイブレータが有効となります。
- 発信者名を発音、警告音 についても同様に設定することができます。

各種効果音の設定

 > ツール > モード > **モード選択** >
[オプション] > カスタマイズ

■ キー確認音を設定する

1 キー確認音 **を選択**

2 **または を押し、キー確認音量レベルを選択**

- 音量レベルは、オフ～レベル３から選択できます。
- キー確認音リストから各レベルを選択すると、その音量が再生され、実際のキー確認音量を確認することができます。

使用するモードを変更する

1 **を短く押す**

モードリストが表示されます。

2 **または を押しモードを選択し、**[OK] **を押す**

- > ツール > モード > **モード選択** > 開始 を押して、変更することもできます。

  補足：クローズポジションで、 を連続して押し、サブ画面に表示されるモードを選択することができます。モードを選択し、カバーキーを押します。

■ 新しいモードを作成する

1 **>** ツール **>** モード **>**[オプション] **>** 新規モード作成 **の順に選択**

補足： **発信者名を発音** > **オン** を選択すると、電話帳に登録してある人から電話がかかってきたときに、その人の名前を着信音と同時に発声することができます。あらかじめ **電話帳** に通話相手の登録をしておく必要があります。（「声で電話をかける」 P.44)

メディア プレイヤー

本機には、ミュージックプレーヤー、RealPlayer、Flash プレーヤーの３種類のメディアプレイヤーが搭載されています。

ミュージックプレイヤー

ミュージックプレーヤーを利用して、音楽ファイルを再生したり、プレイリストを作成し、登録した音楽ファイルを再生したりすることができます。

はじめてミュージックプレーヤーを開くと、プレーヤーは音楽ファイルのミュージックライブラリを作成するために、デバイスメモリの空きスペースを確認します。

警告：音楽は適度な音量で聴くようにしてください。大きな音量で音楽を聴き続けると、聴力に支障をきたす場合があります。スピーカーの使用中は音量が非常に大きくなることがあるので、デバイスを耳に近付けないでください。

音楽ファイルを再生する

ミュージックプレーヤー を起動すると、以前に再生した音楽ファイル、またはプレイリストが画面に表示されます。

1 > ミュージック **を選択**

ミュージックプレーヤー が開きます。

2 ナビゲーションキーを利用して、 を選択

キー操作

 または キーを利用してボタンを選択し、 を押して確定します。

機能	操作
前後のファイルを再生	または を選択
早送り	を選択し、 を長く押す
巻き戻し	を選択し、 を長く押す
停止	を選択
一時停止	を選択
音量を調整	または を押す

■ 再生中にできること

音楽ファイルを再生中、あるいはミュージックプレイヤーの表示画面から、再生モードを設定したり、再生中の音楽を着信音に設定したりすることができます。

再生しながら待受画面に戻る

音楽ファイルを再生中の場合に、オプションを押すと表示されます。

1 音楽ファイルを再生 > [オプション] > ﾊﾞｯｸｸﾞﾗｳﾝﾄﾞで再生 を選択

待受画面に戻ります

- 再生中に を押しても待受画面に戻ります。

補足：待受画面からﾐｭｰｼﾞｯｸﾌﾟﾚｲﾔｰに戻るには、 > ﾐｭｰｼﾞｯｸ を選択してください。

再生モードの選択

ランダム再生と繰り返し再生を選択することができます。

ランダム再生

1 [オプション] > ランダム再生 > オン を選択

繰り返し再生

1 [オプション] > 繰り返し を選択

次の種類を選択することができます。

- **全曲** - プレイリストにある音楽ファイルを繰り返し再生します。
- **1 曲** - 選択した 1 曲を繰り返し再生します。
- **オフ**

アイコン

・「 」- 全曲繰り返し
・「 」- 1 曲繰り返し
・「 」- ランダム再生
・「 」- ミュート（ラウドスピーカ）

トラックリストに追加する

ミュージックプレイヤー画面に表示されている音楽ファイルを以前に作成したトラックリストや、新規にトラックリストを作成して追加することができます。

1 [オプション] > トラックリストに追加 を選択

次の種類を選択することができます。

- **保存済みﾄﾗｯｸﾘｽﾄ** - 以前に作成したトラックリストが表示されるので、追加先を選択します。
- **新規トラックリスト** - 新規にトラックリストを作成し、そこに音楽ファイルを追加します。

2 [OK] を押す

着信音に設定する

1 [オプション] > 着信音に設定 を選択

メッセージが表示されます。

2 [はい] を押す

すべてのモードの着信音が変更されます。

着信音に設定できない音楽ファイルもあります。

ウェブから曲をダウンロードする

1 [オプション] > ﾄﾗｯｸﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ を選択

URL の入力画面が表示されます。

2 URL を入力、またはブックマークが登録されている場合は、ブックマークを選択

サイトが開きます。

3 ダウンロードの操作をおこなう

ダウンロードが開始されます。

ミュージックライブラリを利用する

> ﾐｭｰｼﾞｯｸ を選択

ミュージックプレーヤーの音楽ファイルは、ミュージックライブラリに保存されます。ミュージックライブラリからミュージックリストを作成し、リストに音楽ファイルを追加したり、削除したりすることができます。音楽ファイルでは利用可能であれば、ID3 または M4A タグから収集した詳細情報を表示し、編集することも可能です。

ミュージックライブラリを表示する

1 [オプション] > ﾐｭｰｼﾞｯｸﾗｲﾌﾞﾗﾘ を選択

ライブラリリストが表示されます。ライブラリリストは次のフォルダで構成されています。

- **すべてのトラック** - 本機に保存されているすべての音楽ファイルがリストされます。
- **アーティスト** - アーティストごとに表示します。
- **アルバム** - アルバムごとに表示します。
- **トラックリスト** - 作成したトラックリストごとに表示します。
- **ジャンル** - ジャンルごとに表示します。
- **作曲者** - 作曲者ごとに表示します。

ミュージックライブラリを更新する

ミュージックライブラリに音楽ファイルを追加したり、削除したりした場合は、ライブラリを更新します。

1 ライブラリリストで、[オプション] > ﾐｭｰｼﾞｯｸﾗｲﾌﾞﾗﾘ更新 を選択

メッセージが表示され、追加と削除したファイルの件数が表示されます。

ミュージックライブラリの詳細を表示する

1 ライブラリリストで、[オプション] > ﾐｭｰｼﾞｯｸﾗｲﾌﾞﾗﾘ詳細 を選択

ミュージックライブラリ詳細リストに**トラック数**、**電話機の空き容量**、**カードの空き容量** (メモリカードが挿入されている場合) が表示されます。

音楽ファイルを削除する

ミュージックライブラリに音楽ファイルを追加したり、削除したりした場合は、ライブラリを更新してください。(「ミュージックライブラリを更新する」P.97)

1 [オプション] > ミュージックライブラリ > すべてのトラック > 削除するファイルを選択

2 [オプション] > 削除 > ● を押す

削除を確認するメッセージが表示されます。

3 [はい] を押す

トラックリスト

自分の好きな曲をトラックリストに登録し、再生することができます。

> **ミュージック を選択**

トラックリストを作成する

1 [オプション] > ミュージックライブラリ > トラックリスト の順に選択

2 [オプション] > 新規トラックリスト の順に選択

3 リストの保存先を選択

メモリ選択画面が表示されます。

- メモリカードを挿入している場合は、トラックリストの保存先を、電話機メモリ、またはメモリカードに選択できます。

4 トラックリスト名を入力し、[OK] を押す

音楽ファイルが保存されている場合は、新規のトラックリストに追加するファイルを選択する画面が表示されます。

トラックリストを表示する

1 [オプション] > ミュージックライブラリ > トラックリスト を選択

トラックリストと次のフォルダが表示されます。

- **再生回数最多トラック**
- **最近再生したトラック**
- **追加履歴**

トラックリストに音楽ファイルを追加する

1 [オプション] > ミュージックライブラリ > トラックリスト を選択する

2 音楽ファイルを追加するトラックリストを選択 > [オプション] > トラック追加 を選択

音楽ファイルのリストが表示されます。

3 リストから追加するファイルを選択 > ● を押す

トラックリストにファイルが追加されます。

トラックリストから音楽ファイルを削除する

1 [オプション] > ミュージックライブラリ > トラックリスト を選択する

2 削除する音楽ファイルを選択 > [オプション] > トラックリストから削除 を選択

削除を確認するメッセージが表示されます。

3 [はい] を押す

トラックリストからファイルが削除されます。

トラックリストを削除する

この操作で削除されるのはトラックリストのみで、トラックリスト内の音楽ファイルは本機からは削除されません。

1 削除するトラックリストを選択 > [オプション] > 削除 を選択

削除を確認するメッセージが表示されます。

• 削除するトラックリストを選択して、C を押しても削除できます。

2 [はい] を押す

■ その他の設定

ミュージックライブラリにあるすべてのトラックフォルダから、音楽ファイルを削除したり、整理したり、着信音に設定したりすることができます。

1 > ミュージック >[オプション] > ミュージックライブラリ > すべてのトラック の順に選択

音楽ファイルのリストが表示されます。

2 [オプション] を押す

次の機能を利用することができます。

• **再生**
• **送信** - MMS, E-mail, Bluetooth, 赤外線通信を利用してファイルを送信します。
• **検索**
• **トラックリストに追加** - (「トラックリストに追加する」P.96)
• **削除**
• **マーク / マーク解除**
• **整理**
• **着信音に設定** - (「着信音に設定する」P.96)
• **詳細表示** - 音楽ファイルの詳細情報を確認します。

RealPlayer™

RealPlayer では、ビデオクリップ、サウンドクリップ、プレイリスト、送信されてくるストリームメディアファイルなどを再生することができます。電話機メモリや互換性のあるメモリカード（電話機に挿入されている場合）に保存してあるストリーミングリンクや、ウェブ上のストリーミングコンテンツを再生することも可能です。

RealPlayer は .3gp、.mp4、.rm といった拡張子のファイルに対応しています。ただし、すべてのファイル形式や、ファイル形式の全変種に対応しているわけではありません。例えば、RealPlayer は .mp4 ファイルをすべて開こうとしますが、一部の .mp4 ファイルには 3GPP 規格に準拠しないコンテ

ンツが含まれている場合があります。本機はそのような場合に対応していません。

■ ビデオファイルや音楽ファイルを再生する

電話機メモリ、あるいは互換性のあるメモリカード(電話機に挿入されている場合)に保存されているメディアファイルを RealPlayer で再生することができます。

ギャラリーからメディアファイルを再生する手順については、「ギャラリー」(P.75) を参照してください。

1 > ｲﾒｰｼﾞﾝｸﾞ > **RealPlayer** **を選択**

2 **[オプション] > 開く > 保存ファイルから の順に選択**

最近使ったファイル を選択すると、最近再生したファイルのリストから再生できます。最近再生した6件のファイルリストが画面に表示されます。

3 **電話機メモリ または メモリカード を選択 > [OK] を押す**

フォルダが表示されます。

4 **フォルダを開き、再生するメディアファイルを選択 > を押す**

メディアファイル再生時の操作

機能	操作
早送り	を長く押す
巻き戻し	を長く押す
消音	が画面に表示されるまで を長く押す
音声復帰	が画面に表示されるまで を長く押す

補足：ビデオクリップを全画面表示するには、2 を押します。もう一度押すと、元のサイズ（標準画面モード）に戻ります。

■ ストリーミング再生

多くのサービスプロバイダでは、インターネットアクセスポイントをデフォルトアクセスポイントとして提供していますが、WAP （ワイヤレスアクセスポイント）を使用するサービスプロバイダもあります。

ボーダフォン以外のアクセスポイントを設定する場合は、別途ご契約されているサービスプロバイダに、詳細をお問い合わせください。

注意：RealPlayer は rtsp:// という URL を選択すると起動します。サイト上では、.ram ファイルへの http リンクを認識します。ストリーミングご利用中では一時停止した場合でも通信は継続されますのでパケット通信料が発生しています。

ストリーミング再生をおこなうには、ギャラリー、ウェブサイト、受信した SMS あるいは MMS に保存されているストリーミングリンクからアクセスしてください。ライブコンテンツのストリーミングを再生する前に、本機はサイトに接続してコンテンツの読み込みを開始します。コンテンツは本機には保存されません。

RealPlayer の設定

RealPlayer のオプション設定では、コントラストを調整したり、再生の繰り返しを設定するビデオ設定や、プロキシやネットワークの接続設定を選択することができます。

RealPlayer > [オプション] > 設定

ビデオ設定

1 **RealPlayer > [オプション] > 設定 > ビデオ の順に選択**

次のオプションを選択することができます。

- **繰り返し - オン** を選択すると再生終了後、自動的にビデオの再生を繰り返します。

接続設定

プロキシ設定とネットワーク設定が可能です。詳細については、サービスプロバイダにお問い合わせください。

1 **接続 を選択**

プロキシ 設定

- **プロキシ使用** - プロキシサーバを利用するには **はい** を選択します。**はい** を選択すると、**ﾌﾟﾛｷｼｻｰﾊﾞｱﾄﾞﾚｽ** と**プロキシポート番号** の入力が可能になります

用語：プロキシサーバは、メディアサーバとユーザ間に位置する中間サーバです。サービスプロバイダーによっては、映像ファイル、および音楽ファイルを含むブラウザページの表示時間を早くしたり、あるいは、セキュリティを強化するために利用する場合もあります。

ネットワーク 設定

- **ﾃﾞﾌｫﾙﾄｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ** - ウェブ接続用のアクセスポイントをリストから選択します。
- **オンライン時間 - ユーザ定義** を選択すると、ネットワークリンクを利用して再生したメディアクリップを一時停止した場合に、**RealPlayer** がネットワークからタイムアウ

トする時間を設定できます。時間を入力して **[OK]** を選択します。

- **最小 UDP ポート** - サーバのポート範囲から下限ポート番号を入力します。最小値は 1024 です。
- **最大 UDP ポート** - サーバのポート範囲から、上限ポート番号を入力します。最大値は 65535 です。

補足：ネットワークのバンド幅を設定するには、**[オプション]** > **詳細設定** を選択してください。

画像印刷

画像印刷 を利用して、ギャラリー、カメラ、イメージエディタなどのメニューにある印刷オプションから、画像を印刷することができます。

画像印刷 では、データケーブル、Bluetooth 接続、あるいは互換性のあるメモリカード（プリンタ側で利用可能な場合）を利用して、プリンタと本機を接続し、画像を印刷することができます。

印刷できるのは、.jpg 形式のファイルに限られます。カメラで撮影した画像は、自動的に .jpg ファイル形式で保存されます。

注意：PictBridge 対応プリンタで印刷する場合は、本機とプリンタを USB ケーブルで接続してから、本機からの印刷オプションを選択してください。

プリンタを選択する

画像印刷 にはじめて接続すると、印刷する画像を選択した後に、利用可能なプリンタのリストが表示されます。ここで選択したプリンタが、デフォルトプリンタとして設定されます。

本機と PictBridge 対応プリンタを CA-53 データケーブルで接続した場合、そのプリンタが自動的に選択され画面に表示されます。

デフォルトプリンタが使用できない場合には、他の利用可能な印刷機器が表示されます。

印刷プレビュー

ギャラリーから画像を印刷する場合、印刷プレビューを表示することができます。

印刷するために選択した画像は、定型のレイアウトで画面に表示されます。印刷レイアウトを変更するには、左右のナビゲーションキーを利用して、選択したプリンタで利用できるレイアウトをスクロールします。1 ページに収まらない画像を選択した場合は、

または を押してスクロールすると、他のページも表示されます。

■ プリンタの設定

印刷に利用できるオプションは、選択したプリンタの機能により異なります。

デフォルトプリンタを設定する

デフォルトはメモリカードに設定されています。

1 > ｲﾒｰｼﾞﾝｸﾞ > 画像印刷

2 印刷する画像を選択 >[オプション] > 印刷 の順に選択

3 [オプション] > 設定 > デフォルトプリンタ の順に選択

次のオプションが選択できます。

- **Bluetooth プリンタ**
- **メモリカード**
- **PictBridge プリンタ**

4 設定するプリンタを選択 > [OK] を押す

用紙のサイズを選択する

1 > ｲﾒｰｼﾞﾝｸﾞ > 画像印刷

2 印刷するファイルを選択 > 印刷 を選択

3 [オプション] > 設定 > 用紙サイズ を選択

4 用紙サイズを選択 > [OK] を押す

ムービーディレクタ

ムービーディレクタを利用して、muvee を作成することができます。muvee は、編集済みの短編ビデオクリップであり、ビデオ、画像、音楽、およびテキストを自由に挿入することができます。

■ ムービーディレクタの構成

ムービーディレクタは、メイン画面「 」とリスト画面「 」で構成されています。

表示を切り替える

1 > ｲﾒｰｼﾞﾝｸﾞ > ﾃﾞｨﾚｸﾀ を選択

2 または を押して、 と の表示を切り替える

- 画面で [OK] を押すと、 表示に戻ります。

次の２種類の muvee があります。

- **ｸｲｯｸ muvee** - あらかじめ登録されているスタイルを利用して、muvee を自動的に作成します。
- **ｶｽﾀﾑ muvee** - 独自のビデオクリップ、音楽クリップ、画像、スタイルを選択して、muvee を作成します。muvee のオープニングとエンディングにテキストメッセージを挿入したり、MMS を利用して muvee を送信したりすることもできます。

画面には、作成した muvee ファイルのリストが表示されます。選択した muvee ファイルを **再生**、**送信**、**名前変更**、**削除** することができます。

クイック muvee を作成する

1 > **ｲﾒｰｼﾞﾝｸﾞ** > **ﾃﾞｨﾚｸﾀ** > **ｸｲｯｸ muvee** **を選択**

スタイルリストが表示されます。

2 スタイルを選択

クイック muvee が作成されます。

- 作成した muvee はムービーリストに追加され、保存後自動的に再生します。

カスタム muvee を作成する

1 > **ｲﾒｰｼﾞﾝｸﾞ** > **ﾃﾞｨﾚｸﾀ** > **ｶｽﾀﾑ muvee** **を選択**

2 muvee に挿入するファイルを選択

挿入するファイルを各フォルダから選択します。

- **ビデオ**、**画像**、**ミュージック** ファイルを挿入することができます。挿入するファイルを選択するとチェックマークが付きます。
- **メッセージ** では、muvee のオープニングとエンディングに挿入するテキストを作成することができます。
- ビデオクリップを編集するには、詳細オプション画面で、**[オプション]** > **コンテンツ選択** を選択します。(「コンテンツを編集する」 P.105)
- ビデオクリップまたは画像を選択した後、ファイルを再生する順番を設定してください。**[オプション]** > **詳細オプション** を選択します。
- 詳細オプション画面でファイルの順番を変更するには、 を押して移動するファイルにチェックマークを付け、 または を利用して移動先にスクロールし、 を押して確定します。

3 muvee 作成 を選択

長さ選択の画面が表示されます。

MMS - MMS 送信用に muvee の長さを最適化します。

自動選択 - 選択したすべての画像、およびビデオクリップを muvee へ挿入します。

ミュージックと同じ - muvee の長さを、選択した音楽ファイルと同じ長さに設定します。

ユーザ定義 - muvee の長さを自分で設定します。**muvee 長** を入力してください。

4 長さを選択し、[OK] を押す

メッセージが表示され、**[はい]** を選択すると、muvee 作成画面に戻ります。**[いいえ]** を押すとプレビュー画面が開き、作成した muvee が再生されます。

- 保存するには、**[オプション]** > **保存** を選択します。プレビュー画面で **[戻る]** を押しても、メッセージに従い保存することができます。
- muvee の編集を再度おこなう場合は、**[オプション]** > **再作成** を選択します。

- もう一度再生するには、**[オプション]** > **再生** を選択します。

コンテンツを編集する

muvee へ挿入するビデオクリップの一部を削除したり、編集することができます。

1 > **ｲﾒｰｼﾞﾝｸﾞ** > **ﾃﾞｨﾚｸﾀ** > **ｶｽﾀﾑ muvee** > **ビデオ** **を選択**

2 **編集するビデオを選択し、[OK] を押す**

3 **[オプション]** > **[詳細オプション]** **を選択**

4 **[オプション]** > **コンテンツ選択** > **[オプション]** **を選択**

次のオプションを選択することができます。

- **再生**
- **初めから再生**
- **含める**
- **除く**
- **場面を除く**
- **ニュートラルに設定**
- **すべてﾆｭｰﾄﾗﾙに設定**
- **ヘルプ**
- **終了**

編集した部分は、スライダーに色別で表示されます：挿入部分（緑）、削除部分（赤）、ニュートラル（グレー）

ムービーディレクタの設定

ムービーディレクタの **設定** メニューから、次のオプションを設定することができます。

1 > **ｲﾒｰｼﾞﾝｸﾞ** > **ﾃﾞｨﾚｸﾀ** > **設定** **を選択**

使用するメモリ - muvee の保存先を、電話機メモリまたはメモリカード（挿入されている場合）に設定します。

解像度 - muvee の解像度を設定します。

デフォルトの muvee 名 - muvee のデフォルト名を設定します。

Flash プレーヤー

携帯電話用に作成された Flash ファイルを再生することができます。

Vodafone live! では、Flash プレーヤー対応のコンテンツは提供しておりません。

Flash プレーヤーを利用する

Flash プレーヤーを開く

Flash プレーヤーを開くと、対応するファイルリストが画面に表示されます。ファイルマネージャーの

「その他」フォルダに対応されているファイルが保存されている場合のみ、画面に表示されます。

1 [icon] > ｲﾒｰｼﾞﾝｸﾞ > Flash

バージョン情報を表示する

1 **Flash プレーヤー 表示画面 > [オプション] > バージョン情報 を選択**

Flash プレーヤーの表示を切り替える

1 **Flash プレーヤー 表示画面 > [icon] または [icon] を利用して、電話機メモリ またはメモリカード を選択する**

■ Flash ファイルの管理

Flash ファイルを再生する

1 **Flash プレーヤー 表示画面 > 再生するファイルを選択 > [オプション] > 開く を選択**

Flash ファイルを送信する

1 **Flash プレーヤー 表示画面 > 送信するファイルを選択 > [オプション] > 送信 を選択**

2 **送信タイプを選択**

これより先の手順については、「MMS を作成する」(P.163)、「Bluetooth 接続」(P.119)、「赤外線通信」(P.118) を参照してください。

Flash ファイルをフォルダへ移動 / コピーする

1 **Flash プレーヤー 表示画面 > 送信するファイルを選択 > [オプション] > 整理 > フォルダへコピー** または **フォルダへ移動 を選択**

コピー先が表示されます。

2 **移動またはコピー先を選択 > [OK] を押す**

新規フォルダを作成する

1 **Flash プレーヤー 表示画面 > [オプション] > 整理 > 新規フォルダ を選択**

フォルダ名の入力画面が表示されます。

2 **フォルダ名を入力し、[OK] を押す**

フォルダが作成されます。

Flash ファイル / フォルダを削除する

1 **Flash プレーヤー 表示画面 > 削除するファイルまたはフォルダを選択 > [オプション] > 削除 を選択**

確認のメッセージが表示されます。

2 **[はい] を押す**

Flash ファイルの名前を変更する

1 **Flash プレーヤー 表示画面 > 名前を変更するファイルを選択 > [オプション] > 名前変更 を選択**

名前変更の入力画面が表示されます。

2 変更名を入力し、[OK] を押す

詳細情報を表示する

ファイル名とファイル形式が表示されます。

1 Flash プレーヤー 表示画面 > 詳細を表示するファイルを選択 > [オプション] > 詳細表示 を選択

Flash プレーヤーの操作

再生中にできる操作

1 ファイル再生中に、左ソフトキーを押して、[オプション] を選択

次の操作をおこなうことができます。

- **一時停止** - 解除するには、**[オプション] > 再開** を選択します。
- **停止**
- **音量** - または キーで音量を調節します。
- **ミュート** - 解除するには、**[オプション]** > **ミュート解除** を選択します。
- **リプレイ** - ファイルの最初から再生します。
- **画質** - **低**、**標準**、**高** 画質を選択します。
- **全画面** - 全画面表示にします。標準画面に戻るには、**標準画面**を選択します。 を押すと、オプションメニューが表示されます。
- **ズームイン** または **ズームアウト**
- **バージョン情報**

補足 : 停止画面の **[オプション]** からは、**一時停止、停止、リプレイ** 以外の操作をすることができます。また、停止画面に表示されているファイルを、**送信** することができます。

注意 : Flash ファイルはウェブ (Vodafone live!) からダウンロードいただけません。

メモリカード

メモリカードをご利用になる前に

本機では、互換性のあるメモリカードを追加保存領域として利用することができます。本機で撮影した写真や、電話帳のデータなど、様々なファイルを保存することができます。メモリカードは読み取り、書き込みが可能なので、古い情報は削除して、新しい情報を保存することができます。

必ず本機と互換性のある miniSD カードをお使いください。その他のメモリカード（Reduced Size MultiMediaCards など）は本機と互換性を持たず、miniSD 用のカードスロットに挿入することはできません。互換性のないメモリカードを使用すると、メモリカードや電話機本体、および互換性のないメモリカードに保存されているデータを破損する可能性があります。

メモリカードは、小さなお子様の手の届かない場所へ保管してください。

ノキアの製品は認定された業界標準に適合していますが、メモリカードの品質はメーカによっても相違がありますので、メモリカードのブランドによっては、完全な互換性がなかったり、正しく動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

本書では miniSD カードを「メモリカード」と記載しています。

注意 : メモリカードへのアクセスが実行されているとき、メモリカードを取り外さないでください。これらの操作中にカードを取り外すと、本機だけでなく、メモリカードにも損傷が生じ、メモリカードに保存されているデータが破損する可能性があります。

メモリカードを取り付ける / 取り外す

メモリカードの取り付け、および取り外しに関しては、「メモリカードのお取り扱い」(P.23) を参照してください。

メモリカードの利用

> **ツール** > **メモリ** を選択

メモリカードをフォーマット (初期化）する

・ メモリカードをフォーマット（初期化）すると、メモリカードに保存されているデータは完全に削除され、復元することができなくなります。本機

に同梱されているメモリカードはフォーマット（初期化）不要です。
・ 市販のメモリカードには、事前にフォーマット済みのもの、および使用の前にフォーマットが必要なものがあります。フォーマットの必要性については、メモリカードを使用する前にメモリカードの販売店やメーカーにご確認ください。
・ 他の機器でフォーマット（初期化）したメモリカードは、本機では正常に使用できない場合があります。

1 [オプション] > ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞのﾌｫｰﾏｯﾄ を選択

確認メッセージが表示されます。

2 [はい] を押す

■ メモリカード名を入力する

1 [オプション] > メモリカード名 の順に選択

メモリカード名の入力画面が表示されます。

2 メモリカード名を入力し、[OK] を押す

■ メモリカードの使用状況を確認する

メモリカードの使用メモリ容量、空きメモリ容量、メモリカードに保存されているデータの種類や、データの種類ごとに使用しているメモリ容量など、詳細を確認することができきます。

1 [オプション] > メモリ詳細 を選択

メモリカード詳細のリストが表示されます。
• 電話機メモリの使用状況を確認するには、「電話機メモリの使用状況を確認する」(P.111) を参照してください。

■ メモリカードにパスワードを設定する

1 [オプション] > パスワード設定 を選択

パスワードの入力画面が表示されます。

2 パスワードを 新規パスワード および 新規パスワード確認 に入力し、[OK] を押す

• パスワードの変更 / 削除は、[オプション] > パスワード変更 または パスワード削除 を選択します。

■ メモリ不足を解消する

・ 本機は、電話機メモリ、あるいはメモリカードの残量が少なくなると、画面にメッセージを表示します。
・ 本機は共有メモリを使用しています。
・ 本機メモリを解放するには、互換性のあるメモリカードにデータを移動してください。(「データのバックアップ」P.110)
・ 互換性のある PC へメディアファイルを移動することが可能です。ｷﾞｬﾗﾘｰ の 移動およびコピーから実行してください。(「ファイルをコピー / 移動する」P.86)

補足：Nokia PC Suite に搭載されている Nokia Phone Browser を利用すると、本機内の各種メモリを表示することができます。また、データの転送も可能です。

- データを削除して空きメモリを確保するには、ﾌｧｲﾙﾏﾈｰｼﾞｬ (P. 112) を利用するか、該当するアプリケーションからデータの削除を実行してください。例えば、次のデータを削除することができます。
  - **メール** の **受信メール**、**下書き**、および **送信済みメール** フォルダ内のメール
  - 電話機メモリから取得したメール
  - 保存したインターネットページ
  - 保存した画像、映像、および音楽ファイル
  - 電話帳の情報
  - カレンダエントリ
  - ダウンロードしたアプリケーション（「アプリケーションマネージャ」P.113)
  - メモリカードにインストール済みのインストールファイル (.sis) : Nokia PC Suite を利用して、互換性のある PC へインストールファイル (.sis) のバックアップを実行してから削除してください。
  - 不要になったその他データ

データのバックアップ

電話機メモリに保存されている電話帳などのデータをメモリカードにバックアップし、後で電話機メモリに復元することが可能です。ただし、アプリケーションをバックアップすることはできません。

> ツール > メモリ を選択

■ 電話機メモリからメモリカードにバックアップする

1 [オプション] > 電話機ﾒﾓﾘﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ を選択

確認のメッセージが表示されます。

- 以前にﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟを作成した場合は、そこに上書きされます。

2 [はい] を押す

■ メモリカードからﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾀを復元する

1 [オプション] > カードから復元 を選択

確認のメッセージが表示されます。

2 [はい] を押す

復元が終了すると、本機を再起動するようメッセージが表示されます。

3 [OK] を押す

本機が再起動します。

指定したデータをバックアップする

指定したデータを転送するには、「ファイルをコピー / 移動する」(P.86) を参照してください。

電話機メモリの使用状況を確認する

電話機メモリの使用メモリ容量、空きメモリ容量、電話機メモリに保存されているデータの種類やデータの種類ごとに使用している容量など、詳細を確認することができます。

1 > **[オプション]** > **メモリ詳細** > **電話機メモリ** **の順に選択**

データ管理

ファイルマネージャ

ファイルマネージャを利用して、電話機メモリや、メモリカード（本機に挿入されている場合）に保存されているファイルをフォルダで管理したり、メモリの空き容量を確認し、電話機メモリやメモリカード間でファイルをコピーしたり、移動したりすることができます。

ファイルマネージャの構成

ファイルマネージャは、電話機メモリ表示と、メモリカード表示で構成されています。

アイコン

「 」- 電話機メモリ

「 」- メモリカード

ファイルマネージャの表示を変更する

1 > ツール > ファイル の順に選択

2 または を押して、画面上部に表示されるタブを変更し、電話機メモリ表示、またはメモリカード表示を選択

保存されているファイルの確認

ファイルマネージャから、電話機メモリやメモリカード (本機に挿入されている場合) に保存されているフォルダや、ファイルの情報を確認することができます。

> ツール > ファイル の順に選択

ファイルを開く

1 確認するフォルダ > を押す

フォルダが開きます。

2 確認するファイル > を押す

あるいは、[オプション] > 開く を選択

ファイルの詳細情報を確認する

ファイルマネージャの詳細情報表示を選択すると、ファイルの名前、タイプ、日付、時刻、サイズを確認することができます。

1 確認するフォルダ > を押す

フォルダが開きます。

2 情報を確認するファイル > [オプション] > 詳細情報表示 の順に選択

ファイルの詳細が表示されます。

■ ファイルを受信する

赤外線通信を利用して、ファイルをフォルダに直接受信することができます。

1 ファイルを受信するフォルダを選択 > [オプション] > 赤外線で受信 を選択

- 「赤外線通信をご利用になる前に」(P.118) を参照してください。

保存されているファイルの利用

■ 静止画 / ビデオ / サウンドファイルを利用する

ファイルマネージャのオプションメニューから、画像ファイルを開き、そのファイルを送信したり、壁紙に設定したりすることができます。また、サウンドファイルを着信音に設定することなどができます。各ファイルの操作については、「ギャラリー」(P.75) を参照してください。

フォルダ / ファイルの編集

ファイルマネージャから、電話機メモリやメモリカードに新しいフォルダを作成することができます。フォルダやファイルを電話機メモリやメモリカードの別のフォルダに移動したり、コピーしたりすることも可能です。「ギャラリーファイルの編集」(P.85) を参照してください。

アプリケーションマネージャ

アプリケーションマネージャを利用して、本機に次の2種類のソフトウェアやアプリケーションをインストールすることができます。本機ではソフトウェアのインストールに制限があります。

- Java ベースで作成されている J2ME アプリケーション :「 」(拡張子 ; .jad または .jar)
  PersonalJava アプリケーションは本機にはインストールすることができません。
- Symbian オペレーティングシステムに対応しているソフトウェア :「 」(拡張子 ; .sis)
  本機用に作られているソフトウェアのみインストールしてください。通常、本機に対応するソフトウェア製品には、「Vodafone 804NK 用」または「Nokia N71-1 用 」と記載があります。

インストールファイルは、互換性のある PC から本機へ転送したり、インターネットからダウンロードしたり、マルチメディアメッセージ、E-mail の添付ファイルとして受信することができます。Bluetooth や赤外線通信を使用して受信することもできます。本機にアプリケーションをインストールするには、Nokia PC Suite に搭載されている Nokia Application Installer が使用できます。ファイルの転送に、Microsoft Windows Explorer を利用する場合には、カードリーダなどを使用して互換性のあるメモリカードへファイルを保存してください。

アイコン

「」(赤) - .sis アプリケーション

「」(青) - Java アプリケーション

「」- 完全にインストールされなかったアプリケーション

「」- メモリカードにインストールされているアプリケーション

アプリケーションをインストールする前に、次の情報を確認してください。

ソフトウェアの種類、バージョン番号、製造元を確認する

1 > **ツール** > **アプリ** **の順に選択**

2 **インストールファイルを選択 >[オプション] > 詳細情報表示 の順に選択**

詳細リストが表示されます。

- 既存のソフトウェアに対する修正ファイルや、更新ファイルをインストールする場合、そのソフトウェアのオリジナルインストールファイルや、バックアップファイルがある場合に限り、インストールが可能です。オリジナルのアプリケーションを復元する場合には、アプリケーションを削除し、オリジナルのインストールファイル、あるいは、バックアップコピーをインストールする必要があります。
- Java アプリケーションをインストールするには .jar ファイルが必要です。.jar ファイルが本機にない場合、ダウンロードを要求されます。アプリケーションに定義されているアクセスポイントがない場合は、新たに選択する必要があります。.jar ファイルのダウンロードでは、サーバアクセス用のユーザ名とパスワードを聞かれる場合があります。その場合は、アプリケーションの製造元やサプライヤーから取得してください。

重要：有害なソフトウェア対策が講じられている、安全な提供元からのアプリケーションだけをインストールしてください。

アプリケーションをインストールする

デジタル署名や証明書のないアプリケーションをインストールする場合は、警告が表示されます。ソフトウェアの内容や供給元の情報が確かな場合に限り、インストールを開始してください。

1 > **ツール** > **アプリ** **の順に選択**

- インストールが済んでいないアプリケーションは、ファイル名の下に「未インストール」と表示される場合があります。

2 **インストールするファイルを選択 > [オプション] > インストール の順に選択**

確認メッセージが表示されます。
ソフトウェアによっては、証明書の詳細が表示されます。

3 **[OK] または [はい] を押す**

インストール中には、インストールの進捗情報が表示されます。

その他のインストール方法

- ファイルマネージャから、電話機メモリ、あるいはメモリカード（挿入されている場合）にあるインストールファイルを選択し、を押してインストールを開始する。
- **メール** > **受信メール** にあるインストールファイルが添付されているメッセージを開き、インストールを開始する。

インストールした後に

インストールしたアプリケーションを開く

1 > **エンタテイメント** **を選択**

2 **アプリケーションを選択 > を押す**

アプリケーションが起動します。

インターネットから詳細情報を確認する

インターネットに接続して、インストールしたアプリケーションの情報を取得します。

1 > **ツール** > **アプリ** **を選択**

2 **情報を表示するアプリケーションを選択 > [オプション] > URL 入力 を選択**

URL の入力画面が表示されます。

3 **URL を入力し、を押す**

インストールログを表示する

1 > **ツール** > **アプリ** **の順に選択**

2 **[オプション] > ログ表示 を選択**

インストールログを送信する

インストールログをヘルプデスクに送信して、本機へインストールしたアプリケーション、および削除したアプリケーションのステータスを SMS を利用して知らせることができます。E-mail の設定が正しく行われている場合には、E-mail も利用することができます。

1 > **ツール** > **アプリ** **の順に選択**

2 **[オプション]** > **ログ送信** **を選択**

送信リストが表示されます。

3 **SMS** **または** **E-mail** **を選択し、** **を押す**

メール画面が表示されます。
「SMS を作成する」(P.162)、「E-mail を作成する」(P.164)

アプリケーションを削除する

1 > **ツール** > **アプリ** **の順に選択**

2 **削除するアプリケーションを選択 >** **[オプション]** > **削除** **を選択**

メッセージが表示されます。

3 **[はい]** **を押す**

削除したアプリケーションを再インストールするには、オリジナルのバックアップがある場合に限り可能です。ソフトウェアパッケージを削除すると、そのソフトウェアで作成した文書を開くことができなくなります。

注意：本機の他のソフトウェアが、削除したソフトウェアに依存していた場合、そのソフトウェアが動作しなくなる可能性があります。詳細については、インストールしたソフトウェアパッケージのマニュアルを参照してください。

電話機メモリに保存されたインストールファイル (.sis) は、互換性のあるメモリカードにアプリケーションをインストールした後も、電話機メモリに残っています。保存されているインストールファイルに使用されるメモリ容量は多く、新規アプリケーション、ファイル、メールデータを保存するための十分なメモリ容量の確保を妨げる場合があります。Nokia PC Suite を利用して、互換性のある PC にインストールファイルを保存し、その後ファイルマネージャを利用して電話機メモリからインストールファイルを削除することをおすすめします。

■ アプリケーションの設定

1 > **ツール** > **アプリ** **を選択**

2 **設定するアプリケーションを選択 >** **[オプション]** > **設定** **を選択**

次のオプションを設定することができます。

- **ｿﾌﾄｳｪｱのｲﾝｽﾄｰﾙ** - **すべて** または **署名済のみ** を選択します。
- **ｵﾝﾗｲﾝ証明書確認** - ソフトウェアをインストールする前に、オンライン証明書を確認するかどうか選択します。
  - **必ず正当性を確認** - オンライン証明書に正当性がある場合にのみ、ソフトウェアをインストールします。
  - **オン** - オンライン証明書を確認する場合に選択

します。
- **オフ** - オンライン証明書を確認しません。

- **デフォルト URL**- オンライン証明書を確認するために使用する、デフォルト Web アドレスを設定します。アドレスを入力して **[OK]** を押します。

Java のセキュリティ設定

インストールした Java アプリケーションのセキュリティ設定を変更することができます。アプリケーション起動時に、ネットワークへのアクセス制限、ユーザデータ編集の許可・不許可などの設定がおこなえます。アプリケーションによって表示されるオプションは異なります。

1 > ツール > アプリ の順に選択

2 設定を変更するソフトウェアを選択 > [オプション] > スイート設定 を選択

外部接続

赤外線通信

本機では赤外線通信を利用して、ビジネスカードやカレンダーノート、メディアファイルなどを互換性のある機器に送信することができます。

■ 赤外線通信をご利用になる前に

・ 赤外線ビームを人の目に向けたり、それによって他の IR 機器を妨害したりしないようにしてください。本機は、クラス 1 レーザー製品です。
・ 本機と他の赤外線機器を 1 メートル以内に配置し、間に物を置かないでください。
・ 赤外線ポートが互いに向き合った位置にあることを確認してください。

■ 赤外線通信の利用

データを送信する

1 **受信側の機器を赤外線受信可能状態にする**

データの受信側が、赤外線通信ポートを有効にする必要があります。

2 **各アプリケーションから送信するデータを選択し、[オプション] を押す**

3 **送信 を選択 > 赤外線通信 を選択**

• 赤外線ポートの有効後、1 分以内に転送が開始されない場合は、接続がキャンセルされます。再度接続を試みてください。

データを受信する

1 **> 外部接続 > 赤外線通信 の順に選択**

送信側より先に赤外線通信ポートを有効にします。

2 **データの受信が終了すると、画面に「新着メッセージがあります」と表示されます**

・ 赤外線通信で受信したアイテムはすべて **受信メール** フォルダに入ります。
・ 赤外線通信で受信した新規メッセージのタイトルの前には「 」が表示されます。

赤外線通信のステータスを確認する

・ 画面に「 」が点滅している場合、接続先機器へ接続を試みているか、接続が失敗しています。
・ 赤外線の接続が有効になると、画面に が点滅せずに表示され、赤外線ポートを利用してデータの送受信が可能になります。

Bluetooth 接続

本機では Bluetooth を利用して、携帯電話、PC、および ヘッドセットやカーキットなどの互換性のある機器やアクセサリと、ワイヤレスで接続することが可能です。静止画、ビデオ、音楽ファイル、およびノートなどを互換性のある機器に送信したり、**画像印刷** 機能を利用して、互換性のあるプリンタと接続し、静止画を印刷したりすることも可能です。(「画像印刷」P.102)

Bluetooth では、電波を利用して通信を確立するので、本機と接続先の機器が見通し線上に置かれている必要はなく、10 メートル以内に配置されていれば通信が可能です。ただし、通信中には壁やその他の電子機器などの障害物による干渉を受ける可能性があります。

本機は Bluetooth Specification 1. 2 に準拠しており次の Bluetooth プロファイルをサポートしています : Basic Printing Profile, Generic Access, Serial Port, Dial-up Networking, Headset, Handsfree, Generic Object Exchange, Object Push, File Transfer, Basic Imaging, SIM Access, Human Interface Device. Bluetooth を搭載した他の機器間の相互運用性を保証するため、Nokia が認定した本機用のアクセサリを使用してください。本機との互換性については、Bluetooth 機器の各メーカーにご確認ください。

補足 : 機能に対応するプロファイルによって、Bluetooth 接続の可、不可が決まります。例えば、Handsfree Profile は、ハンズフリー装置と電話機間で利用します。機器を相互間で利用できるようにするためには、双方で同じプロファイルを保持している必要があります。

地域によっては、Bluetooth の使用が制限される場合があります。地方自治体やサービスプロバイダにご確認ください。

Bluetooth を他機能の使用中にバックグラウンドで実行すると、電池の消費量が増え、電池の消耗が早くなります。

本機がロックされている場合は、Bluetooth を利用することができません。(「セキュリティ」P.129)

■ Bluetooth を設定する

Bluetooth を利用するには、Bluetooth をオンにして、自機名称を他の機器に公開する必要があります。はじめて Bluetooth メニューを開くと、本機の名称を入力することを求められます。

1 **> 外部接続 > Bluetooth の順に選択**

次の設定をすることができます。

- **Bluetooth** — **オン** または **オフ** を選択します。
  他の互換性のある機器と接続するには、まずこの設定をオンにします。
- **自機名称公開** — **すべての機器に公開** または、**非公開** を選択します。すべての機器に公開を選択すると、

Bluetooth を利用している他の機器から本機名が確認できるようになります。非公開を選択すると相手機器に本機名が表示されません。

・ **機器名** — 本機の Bluetooth 名を定義します。

利用上の注意

Bluetooth を使用していない時は、**Bluetooth** > **オフ** にするか、**自機名称公開** > **非公開** にしてください。

身元不明の機器とペアリングするのは、セキュリティ上危険です。

■ Bluetooth 接続でデータを送信する

・ Bluetooth を利用して、一度に複数の互換性のある機器と接続することができます。例えば、本機でヘッドセットを使用しながら、他の互換性のある機器にファイルを送信することも可能です。
・ Bluetooth で送信したメッセージは、**メール** の **送信済みﾒｰﾙ** フォルダに保存されません。

データを送信する

1 各アプリケーションから送信するデータを選択

例）ギャラリーに保存されている画像を送信する
ギャラリー > **画像とビデオ** > 送信するファイルを選択

2 [オプション] > 送信 > Bluetooth の順に選択

接続可能な範囲にある Bluetooth 機器の検出を開始します。機器が検出されると画面にその機器のアイコンと機器名が表示されます。

• アイコン
「 」- PC
「 」- 携帯電話
「 」- オーディオ、またはビデオ
「 」- その他
• Bluetooth 機器の検出を中断するには、**停止** を押します。接続先の機器が検出されたら、停止ボタンを押すと時間の短縮になります。
• Bluetooth がオフの場合は、メッセージが表示されるので、オンにしてください。

3 画面に表示された Bluetooth 機器のリストから接続する機器を選択

接続先が受信を承諾し、接続が確立すると画面に**データ送信中**と表示されます。

• ペアリング（相互認証）が必要な機器を選択すると、データを送信する前にトーンが鳴り、パスコードの入力を求められます。（「機器をペアリングする」P.121）

補足：Bluetooth を利用して、テキストを送信するには、**ノート** を開き、文章を入力して、**[オプション]** > **送信** > **Bluetooth** を選択します。

Bluetooth 接続のステータスを確認する

・ 待受画面に「 」が表示されると、Bluetooth 接続が起動中です。
・ 「 」が点滅している場合、接続先機器へ接続を試みています。

- 「(✱)」が点滅せずに表示されている場合、Bluetooth で接続中です。

  補足：Bluetooth 機器の検出時、機器によっては固有のアドレス（機器アドレス）しか表示されない場合があります。本機のデバイスアドレスを確認するには、待受画面で ***#2820#** と入力します。

機器をペアリングする

本機と他の Bluetooth 機器をペアリングすると、認証済みとなり、次回の通信からその機器の識別が容易になります。認証済みの機器は、認証済み機器画面（✱⁾⁾✱）に表示されます。

ペアリングを実行するには、独自のパスコード (1-16 桁) を作成し、ペアリング先の機器とそのパスコードを交換する必要があります。ユーザインターフェースが備わっていない機器の場合、パスコードは工場出荷時に設定されています。作成したパスコードは 1 回の使用に限り有効です。

1 > **外部接続** > **Bluetooth** > > **認証済み機器画面 (✱⁾⁾✱) の順に選択**

2 **[オプション]** > **機器検索** **を選択**

- 認証済み機器を検出すると、機器名の右横に が表示されます。

3 ペアリングする機器をリストから選択

パスコードの入力画面が表示されます。

4 パスコード (1 ～ 16 桁）を本機に入力

5 同じパスコードを相手先にも入力

6 ペアリングが確立すると、認証済み機器画面に機器名が表示されます。

自動接続するかどうかメッセージが表示されます。詳細は後述の「Bluetooth 機器を自動接続する」を参照してください。

Bluetooth 機器を自動接続する

Bluetooth 機器をペアリングすると、機器を自動接続するかどうかを聞かれます。自動接続を設定すると、その機器との接続を通知なしで確立することができ、個別の認証は必要ありません。この設定は、自分が所有している互換性のある PC やヘッドセットなどの機器や、信頼できる所有者の機器間で使用してください。機器が認証されると、認証済み機器名の右横に、「 」が表示されます。

1 認証済み機器画面 (✱⁾⁾✱) を選択

2 リストから設定する機器を選択 > [オプション] > 自動接続を設定

自動接続を解除する

自動接続を解除すると、この機器からの接続要求は、毎回個別に認証する必要があります。

1 認証済み機器画面 (✱⁾⁾✱) を選択

2 解除する機器を選択 > [オプション] > 自動接続を解除 を選択

ペアリングを解除する

1 **認証済み機器画面 (✻⁾⁾⁽⁽✻) を選択**

2 **解除する機器を選択 > [オプション] > 削除 を選択**

ペアリング解消のメッセージが表示されます。

3 **[はい] を押す**

すべてのペアリングを解除する

1 **[オプション] > すべて削除 を選択**

ペアリング解消のメッセージが表示されます。

2 **[はい] を押す**

補足 : 現在、ある機器に接続しており、その機器とのペアリングを解除する場合、ペアリングはすぐに解除されますが、接続は有効なままです。

■ Bluetooth 接続でデータを受信する

Bluetooth 接続でデータを受信すると、トーンが鳴り、確認メッセージが表示されます。

1 **画面に Bluetooth の受信要求が表示**

機器名もメッセージ内に表示されます。

2 **[はい] を押す**

データを受信すると、「✉」が画面上部に表示され、受信のメッセージが表示され、**メール** の **受信メール** フォルダに保存されます。

- Bluetooth 接続で受信したメールのタイトルの前には、「✻」が表示されます。(「メール受信」P.159)

■ Bluetooth 接続をオフにする

1 **⚙ > 外部接続 > Bluetooth の順に選択**

2 **Bluetooth > ● > オフ にする**

データケーブル

ﾃﾞｰﾀｹｰﾌﾞﾙﾓｰﾄﾞ では、本機と他の機器を USB ケーブルで接続する場合に、その接続先を指定します。

1 **⚙ > 外部接続 > ｹｰﾌﾞﾙ の順に選択**

2 **ﾃﾞｰﾀｹｰﾌﾞﾙﾓｰﾄﾞ > ● を押す**

3 **接続先を次から選択し、OK を押す**

- **接続時に確認** - 本機にケーブルを接続すると、接続先を聞かれるようになります。
- **ﾒﾃﾞｨｱﾌﾟﾚｰﾔｰ**
- **PC Suite**
- **データ転送**
- **PictBridge**

その他データ通信

PC 接続

本機は、さまざまな PC 接続アプリケーションとデータ通信アプリケーションで使用できます。Nokia PC Suite を使用すると、電話帳、カレンダー、および To-do ノートなどを、本機と互換性のある PC との間で同期させることができます。Microsoft Windows 2000 および Microsoft Windows XP で使用可能な Nokia PC Suite のインストール方法については、CD-ROM の『Nokia PC Suite ユーザガイド』および Nokia PC Suite ヘルプの「インストール」の項、もしくは、http://www.nokia.co.jp/pcsuite のサポートページを参照してください。

本機と PC を同期させるには、常に PC 側から接続を確立してください。

本機をモデムとして使用する

本機は、Bluetooth 接続、赤外線、データケーブルで互換 PC と接続することによって、E-mail の送受信やインターネットへの接続用モデムとして使用できます。インストール手順の詳細については、CD-ROM に搭載されている『Nokia PC Suite ユーザガイド』の「電話機を使用したインターネット接続」を参照してください。

補足：最初に Nokia PC Suite を利用して、互換性のある PC と本機を接続する場合は、Nokia PC Suite に搭載されている Get Connected ウィザードをお使いください。

赤外線でデータ通信をおこなう

> **外部接続** > **モデム** > **接続 の順に選択**

・ 本機と PC の赤外線ポートが互いに向き合っており、間に障害物がないことを確認してください。(「赤外線通信」P.118)

接続状況

> **外部接続** > **接続状況**

接続状況から、現在アクティブな GSM および WCDMA ネットワークの接続状況を確認することができます。

ウェブなどに接続中の場合は、接続の名称が表示されます。

注意：本機の通信時間は、ネットワーク機能や請求額の端数計算などによって異なる場合があります。

すべての接続を終了する

1 **[オプション]** > **すべて切断** **を選択**

接続の詳細を表示する

接続に関する詳細情報 (ベアラ、状態、送受信データ量など）を表示します。接続の種類により、詳細の表示内容は異なります。

1 詳細を表示する接続を選択 > [オプション] > 詳細 の順に選択

データ接続を終了する

1 終了する接続を選択 > [オプション] > 切断 の順に選択

同期

同期 を利用して、ノート、カレンダー、電話帳などを、互換性のあるコンピュータ、あるいはインターネット上にある各種カレンダーや、アドレス帳などのアプリケーションと同期することができます。同期の設定を定義したり、変更したりすることも可能です。

同期アプリケーションでは、同期処理に SyncML 技術を採用しています。SyncML との互換性については、本機データを同期するアプリケーションのメーカーに直接お問い合わせください。

Lifeblog を利用する場合は、www.nokia-asia.com のサポートページよりソフトウェア (英語) をダウンロードできます。

新しい同期プロファイルを作成する

1 > 外部接続 > 同期 の順に選択

2 [オプション] > 新規同期ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ を選択

メッセージが表示されます。

- 既存のプロファイル値をコピーする場合は、**[はい]** 、新しく値を設定する場合は、**[いいえ]** を選択します。

3 次の機能を設定し、[完了] を押す

同期プロファイル名 - プロファイルの名前を入力します。

アプリケーション - 各種アプリケーションの同期設定をおこないます。

- **同期に含める** - そのアプリケーションを同期する場合は、**はい** を選択します。
- **ﾘﾓｰﾄﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ** - リモートサーバ上の各アプリケーションのデータベースへのパスを入力します。
- **同期タイプ** - **標準** (双方向の同期)、**サーバ側を更新**、**電話機側を更新** のいずれかを選択します。

接続設定 - 同期用サーバに対する設定を行います。

- **サーババージョン** - 同期サーバのバージョンを選択します。
- **サーバ ID** - サーバを識別する固有の ID を入力します。
- **データベアラ** - **Bluetooth** または **インターネット** を選択します。
- **アクセスポイント** - アクセスポイントを選択します。
- **ホストアドレス** - 正しい値については、サービスプロバイダまたはシステム管理者にお問い合わせください。

- **ポート** - サーバのポート番号を入力します。
- **ユーザ名** - 同期サーバに使用するユーザ ID。正しい ID については、サービスプロバイダまたはシステム管理者にお問い合わせください。
- **パスワード** - パスワードを入力します。正しい値についてはサービスプロバイダまたはシステム管理者にお問い合わせください。
- **同期要求を許可** - 同期サーバが同期を開始できるように設定するには、**はい** を選択します。
- **全同期要求を承認** - サーバが初期化した同期を開始する前に、本機がメッセージを表示するように設定するには、**いいえ** を選択します。
- **ネットワーク認証** - サーバへのネットワーク接続を認証するには、**はい** を選択します。

データを同期する

同期 のメイン表示では、他の同期プロファイルや同期させるデータの種類を表示することができます。

1 > **外部接続** > **同期** **の順に選択**

2 **同期プロファイルを選択 > [オプション] > 同期を選択**

Bluetooth で他機器の検索が開始されます。前回使用した機器がある場合は、その機器名が表示されます。

- Bluetooth がオフの場合、オンにするようにメッセージが表示されます。

同期のステータス (「完了」または「未完了」) が、画面下部に表示されます。

- 完了前に同期を中断するには、**[キャンセル]** を押します。

3 **相手先を選択 > を押す**

同期が完了すると、メッセージが画面に表示されます。

プロファイルを編集する

1 > **外部接続** > **同期** **の順に選択**

2 **変更する同期プロファイルを選択 > [オプション] > 同期ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ編集 を選択**

同期プロファイルを削除する

1 > **外部接続** > **同期** **の順に選択**

2 **削除するプロファイルを選択 > [オプション] > 削除 を選択**

削除を確認するメッセージが表示されます。

3 **[はい] を押す**

■ デバイスマネージャ

携帯電話事業者、サービスプロバイダ、または企業情報管理部門からサーバプロファイルや各種構成設定を受信できる場合があります。これらの構成設定には、データ接続用のアクセスポイント設定や、本機内の各種アプリケーションで使用する設定などがあります。

> **外部接続** > **デバイス** **の順に選択**

サーバに接続して、本機用の構成設定を受信する

1 **受信するプロファイル > [オプション] > 設定開始 の順に選択**

サービスプロバイダから受信した設定を、許可する、または拒否する

1 許可あるいは拒否するプロファイルを選択 > [オプション] > 構成有効化 あるいは 構成無効化 の順に選択

サーバプロファイル設定

プロファイルが定義されていない場合、新しいプロファイルを作成するかどうかのメッセージが表示されるので、**[はい]** を押します。

正確な設定については、サービスプロバイダにお問い合わせください。

- **サーバ名** - 構成サーバの名前を入力します。
- **サーバ ID** - 構成サーバを識別する固有の ID を入力します。
- **サーバパスワード** - お客様の電話機をサーバに識別させるパスワードを入力します。
- **アクセスポイント** - サーバに接続するときに使用するアクセスポイントを選択します。
- **ホストアドレス** - サーバの URL アドレスを入力します。
- **ポート** - サーバのポート番号を入力します。
- **ユーザ名 / パスワード** - ユーザ名とパスワードを入力します。
- **構成を許可** - サーバに接続して、本機用の構成設定を受信するには、**はい**を選択します。
- **全要求自動承認** - サーバからの構成設定の受信を許可するかどうか確認したうえで受信するようにするには、**いいえ**を選択します。
- **ネットワーク認証** - サーバへのネットワーク接続を認証するには、**はい** を選択します。

■ データ転送

今まで使用していた互換性のある Nokia の電話機から本機へ、電話帳やカレンダーエントリなどのデータを Bluetooth 接続や赤外線通信を利用して転送することができます。転送可能なデータの種類は、機種によって異なります。他の機器に同期機能が搭載されている場合は、同期によってデータを転送することも可能です。(「同期」P.124)

著作権により保護されているコンテンツ（画像、着信音など) のコピー、編集、および転送は禁止されています。

オフラインモードでもデータ転送は可能です。USIM カードを挿入していない状態で、本機の電源を入れると、オフラインモードが自動的に有効になります。

相手先の電話機メモリやメモリカード（挿入されている場合）から転送したコンテンツは、本機の電話機メモリやメモリカード（挿入されている場合）の対応する場所にコピーされます。転送にかかる時間は、転送するデータ量によって異なります。いったん転送を解除して、後ほど再開することもできます。

Bluetooth でデータを転送する

Bluetooth でデータを転送するには、Bluetooth 機能が相互の機器間で使用できる必要があります。

1 > **ツール** > **ﾃﾞｰﾀ転送** > **データ転送** **の順に選択**

転送方法が表示されます。

- はじめてデータ転送メニューに入ると、データ転送に関する情報が表示されるので、**[続行]** を選択してください。
- ２回目以降は、電話機選択リストが表示され、以前に接続した電話機名が表示されます。リストに含まれない機器を選択するには、**その他** を選択してください。

2 Bluetooth を選択

メッセージが表示されるので、相手先の Bluetooth をオンにしてください。

- 本機の Bluetooth がオフになっているとオンにするようメッセージが表示されるので、**はい**を選択します。

3 [続行] を押す

- はじめてデータ転送をおこなう場合は、Bluetooth 機器の検索が開始されます。
- ２回目以降は、以前に接続した機器のリストが表示されます。リストに含まれない機器を選択するには、**機器の検索** を選択します。検索が開始されます。

4 接続する機器を選択する

パスコード定義のメッセージが表示されます。

5 [OK] を押す

本機にパスコード（１～１６桁）の入力画面が表示されます。

6 本機にパスコードを入力 > [OK] を押す

相手先にパスコードの入力画面が表示されます。

7 接続先にも同じパスコードを入力

接続が確立すると、本機にデータ選択画面が表示されます。

- 転送できるデータは電話機により異なります。
- 電話機の機種によっては、**転送** アプリケーションは、メッセージとして送信されます。他の機器に **転送** アプリケーションをインストールするには、メッセージを開いて、画面に表示されるインストラクションに従ってください。

8 本機に転送するデータを選択 > [OK] を押す

転送が完了するとメッセージが表示されます。

赤外線通信でデータを転送する

赤外線通信でデータを転送するには、赤外線機能が相互の機器で利用できる必要があります。

1 「Bluetooth でデータを転送する」の操作１

2 赤外線通信 を選択

メッセージが表示されるので、相手先の赤外線通信機能を有効にします。

- お互いの赤外線ポートが向き合うように、機器を配置してください。

3 本機の [続行] を押す

接続中のメッセージが表示され、接続が完了すると、データ選択リストが表示されます。
- 転送できるデータは、電話機により異なります。

4 本機から転送するデータを選択 > [OK] を押す

転送が完了するとメッセージが表示されます。

転送ログを確認する

以前に行った転送のログを表示することができます。

1 > ツール > ﾃﾞｰﾀ転送 > 転送ログ の順に選択

データを同期する

他の機器が同期をサポートしている場合は、両方の機器でデータを最新の状態に保つことができます。

1 > ツール > ﾃﾞｰﾀ転送 > 電話機 の順に選択

以前に接続した電話機のリストが表示されます。

2 同期する電話機を選択 > [オプション] > 同期 を選択

画面にメッセージが表示されるので、指示に従ってください。
- 以前に接続した時と同じ転送方法で同期を開始します。

同期を編集する

以前に接続した転送方法を編集することができます。

1 > ツール > ﾃﾞｰﾀ転送 > 電話機 の順に選択

2 転送方法を編集する電話機を選択 > [オプション] > 編集 の順に選択

データの同期、**接続タイプ**、**自動接続を許可**、**機器名**を編集することができます。

セキュリティ

操作用暗証番号（ロックコード）の変更

操作用暗証番号（ロックコード）を変更できます。このコードには、数字 (**0** ～ **9**) の組み合わせしか使用できません。

緊急電話番号に誤って電話しないようにするため、緊急電話番号に類似したコードは使用しないでください。

> **ツール** > **設定** > **セキュリティ** > **電話機と SIM**

1 **ロックコード を選択**
   - お買い上げ時のロックコードは、「12345」に設定されています。

2 **設定されているロックコードを入力 > [OK] を押す**

3 **新規ロックコードを入力 > [OK] を押す**

4 **新規ロックコードを再度入力 > [OK] を押す**

   ロックコードを変更しました が表示されます。

PIN コードの設定

PIN/PIN2 コードを変更できます。このコードは、数字 (**0** ～ **9**) の組み合わせしか使用できません。コードを忘れた場合は、携帯電話事業者へ問い合わせください。

緊急電話番号に誤って電話しないようにするため、緊急電話番号に類似したコードは使用しないでください。

> **ツール** > **設定** > **セキュリティ** > **電話機と SIM**

PIN/PIN2 コードを変更する

1 **PIN コード または PIN2 コード を選択 > [OK] を押す**
   - お買い上げ時の PIN コード、PIN 2コードは、ともに「9999」に設定されています。
   - PIN コードを変更する場合は、**PIN コード要求** を **オン** にしてください。

2 **現在、設定されている PIN(PIN2) コードを入力**

   新規 PIN(PIN2) コードを入力する画面が表示されます。

3 **新規 PIN(PIN2) コードを入力**

4 **新規 PIN(PIN2) コードを再度入力**

   PIN コードを変更しました (**PIN2 コードを変更しました**) が表示されます。

PIN コード要求を設定する

電源を入れたときに、PIN コードを入力するよう設定します。

1 **PIN コード要求 を選択**
2 **オン を設定**
3 **PIN コードを入力**
 コードを確認しました が表示されます。

無断で利用されたくないとき

本機の操作を禁止する (電話機ロック)

1 **を短く押す**
 リストが表示されます。
2 **電話機ロック を選択**
3 **ロックコードを入力し、[OK] を押す**
 - **コードを確認しました** が表示され、電話機がロックされます。
 - 操作用暗証番号 (ロックコード) については、「操作用暗証番号 (ロックコード)」(P.31) を参照してください。

注意 : 本機がロックされているときでも、オフラインモードで本機にプログラムされている海外の緊急電話番号には電話できる場合があります。本機では、キーガードが設定されている状態で、110、118、119 への緊急通報ができない場合があります。この場合は、設定を解除し、「緊急通報」(P.214) を参照して電話をかけてください。

自動ロックまでの時間を設定する

本機が自動的にロックされ、正しいロックコード (操作用暗証番号) を入力しない限り使用できない設定ができます。自動ロックされるまでの時間は分単位で設定することができます。

> **ツール** > **設定** > **セキュリティ** > **電話機と SIM**

1 **自動ﾛｯｸまでの時間 を選択**
2 **ユーザ定義 を選択**
3 **本機が自動的にロックされるまでの時間を入力**
4 **ロックコードを入力**
 コードを確認しました が表示されます。

USIM 変更時に本機をロックする

本機が認識していない USIM カードが挿入された場合に、ロックコードを要求するかどうかを設定すること

ができます。本機には、所有者のカードを識別するためのリストが保持されます。

1 SIM 変更時にロック を選択

2 はい を選択

3 ロックコードを入力

コードを確認しました が表示されます。

■ 電話と USIM の設定

注意 : 次の機能は現在ご利用になれません。

· **限定ユーザグループ**

· **SIM サービス確認**

誤動作防止設定 (キーガード設定)

キーガード設定を使用すると、誤ってキーを押さないようにできます。この機能を設定すると、待受画面上部に「」が表示されます。

■ キーガードを設定する

1 を短く押す

- リストが表示されます。

2 リストから キーガード設定 を選択

- **キー操作をロックしました** が表示されます。
- 画面上部に「」が表示されます。
- キーガード設定時に画面のバックライトを点灯する場合は、を押します。
- クローズポジションの場合は、を 2 回押して、**キーガード設定** を選択し、カバーキーを押します。

を押し、すぐに を押すことで設定することもできます。

注意 : キーガード設定がオンであっても、本機にプログラムされた海外の緊急電話番号には発信できることがあります。緊急電話番号を入力して、を押します。本機では、キーガードが設定されている状態で、110、118、119 への緊急通報ができません。設定を解除し、「緊急通報」(P.214) を参照して電話をかけてください。

■ キーガード設定を解除する

1 [解除] を押し、すぐに を押す

キーガードを解除しました が表示されます。

証明書管理

デジタル証明書は安全性を保証するものではなく、ソフトウェアの供給元を検証するために使用するものです。

オンライン銀行、その他のサイトやリモートサーバに接続して機密情報を転送する場合は、デジタル証明書を使用してください。また、ソフトウェアをダウンロードしてインストールするときに、ウィルスなどの悪意のあるソフトウェアのリスクを軽減したり、ソフトウェアの信頼性を確認したりする場合にも使用してください。

用語 : デジタル証明書は、XHTML ページや WML ページ、インストールされたソフトウェアの供給元を検証するために使用します。ただし、証明書の発行元が信頼できる場合にのみデジタル証明書を信用できます。

重要 : 証明書を使用することで、リモート接続やソフトウェアインストールに関わるリスクを大幅に軽減できますが、強化されたセキュリティを有効に活用するには証明書を正しく使用する必要があります。証明書が存在しても、それだけで保護されるわけではありません。強化されたセキュリティを有効にするには、本物の信頼できる正しい証明書が証明書管理に格納されている必要があります。証明書には有効期限があります。証明書が有効であるはずなのに、失効した証明書や有効になっていない証明書が表示される場合は、本機の現在の日時が正しいかどうかを確認してください。

証明書機関リストを表示する

> **ツール** > **設定** > **セキュリティ** > **証明書管理**

・ 本機にあらかじめ登録されている証明機関が表示されます。
・ 個人証明書を表示する場合は、 を押します。

証明書の詳細情報を表示する

・ サーバの正しい供給元は、サーバの証明書の署名と有効期間がチェックされたときにのみ確認できます。
・ サーバの供給元が不確かな場合や、本機に正しいセキュリティ証明書がない場合は、本機の画面にメッセージが表示されます。

1 証明書を選択し、[オプション] > 証明書詳細 を選択

証明書の詳細が表示されます。または、証明書の有効性がチェックされ、次のメッセージが表示される場合があります。

- **信頼されていない証明書です** - アプリケーションで証明書を使用するように設定されていません。
- **失効した証明書** - 選択した証明書の有効期間を過ぎています。
- **有効になっていない証明書です** - 選択した証明書の有効期間がまだ始まっていません。

- **証明書は壊れています** - 証明書を使用できません。証明書の発行者にお問い合わせください。

■ 信頼設定を変更する

設定を変更すると、ウェブでのページ閲覧や、アプリケーションやファイルのダウンロードができなくなる場合があります。

1 証明書を選択し、[オプション] > 信頼設定 を選択

証明書に応じて、選択した証明書を使用できるアプリケーションのリストが表示されます。例えば、次のように表示されます。

- **Symbian インストール**：**はい** - この証明書は、新しい Symbian オペレーティングシステムアプリケーションの供給元を証明できます。
- **インターネット**：**はい** - この証明書は、サーバを証明できます。
- **アプリケーションのインストール**：**はい** - この証明書は、新しい Java アプリケーションの供給元を証明できます。
- **オンライン証明書確認**：サーバからダウンロードする際に、証明書を確認します。

2 [オプション] > 信頼設定編集 を押し、内容を変更する

セキュリティモジュール

ボーダフォンの USIM カードでは対応しておりません。

トラック保護ファイル

一部の著作権保護されているサウンドファイルには、トラック保護ファイルが含まれている場合があります。(「著作権管理」P.141)

各種設定をお買い上げの状態に戻す

1 > ツール > 設定 > 電話機 > 一般 > デフォルト設定に戻す を選択

2 ロックコードを入力

- ロックコードについては「操作用暗証番号（ロックコード）の変更」(P.129) を参照してください。

3 [はい] を選択

- 電話機は自動的に再起動され、お買い上げ時の設定に戻ります。
- お客様が保存したデータは影響されません。

その他の設定

設定

■ 電話機設定

一般

> **ツール** > **設定** > **電話機** > **一般**

電話機言語 - 本機の表示言語を変更すると、日時の表示形式や計算などで使用する区切り記号も変わります。**自動** を使用すると、USIM カードの情報に応じて言語が選択されます。表示言語を変更すると、本機が再起動します。

補足：電話機言語 の設定変更は、本機内のすべてのアプリケーションに影響します。この変更は設定を再度変更するまで変わりません。

英語予測 - 本機内のすべてのエディタに対して予測文字入力を**オン** または**オフ** に設定できます。予測文字辞書に対応していない言語もあります。

予測辞書リセット - 変換した文字は、自動的に変換候補リストに記録されます。お客様がユーザ辞書に登録した単語や頻繁に使用する単語が、変換候補リストの上位に表示されます。変換候補リストは初期値にリセットできます。お客様がユーザ辞書に登録した単語は影響を受けません。

日本語予測 - 本機内のすべてのエディタに対して日本語予測文字入力を**オン**または**オフ**に設定できます。

ｷｰ入力ﾀｲﾑｱｳﾄ - テキスト入力時に、次の文字にカーソルが移動するまでの時間を選択することができます。

ｳｪｲｸｱｯﾌﾟﾒｯｾｰｼﾞ / ﾛｺﾞ - 本機の電源を入れると、ウェイクアップメッセージまたはロゴが少しの間表示されます。デフォルト画像を使用する場合は、**デフォルト**を選択し、ウェイクアップメッセージ (英字で最大 50 文字まで) を入力する場合は、**テキスト** を選択します。また、**ｷﾞｬﾗﾘｰ** で写真や画像を選択する場合は、**画像**を選択します。

ﾃﾞﾌｫﾙﾄ設定に戻す - 「各種設定をお買い上げの状態に戻す」(P.133) を参照してください。

待受画面のキー設定

> **ツール** > **設定** > **電話機** > **待受画面のキー設定**

待受画面機能拡張 - 待受画面でアプリケーションのショートカットを表示します。(「待受画面機能拡張」P.90)

左ソフトキー - 待受画面でショートカットを左ソフトキー「 ⌐ 」に登録するには、リストからアプリケーションを選択します。

右ソフトキー - 待受画面でショートカットを右ソフトキー「 ¬ 」に登録するには、リストからアプリケーションを選択します。

> **補足：**リストからアプリケーションを選択することにより、ナビゲーションキーのショートカットを登録することもできます。**待受画面機能拡張**がオンである場合、ナビゲーションキーのショートカットは使用できません。

待受画面ｼｮｰﾄｶｯﾄ設定 - 待受画面機能拡張に表示するアプリケーションを選択します。あらかじめ **待受画面機能拡張** が **オン** となっている必要があります。

オペレータロゴ - この設定はオペレータロゴを受信して保存している場合にのみ表示され、オペレータロゴを表示するかどうかを選択できます。

メイン画面表示

> **ツール** > **設定** > **電話機** > **メイン画面**

ライトセンサー - メインディスプレイの表示を明るくしたり暗くしたりできます。画面の明るさは、周囲の環境に応じて自動的に調整されます。

ﾊﾟﾜｰｾｰﾊﾞｰﾀｲﾑｱｳﾄ - タイムアウト時間が過ぎるとパワーセーバーが表示されます。

照明点灯時間 - バックライトがオフになるまでのタイムアウト時間を選択します。

サブ画面表示

> **ツール** > **設定** > **電話機** > **サブ画面**

明るさ - サブ画面の表示を明るくしたり、暗くしたりできます。サブ画面の明るさの変更は、メイン画面の明るさに影響することはありません。

壁紙 - サブ画面の壁紙を設定します。

パワーセーバー - サブ画面にパワーセーバーを設定します。パワーセーバーが起動する前に、スクリーンセーバーを表示するかどうかを設定することもできます。

■ 通話設定

> **ツール** > **設定** > **通話**

発信者番号通知 (ネットワークサービス) - 詳細については、「発信者番号通知」(P.158) を参照してください。

割込通話サービス (ネットワークサービス) - 詳細については、「割込通話サービス (ﾈｯﾄﾜｰｸｻｰﾋﾞｽ)」(P.156) を参照してください。

通話拒否時 SMS 送信 - 電話に応答できない理由を知らせる SMS を発信者に送信する場合は、**はい** を選択します。(「電話にでられないとき」P.35)

通話拒否時定型文 - 応答を拒否したときに SMS で送信する本文を入力します。

テレビ電話の静止画 - テレビ電話がかかってきた場合に映像送信を拒否できます。映像のかわりに表示する静止画を選択します。

国際ｱｸｾｽｺｰﾄﾞ置換 - 日本から国際電話をかけるときに使用する特定の国際電話アクセス番号がある場合は、**はい**を選択して、国際電話アクセス番号を入力します。+ 記号で始まる電話番号を電話帳に保存し、国コードが 81 でない（81 は日本の国コード）場合、その番号に電話をかけると、+ 記号がここで保存したアクセス番号に置き換えられます。保存したアクセス番号が使用されていない国から通話するときは、**いいえ**を選択します。この設定は、電話、テレビ電話、データ通信、FAX 通信の場合のみ有効ですが、携帯電話事業者間のローミング契約によって異なることがあります。詳細については、「国際ローミングサービスガイド」を参照してください。

自動リダイヤル - **オン** を選択すると、電話がつながらない場合に最大 10 回まで自動的に電話をかけ直すことができます。自動リダイヤルを停止するには、 を押します。

通話後の情報表示 - 通話後のおおよその通話時間を本機に表示させる場合は、この機能を開始します。

ワンタッチダイヤル - **オン** を選択すると、ワンタッチダイヤルキー (2abc ～ wxyz9) を長く押すことで、そのキーに登録した番号に電話をかけることができます。(「声で電話をかける」P.44)

エニーキーアンサー - **オン** を選択すると、どのキー (、 、 、 は除く) を押しても、かかってきた電話に応答できるようになります。

本体を開いて応答 - カバーを開けると通話に応答するよう設定する場合は、**はい** を選択します。

■ 接続設定

 > **ツール** > **設定** > **接続**

本機は、GSM ネットワークの GPRS などのパケットデータ接続に対応しています。本機を WCDMA や GSM ネットワークで使用する場合は、複数のデータ接続を同時に使用したり、複数のアクセスポイントで 1 つのデータ接続を共有したり、通話中にデータ接続を使用中のままにしたりできます。

データ接続を確立するには、アクセスポイントが必要となります。次の種類のアクセスポイントを指定することができます。

- MMS の送受信をおこなう MMS アクセスポイント
- WML や XHTML ページを表示するインターネットアプリケーション用のアクセスポイント
- E-mail の送受信をおこなうインターネットアクセスポイント (IAP)

別のサービスプロバイダのアクセスポイントを設定し、各アプリケーションでそのアクセスポイントを使用する設定に変更した場合は、ボーダフォンのサービスがご利用できなくなります。

アクセスポイント

「 」- パケットデータアクセスポイント

本機にアクセスポイントがすでに設定されている場合があります。

「 」が表示されているアクセスポイントは、保護されています。編集や削除はできません。

新規アクセスポイントを作成する

1 アクセスポイント > [オプション] > 新規ｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ > デフォルト設定を使用 または 既存の設定を使用 を選択し、項目を入力

- アクセスポイントの内容を変更する場合は、**[オプション]** > **編集** を選択します。
- アクセスポイントを削除するには、 C を押します。
- 詳細については、サービスプロバイダの指示に従ってください。

アクセスポイント設定

1 アクセスポイント > 設定するアクセスポイントを選択

接続名 - わかりやすい名前を入力します。

データベアラ - 選択するデータ接続に応じて、特定の設定フィールドだけが操作可能になります。赤のアスタリスクが表示されているフィールドには、入力が必要です。他のフィールドは、特にサービスプロバイダからの指示がない限り、空欄のままにできます。

・ データ接続を使用できるようにするには、ネットワークサービスプロバイダがこの機能に対応しているとともに、必要な場合に、お客様の USIM カードでこの機能を有効にする必要があります。

アクセスポイント名 - アクセスポイント名はパケットデータネットワークや WCDMA ネットワークと接続する場合に必要で、サービスプロバイダから入手できます。

ユーザ名 - ユーザ名はデータ接続をおこなうときに必要な場合があり、通常はサービスプロバイダから提供されます。ほとんどの場合、ユーザ名では大文字と小文字が区別されます。

パスワード確認 - サーバにログインするたびに新しいパスワードを入力する必要がある場合や、本機にパスワードを保存したくない場合は **はい** を選択します。

パスワード - パスワードはデータ接続をおこなうときに必要な場合があり、通常はサービスプロバイダから提供されます。ほとんどの場合、パスワードでは大文字と小文字が区別されます。

認証 - **標準** または**安全**を選択します。

ホームページ - お客様の設定内容に応じて、URL アドレスまたは MMS センターのアドレスを入力します。

[オプション] > **詳細設定** を選択し、詳細設定をおこなうこともできます。

- **ネットワークタイプ** - 使用するインターネットプロトコルのタイプとして、**IPv4** または **IPv6** を選択します。
- **電話機 IP アドレス** (IPv4 のみ) - 電話機の IP アドレスを入力します。
- **DNS アドレス** - **1 次 DNS アドレス** には、1 次 DNS サーバの IP アドレスを入力します。**2 次 DNS アドレス** には、2 次 DNS サーバの IP アドレスを入力します。これらのアドレスを入手するには、インターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
- **ﾌﾟﾛｷｼｻｰﾊﾞｱﾄﾞﾚｽ** - プロキシサーバを設定します。
- **プロキシポート番号** - プロキシサーバのポート番号を設定します。

パケット接続

1 パケット接続 を選択

パケットデータ設定は、パケットデータ接続を使用するすべてのアクセスポイントに影響します。

パケット接続 - **可能時** を選択していて、パケットデータ対応のネットワーク圏内にいる場合、本機がパケットデータネットワークに登録されます。また、パケットデータ接続が開始されると、接続 (例えば、E-mail の送受信) が速くなります。**必要時** を選択した場合は、パケットデータ接続を必要とするアプリケーションや操作を開始する場合にのみパケットデータ接続が使用されます。パケットデータ通信圏にいないときに **可能時** を選択すると、定期的にパケットデータ接続が試みられます。

アクセスポイント - このアクセスポイント名は、お客様のコンピュータのパケットデータモデムとして本機を使用する場合に必要になります。

構成

本機ではご使用になれない機能です。

■ ネットワーク

> **ツール** > **設定** > **ネットワーク**

本機は、GSM ネットワークと WCDMA ネットワークを自動的に切り替えることができます。GSM ネットワークの場合、待受画面に「Ψ」が表示されます。WCDMA ネットワークの場合は「3G」が表示されます。

ネットワークモード - デフォルトの **デュアルモード** が選択されている限り、ネットワークパラメータと携

帯電話事業者間でのローミング契約に基づいて、本機が自動的に GSM または WCDMA ネットワークを使用します。ローミングについて詳しくは、ご契約されている携帯電話事業者にお問い合わせください。

警告：GSM ネットワークだけを使用するよう設定し、選択したネットワークが使用できない場合は、緊急電話を含むすべての電話が発信できなくなる、またはネットワーク接続が必要になる機能が使用できなくなります。

携帯電話事業者選択 - **自動** を選択すると、本機がネットワークを検索して利用可能なネットワークの 1 つを選択するように設定されます。**手動** を選択すると、ネットワークリストでネットワークを手動で選択できます。手動で選択したネットワークが切れると、エラー音が鳴って、ネットワークを再接続するかどうかの確認メッセージが表示されます。選択するネットワークは、ボーダフォンとローミング契約している必要があります。

用語：ローミング契約とは、2 つ以上の携帯電話事業者間の契約です。ある携帯電話事業者のユーザが他の携帯電話事業者を使用できるようになります。

セル情報表示 - **オン** を選択すると、本機がマイクロセルラーネットワーク (MCN) 技術に基づくセルラーネットワークで使用中であることが表示されるとともに、セル情報の受信を開始するように設定されます。

■ アクセサリ設定

> **ツール** > **設定** > **アクセサリ** > **アクセサリを選択**

アイコン

「」- 互換性のあるイヤホンマイク接続中
「」- イヤホンマイク利用不可または
　　　Bluetooth イヤホンマイク接続切断
「」- カーキット接続中

ヘッドセット、**ループセット**、**文字電話**、**Bluetooth ﾍｯﾄﾞｾｯﾄ**、**カーキット** を選択し、次の設定をおこないます。(ループセット、文字電話のアクセサリは現在国内では販売されておりません。)

デフォルトモード - 特定のアクセサリを接続した場合に、開始されるモードを設定します。(「着信パターンの設定」P.92)

自動応答 - 着信してから約５秒後に、自動応答するように設定します。着信音が**ビープ音一回** または **着信音なし** に設定されている場合は、自動応答は無効となります。

ボイスキー

登録されている音声コマンドを発声するだけで、アプリケーションや電話機機能を起動することができます。音声コマンドは、ボイスダイヤルと同じように本機に登録されます。クローズポジションではご利用になれません。(「声で電話をかける」P.44)

補足 : ボイスキーを押して音声コマンドを登録することもできます。ボイスキーの位置は、「各部の名称」(P.26) を参照してください。

> **ツール** > **ﾎﾞｲｽｷｰ**

アプリケーションやモードを起動する

1 待受画面で ⌐ を長く押す、またはボイスキーを押して、ボイスタグを発声する

ボイスタグを確認する

例 : **モード** のボイスタグを再生して確認する

1 > ツール > ﾎﾞｲｽｷｰ > モード > 各モードを選択 > [オプション] > 再生 の順に選択

登録されているボイスタグが再生されます。

ボイスタグを設定 / 変更する

新規アプリケーションを追加する

1 [オプション] > 新規ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ登録 を選択

2 リストから追加するアプリケーションを選択

追加したアプリケーションのボイスタグは、自動的に作成されますが、次の操作で変更することができます。

ボイスタグを変更する

1 アプリケーションを選択し、[オプション] > コマンド変更 を選択

2 新しいボイスタグをテキストで入力

短すぎる語や略語、頭字語を使用しないようにします。

3 [オプション] > 再生 を選択し、変更されたボイスタグを確認

設定を変更する

1 [オプション] > 設定 を選択

- **シンセサイザ** > **オフ** にすると、ボイスタグを発声したときに、電話機に登録されているボイスキーを再生しません。
- **音声認識を削除** を選択すると、電話機の主なユーザが変更となった場合に、音声認識をリセットします。

著作権管理

> **ツール** > **著作権**

有効なキー - 有効なキーのリストが表示されます。

無効なキー - メディアファイルの使用時間を使い果たしたか、ファイルの使用期限が過ぎた場合に表示されます。

未使用のキー - 未使用の著作権管理キーに接続されるメディアファイルは本機に保存されていません。

メディアファイルの使用時間を追加購入したり、使用期間を延長したりするには、著作権管理キーを選択して、**[オプション]** > **使用キーの取得** の順に選択します。サービスメッセージを受信できない場合は、著作権管理キーを更新できません。(「サービスメッセージ」P.175)

表示されるオプションはキーによって異なります。

ファイルの有効状態や送信可否などの詳細情報を表示するには、著作権管理キーを選択して、 を押します。

便利な機能

カレンダー

カレンダーに会議や記念日を登録して、設定した日時に通知を受けたり、To-do リストやメモなどを保存して仕事や用事のスケジュールを管理することができます。

> **カレンダー** **を選択**

■ カレンダーを表示する

カレンダーの画面を、月表示、週表示、および To-do リスト表示に切り替えることができます。デフォルトは月表示に設定されています。

エントリを登録すると、月表示の場合、日付の右下隅に小さな三角形が表示されます。

週表示の場合には、メモ、記念日、To-do のアイコンが曜日の下に表示されます。

カレンダー表示を変更する

1 月表示画面で、[*+記号] を押す

週表示画面が表示されます。

- [*+記号] を続けて押すと、日表示、To-do リスト表示に画面が切り替わります。

補足： カレンダー を開いた時の表示タイプや、週表示の週開始日を指定することが可能です。**[オプション]** > **設定** から選択します。「カレンダーを設定する」(P.146) を参照してください。

特定の日に移動する

1 日 / 週 / 月 表示で、[オプション] > 指定日へ移動 を選択

日付の入力画面が表示されます。

2 日付を入力し、[OK] を押す

指定した日時にカーソルが移動します。

今日の日付に移動する

1 [文字マナー #] を押す

今日の日付にカーソルが移動します。

■ カレンダーエントリを登録する

ｶﾚﾝﾀﾞｰには、**会議**、**記念日**、**メモ**、**To-do** エントリを登録することができます。

会議を登録する

1 エントリを登録する日 を選択

2 [オプション] > 新規エントリ > 会議 を選択

エントリの入力画面が表示されます。

3 それぞれのフィールドに内容を入力する

入力できるのは、次のフィールドです。

- 件名
- 場所
- 開始時刻
- 終了時刻
- 開始日
- 終了日
- アラーム - イベントを通知するよう設定する場合は、**オン** を選択します。アラームの日時を入力します。
- 繰り返し - エントリを一定間隔で繰り返す場合に ● を押して選択します。
- 同期 - Nokia PC Suite などを利用して、互換性のある PC のカレンダーと同期する場合に選択します。**ﾌﾟﾗｲﾍﾞｰﾄ**：カレンダーがオンラインになったときに会議が他のユーザから隠されます。**パブリック**：カレンダーがオンラインになったときにエントリがすべてのユーザに表示されます。**なし**：エントリは同期されません。（「同期」P.124）

4 [OK] を押す

エントリが保存されます。

ｼｮｰﾄｶｯﾄ : ⌂ > **ｶﾚﾝﾀﾞｰ** > 任意のキー（1 ～ 0）の順に選択すると、**会議** エントリの入力画面が開きます。

会議の詳細データを追加する

会議エントリではエントリの詳細を入力し、フィールドに追加することができます。会議エントリを開き、**[オプション]** > **詳細データの追加** > **新規作成** を選択します。

ｵｰｶﾞﾅｲｻﾞ の **ノート** に登録した内容を会議エントリに追加することもできます。**[オプション]** > **詳細データの追加** > **既存ノートを使用** を選択します。

補足 : カレンダーから新規作成した詳細データは、ｵｰｶﾞﾅｲｻﾞ のノートには登録されません。

メモを登録する

1 [オプション] > 新規エントリ > メモ を選択

エントリの入力画面が表示されます。

2 それぞれのフィールドに内容を入力する

入力できるのは、次のフィールドです。

- 件名
- 開始日
- 終了日
- 同期

3 [OK] を押す

エントリが保存されます。

記念日を登録する

1 [オプション] > 新規エントリ > 記念日 を選択

エントリの入力画面が表示されます。

2 それぞれのフィールドに内容を入力する

入力できるのは、次のフィールドです。

- 行事
- 日付
- アラーム - 設定すると毎年その日を通知します。
- 同期

3 [OK] を押す

エントリが保存されます。

To-do を登録する

1 [オプション] > 新規エントリ > To-do を選択

エントリの入力画面が表示されます。

2 それぞれのフィールドに内容を入力する

入力できるのは、次のフィールドです。

- 件名
- 期限日 - タスクの完了期限を入力します。
- アラーム
- 優先度 - ● を押してタスクの重要度を**高**、**標準**、**低** から設定します。
- 同期

3 [OK] を押す

エントリが保存されます。

- To-do 表示で任意のキーを押すと、To-do ノートエントリが開きます。To-do 表示にするには、「カレンダー表示を変更する」(P.142) を参照してください。
- 完了した To-do にチェックマークを付けるには、**[オプション]** > **完了マーク** を選択します。完了マークを付けると、ｶﾚﾝﾀﾞ-からエントリの表示が消えますが、To-do リストからは削除されません。完了マークを解除するには、全 To-do ノート表示で、**[オプション]** > **完了マーク解除** 選択します。

■ アラームを設定する

メモエントリにアラームを設定することはできません。

アラームを登録 / 解除する

1 **アラームを登録するエントリを選択 > [オプション] > 開く を選択**
エントリ入力画面が表示されます。

2 **アラーム > オン または オフ > [OK] を押す**

アラーム音を選ぶ

それぞれのエントリに異なったアラーム音を設定することができます。

1 **アラーム音を設定するエントリ > [オプション] > 設定 > ｶﾚﾝﾀﾞｰｱﾗｰﾑ音 の順に選択**
サウンドリストが表示されます。

2 **アラーム音を選択 > [選択] を押す**
アラーム音にカーソルを合わせると、そのアラーム音を聞くことができます。

アラームが鳴ったときの操作

・ アラーム音が鳴っている時に **[消音]** を押すと消音します。消音を押しても、通知メッセージは画面に表示されたままです。
・ アラーム音をいったん停止し、5 分後に再開するには、**スヌーズ** を押します。
・ アラーム音が鳴っている時に **[停止]** を押すと、アラームが停止します。

■ カレンダーエントリを送信する

互換性のある機器に、SMS、MMS、E-mail、Bluetooth、赤外線通信を利用して、カレンダーエントリを送信することができます。

1 **送信するカレンダーエントリを選択**

2 **[オプション] > 送信 > 送信タイプの順に選択**
送信リストが表示されます。
「SMS を作成する」(P.162)、「MMS を作成する」(P.163)、「E-mail を作成する」(P.164)、「Bluetooth 接続」(P.120)、「赤外線通信」(P.118) を参照してください。

E-mail で送信するには、本機のメールボックスが定義されている必要があります。受信する機器により送信方法が限られる場合があります。(「E-mail クライアント設定」P.172)

■ カレンダーエントリを削除する

1 件削除する

1 **削除するカレンダーエントリを選択**

2 **[オプション] > 削除 を選択**

3 **[はい] を押す**
カレンダーエントリが削除されます。

全件削除する

1 > **カレンダー** **を選択**

- カレンダーが月表示でない場合は、 を押して、月表示にしてください。

2 **月表示画面で、[オプション] > エントリ削除 > すべてのエントリ の順に選択**

3 **[はい] を押す**

カレンダエントリが全件削除されます。

指定日より前のエントリを削除する

日付を指定し、その日より前に登録してあるエントリを削除することができます。

1 **月表示画面で、[オプション] > エントリ削除 > 指定日より前を削除 の順に選択**

2 **指定日を入力 > [OK] を押す**

指定日より前のエントリが削除されます。

補足 : メモリ不足を防ぐため、カレンダー から過去のエントリを削除することをお勧めします。

■ カレンダーを設定する

1 > **カレンダー** > **[オプション]** > **設定** **の順に選択**

次のオプションを設定することができます。

- **カレンダーアラーム音** - 「アラームを設定する」(P.145) を参照してください。
- **デフォルト表示** - カレンダーを開いたときに、月表示、週表示、日表示、To-do 表示にするかを選択します。
- **週開始日** - 週表示でカレンダーを開いたときに、先頭にくる曜日を選択します。
- **週表示タイトル** - 週開始日を月曜日にすると選択できます。週表示のタイトルを週番号にするか、週の日付にするかを選択します。週番号は、週開始日を月曜日にすると、画面に表示されます。その年の 1 番最初の月曜日を第 1 週とします。

補足 : カレンダーエントリを Bluetooth 機能搭載の互換性のある BPP (Basic Print Profile) プリンタで印刷することができます。**[オプション]** > **印刷** を選択します。

電卓

> **オーガナイザ** > **電卓** **の順に選択**

注意 : この計算機は単純な計算用に設計されており、精度には限界があります。

■ 計算の実行

1 **計算する最初の数字を入力する**

- 小数点を追加するには、 を押します。

2 **使用する演算子を選択し、 を押す**

3 **次の数字を入力する**

• 計算を続ける場合は、演算子と数字を入力します。

4 計算を実行するには、「=」を選択し、 を押す

計算機のオプション設定

オプションから次の機能が選択できます。

- **前回の結果** - 前回の計算結果を表示します。
- **メモリ** > **保存** - エディタフィールドの数字を保存します。1 回に 1 つの数字しか保存できません。
- **メモリ** > **再呼び出し** - 保存したメモリを呼び出します。
- **メモリ** > **クリア** - 保存したメモリを削除します。
- **画面クリア** - 画面を消去して新しい計算を開始します。

コンバータ

コンバータでは単位の変換が可能です。例えば、**長さ** の単位を **ヤード** から **メートル** に変換することができます。

本機のｺﾝﾊﾞｰﾀ は簡易版です。四捨五入の際には誤差を生じることがあります。

> ｵｰｶﾞﾅｲｻﾞ > ｺﾝﾊﾞｰﾀ の順に選択

■ コンバータを操作する

1 タイプ フィールド > を押す

タイプリストが表示されます。

2 変換する値の種類を選択 > [OK] を押す

3 上の 単位 フィールド > 変換元の単位を選択 > [OK] を押す

4 最初の 数量 フィールドを選択 > 変換する値を入力

5 下の 単位 フィールド > 変換先の単位を選択 > [OK] を押す

下の数量フィールドに変換された値が表示されます。

記号の入力には次のボタンを使用します。

- 小数点 : を押す
- +, - (温度)、E (指数): を押す

■ 基本通貨と通貨交換レートの設定

通貨換算をおこなう前に、基本通貨を選択して交換レートを入力する必要があります。

通貨の換算方法

例として、日本円を米ドルへ変換します。

1 タイプ フィールド > 通貨 > [OK] を押す

2 単位フィールド > 自通貨 > [OK] を押す

自通貨を日本円と考えます。

3 [オプション] > 通貨レート を選択

4 外貨フィールドを選択 > 交換レートを入力 > [OK] を押す

- 交換レートは、自通貨を 1 とした場合の変換先通貨の比率になります。ここでは日本円を1とした米ドルの値を入力します。
- フィールドの「外貨」表示を、実際の通貨名に変更することができます。**[オプション]** > **通貨名変更** を選択し、(●) を押し、例えば「米ドル」と入力します。
- 設定したフィールドを削除するには、**[オプション]** > **通貨削除** を選択します。

5 上の数量フィールドを選択し、変換元の値を入力

下の数量フィールドに換算された金額が表示されます。

基本通貨を変更する場合は、基本通貨にする通貨を選択 > **[オプション]** > **基本通貨に設定** を選択します。

注意：基本通貨を変更すると、前に設定した交換レートがゼロになるので、新しいレートを入力する必要があります。

ノート

本機のノートにテキスト文書を入力することができます。ノートを他の互換性のある機器に送信したり、受信したテキストファイル（.txt ファイル形式）をノートに保存したりすることが可能です。

> **ｵｰｶﾞﾅｲｻﾞ** > **ノート** **の順に選択**

ノートを作成する

1 [オプション] > 新規ノート > 内容を入力 > [OK] を押す

ノートが登録されます。

ノートを送信する

1 送信するノート > [オプション] > 送信 > 送信タイプの順に選択

詳細については、「SMS を作成する」(P.162)、「MMS を作成する」(P.163)、「E-mail を作成する」(P.164)、「Bluetooth 接続」(P.119)、「赤外線通信」(P.118) を参照してください。

ノートを印刷する

Bluetooth 機能を利用して、ノートを Bluetooth 機能搭載の互換性のある BPP プリンタで印刷することができます。

1 印刷するノートを選択 > [オプション] > 印刷 の順に選択

プリンタの選択画面が表示されます。

2 [オプション] > 選択 を選択

プリンタの検索が開始され、接続可能なプリンタのリストが画面に表示されます。
- 以前に選択したプリンタがある場合は、そのプリンタ名が表示されます。

3 [選択] を押す

音声メモ

 > オーガナイザ > 音声メモ の順に選択

本機の音声メモ機能では、音声メッセージを録音したり、通話中の会話を録音したりすることができます。録音した音声ファイルはギャラリーに保存されます。

音声メモは、データ通信中、またはパケットデータ通信中に使用すると録音できない場合があります。

音声を録音する

1 録音（ ）が選択されている状態で、 を押す

音声メッセージの録音が開始されます。

2 [停止] を押して録音を終了する

通話中の音声を録音する

1 通話中に、 > オーガナイザ > 音声メモ の順に選択

2 録音（ ）が選択されている状態で、 を押す

録音中は、通話者双方に５秒間隔でビープ音が聞こえます。

3 [停止] を押して録音を終了

ラジオ（ネットワークサービス）

ラジオ機能を利用して FM ラジオを聴いたり、本機にお気に入りのラジオステーションを登録することができます。Visual Radio サービスを提供しているラジオステーションを聴く時には、ラジオ番組に関連したビジュアル情報を見ることができます。Visual Radio では、パケットデータ（ネットワークサービス）を利用します。本機では、ラジオを聴きながら、他の機能を利用することができます。

■ ラジオをご利用になる前に

ラジオを利用するには、次の条件が必要です。

- 本機の電源がオンになっている。
- 有効な USIM カードが挿入されている。
- ラジオステーション、およびネットワークオペレータが各サービスに対応している。
- ラジオサーバに接続するために、インターネットアクセスポイントが定義されている。（日本国内で FM ラジオを聞く場合は、アクセスポイントを設定する必要はありません。）
- ラジオステーションを正しく定義した Visual Radio ID を入手している。（日本国内では Visual ID はご使用になれません。）

Visual Radio サービスを利用できない場合には、そのラジオステーションが、Visual Radio をサポート

していない可能性があります。Visual Radio サービスは、全世界の全地域でサービス可能というわけではありません。

Visual Radio では、ネットワークから受信した国情報に基づき、利用する周波数を選択します。

ラジオ放送の音声品質は、ラジオ局の受信範囲により地域ごとに異なります。

ラジオを聴く

- FM ラジオを聞くためには、アンテナが必要です。ワイヤレス機器のアンテナは FM ラジオ用には対応していません。FM ラジオを聴くには、互換性のあるヘッドセット、あるいはアクセサリが本機と正しく接続されている必要があります。
- 本機に搭載のラウドスピーカー、あるいは互換性のあるヘッドセットからラジオを聴くことができます。ヘッドセットのリード線はラジオのアンテナとして利用されるので、リード線を小さく一つに束ねることは避けてください。
- ラジオを聴きながら、電話をかけたり、電話を受けたりすることが可能です。通話を開始すると、ラジオがオフになります。通話を終了後、再度ラジオを聴くには、手動でラジオをオンにする必要があります。
- 本機をクローズポジションにしても、ラジオを聴くことが可能です。ラジオステーションの情報は、サブ画面に表示されます。ラジオをミュートしたり、ミュートを解除したりするには、カバーキーを押してください。

注意：音楽を聴く際には、適度な音量を守ってください。大音量で音楽を聴き続けると、聴覚に障害をきたす可能性があります。ラウドスピーカーを使用する際には、本機を耳に近づけないでください。

> **エンタテイメント** > **Radio**

選局する

1 **または を選択し、 を押してチューニング**

ラジオステーションの検索を開始します。ラジオステーションにチューニングされると、検索がストップします。

- 音量は、 または を押して調節します。

ラジオステーションを手動で設定する

1 **[オプション] > 手動チューニング を選択**

周波数の入力画面が表示されます。

2 **周波数を入力し、[OK] を押す**

ラウドスピーカーを使用する

ラウドスピーカーを利用する場合にも、本機とヘッドセットを接続したままにしてください。ヘッドセットのリード線が、ラジオのアンテナとして機能します。アンテナとして機能させるため、リード線を1つに束ねることは避けてください。

1 [オプション] > ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰｽﾋﾟｰｶｰ有効 を選択

受信可能なラジオステーションを表示する

日本国内ではご使用になれません。

1 [オプション] > ｽﾃｰｼｮﾝﾌｫﾙﾀﾞ（ネットワークサービス）を選択

待受画面に戻る

ラジオをつけたまま、待受画面に戻ることができます。

1 [オプション] > ﾊﾞｯｸｸﾞﾗｳﾝﾄﾞで再生 を選択

■ ラジオステーションを登録する

ステーションリストに、20 件のラジオステーションを登録することができます。

> ｴﾝﾀﾃｲﾒﾝﾄ > Radio

ステーションリストに登録する

現在聞いているラジオステーションを、ステーションリストに登録することができます。

1 または を選択し、 を押してチューニング

2 [オプション] > ステーション保存 を選択

ステーションリストに登録されます。

3 ステーション番号を選択 > [選択] を押す

4 ステーション名を入力 > [OK] を押す

ステーションリストを開く

1 [オプション] > ステーション を選択

- ステーションリストで [オプション] > ステーション を選択すると、ステーションの編集、移動、削除などが行えます。

■ ビジュアルコンテンツの表示

コンテンツを表示する

選局したラジオステーションで利用できるコンテンツを表示することができます。

日本国内では対応されていません。

1 > ｴﾝﾀﾃｲﾒﾝﾄ > Radio を選択

2 を選択、
または、[オプション] > ステーション > ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｻｰﾋﾞｽ開始 の順に選択

ビジュアルサービス ID がラジオステーション用に登録されていない場合は、ラジオステーションなどから ID を受信します。

Visual Radio の設定

Visual Radio のオプションから次の設定が可能です。

1 > エンタテイメント >Radio > [オプション] > 設定 の順に選択

- 開始音 - ラジオを開始する際に、起動音を鳴らすには オン を選択します。
- 自動起動サービス - ステーションリストに登録済みで、ビジュアルラジオサービスを提供しているラジオステーションを選択した際に、ビジュアルサービスを自動的に表示させるには、はい を選択します。
- アクセスポイント - データ接続に利用するアクセスポイントを選択します。通常の FM ラジオを聞く場合には、アプリケーションのアクセスポイントを設定する必要はありません。
- 現在の地域 - ラジオステーション用に現在の地域を選択します。電波の状態によっては、このオプションは表示されない場合があります。

オプションサービス

オプションサービスの概要

ボーダフォンでは、次のオプションサービスを利用することができます。

- 電波の届かない場所では、本機からは操作できません。
- サービスの詳しい内容、お申し込みについては、「3G ガイドブック」を参照してください。

転送電話サービス

- かかってきた電話を留守番電話や別の電話番号に転送できます。

留守番電話サービス

- 電波の届かない場所にいるときや通話中のため電話にでられないときなどに、留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりします。

割込通話サービス

- 通話中の相手を保留にし、別の相手からの電話を受けることができます。相手を切り替えながら通話することもできます。
  別途お申し込みが必要です。

多者通話サービス

- 通話中に別の相手に電話をかけられます。相手を切り替えながら通話したり、最大で 6 人同時に通話したりできます。
  別途お申し込みが必要です。

発着信規制サービス

- 電話をかけたり受けたりすることを、状況に合わせて制限できます。

発信者番号通知サービス

- お客様の電話番号を相手に通知したり、非通知にする設定ができます。

転送電話ｻｰﾋﾞｽ

注意 : 発着信規制と転送電話サービスは同時に使用できません。

> **ツール** > **設定** > **転送電話ｻｰﾋﾞｽ**

転送電話を開始する

1. **転送する着信の種類 (電話、データ通信およびテレビ電話) を選択**
2. **転送条件を選択**

- **すべての電話 / すべてのデータ通信およびテレビ電話** - 本機の状態に関わらず、すべての着信を転送します。
- **通話中** - 通話中に着信があった場合に転送します。割込通話サービスにご加入の場合は、割込み着信中に拒否を押すと指定の番号へ転送します。
- **応答なし** - 設定した秒数以内に応答できない場合に転送します。
- **電源オフ / 圏外** - 電源オフ時、ネットワーク圏外時に転送します。
- **通話不能** - 通話中、応答なし、電源オフ / 圏外の転送条件をまとめて転送します。

補足 : テレビ電話も同様に転送できます。転送電話サービスの設定で **データ通信およびテレビ電話を転送** を選択してください。

注意 : FAX 通信の転送は日本国内ではご利用いただけません。

3 [オプション] > 開始 を選択

- **停止** を選択すると、サービスを停止できます。
- **状態確認** を選択すると、サービスの状況を確認できます。
- 複数の転送条件を同時に開始することもできます。
- **すべての電話** が転送される場合は、待受画面に「 」が表示されます。

4 別の電話番号へ を選択し、電話番号を入力

次の電話番号は転送先として登録できません。

- 「1」から始まる電話番号 (例 : 110、118、119 など)
- 「00」から始まる電話番号 (例 : 001、0041 から始まる国際電話番号など)
- 「0120」から始まる電話番号 (フリーダイヤル)
- 「0990」から始まる電話番号 (ﾀﾞｲﾔﾙ Q2 など)

■ 転送電話サービスをすべて停止する

1 [オプション] > すべての転送を停止 を選択

補足 : 転送条件ごとにサービスを停止することもできます。(「転送電話サービス」操作 3 P.154)

留守番電話サービス

- 電波の届かない場所や電話に出られないときに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。
- 転送電話サービスの転送先を留守番電話センター番号に設定する必要があります。

注意 : 転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に利用することはできません。

> **ツール** > **設定** > **転送電話ｻｰﾋﾞｽ**

■ 留守番電話サービスを開始する

1 転送する着信の種類 (電話、データ通信およびテレビ電話) を選択

2 転送条件を選択

(「転送電話サービス」操作 2 P.153)

3 [オプション] > 開始 を選択

(「転送電話サービス」操作 3 P.154)

4 別の電話番号へ を選択し、留守番電話サービスセンターの電話番号「09066517000」を入力

■ 伝言メッセージを聞く

1 > ツール > 留守電 > 留守番電話センター > 1416 を入力

伝言再生用番号を入力します。1 度設定をおこなうと次回からこの操作をする必要はありません。

2 待受画面で [1] を 1 秒以上押す

伝言再生用番号 (1416) へ自動的に発信します。

3 ガイダンスに従って操作する

補足 : 待受画面に**新規伝言メッセージが□件あります** と表示された場合は **[再生]** を選択します。

■ 留守番電話サービスを停止する

・ 転送電話サービスの設定を停止するか、転送先から留守番電話サービスセンターの番号を削除します。(「転送電話サービスをすべて停止する」 P.154)

■ 着信お知らせ機能

電波の届かない場所や電源が入っていなかったために受けられなかった着信を、SMS でお知らせします。また、通話中に留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりした場合もお知らせします。

着信お知らせ機能を設定する

1 待受画面から 1414 をダイヤル

2 音声ガイダンスに従って設定

補足 :
一般電話からの設定 :
0906651414 をダイヤルし、音声ガイダンスに従って設定してください。

海外電話からの設定 :
+819066514191 をダイヤルし、音声ガイダンスに従って設定してください。

割込通話サービス (ﾈｯﾄﾜｰｸｻｰﾋﾞｽ)

TV コール中に割込電話を受けることはできません。

注意 : 別途お申し込みが必要です。

> **ツール** > **設定** > **通話** > **割込通話サービス**

割込通話サービスを開始 / 停止する

1 [オプション] > 開始 を選択

- **停止** を選択すると、サービスを停止できます。
- **状態確認** を選択すると、サービスの状況を確認できます。

割込通話を受ける

通話中に、割込通話を知らせる着信音が聞こえたら、次の操作をおこないます。

1 [オプション] > 応答 を選択

最初の通話は保留となり、別の相手からの電話を受けます。
次の応答方法を選択することもできます。

- **拒否する** : 別の相手からの電話を受けずに、そのまま通話します。
- **通話切り替え** : 通話中の相手との電話を切り、「開始キー ( )」を押して別の相手からの電話を受けることができます。

2 [切替] を押す

- 割込通話中に通話相手を切り替えます。

3 を押す

- 通話中の電話を切ります。
- すべての通話を切断する場合は、**[オプション]** > **すべての通話終了**を選択します。

多者通話サービス

TV コールで多者通話サービスを利用することはできません。

注意 : 別途お申し込みが必要です。

通話中に別の相手へ電話をかける

1 通話中に、[オプション] > 電話をかける を選択し、別の通話相手へ電話をかける

最初の通話は自動的に保留となります。

相手を切り替えながら通話する

1 [切替] を押す

[切替] を押すたびに通話が切り替わります。

複数で同時に通話する

お客様を含め最大 6 名まで、同時に通話をおこなうことができます。

1 **通話中に、[オプション] > 電話をかける > 別の電話番号入力**

相手先が電話を受けます。

2 **[オプション] > 多者通話 を選択**

3者で多者通話が開始されます。

- さらに参加者を追加するには、操作 1 の次に、[オプション] > 多者通話 > 参加者追加 を選択してください。

多者通話中に個別に通話をおこなう

1 **[オプション] > 多者通話 > 個別通話 を選択**

2 **通話相手を選択し、個別通話 を押す**

指定した通話相手と個別通話が開始されます。

- 残りの通話者での多者通話はそのまま継続されます。

3 **多者通話に戻る場合は、[オプション] > 多者通話 を選択**

多者通話中に個別に通話を終了する

1 **[オプション] > 多者通話 > 参加者削除 > 通話相手を選択 > [削除] の順に選択**

多者通話を終了する

1 **を押す**

発着信規制サービス

サービスをご利用する場合は、発着信規制パスワード (発着信規制用暗証番号) が必要になります。発着信規制パスワードとは、ご契約時にお決めいただいた４桁の暗証番号です。(「発着信規制用暗証番号」P.31)

注意 : 発着信規制と転送電話サービスは同時に使用できません。

> **ツール** > **設定** > **発着信規制**

発着信規制を設定する

1 **設定する項目を選択**

- **発信規制** - 海外の緊急電話番号を除くすべての電話をかけられないようにします。
- **国際発信規制 (すべて)** - 滞在国以外への国際電話をかけられないようにします。
- **国際発信規制 (自国以外)** - 滞在国と日本以外への国際電話をかけられないようにします。
- **着信規制** - すべての電話を受けられないようにします。

- **海外滞在中着信規制** - 日本以外で電話を受けられないようにします。

2 [オプション] > 開始 を選択

- **状態確認** を選択すると、サービスの状況を確認できます。
- **停止** を選択すると、サービスを停止できます。

3 発着信規制パスワードを入力

注意 : 発着信規制が使用中であっても、本機にプログラムされた海外公認の緊急電話番号には電話できる場合があります。本機では、キーガードが設定されている状態で、110、118、119 への緊急通報ができません。この場合は、設定を解除し、「緊急通報」(P.214) を参照して電話をかけてください。

■ 発着信規制をすべて停止する

1 [オプション] > 全発着信規制を停止 を選択

■ 発着信規制パスワードを変更する

1 [オプション] > 規制パスワード編集 を選択

2 現在のパスワードを入力

3 新規パスワードを入力

4 確認のため、新規パスワードを再度入力

発信者番号通知

> **ツール** > **設定** > **通話** > **発信者番号通知**

1 [オプション] > 変更 を選択

- **はい** を選択すると、通話相手に電話番号を通知します。
- **いいえ**を選択すると、電話番号が非通知となります。
- **契約時ﾃﾞﾌｫﾙﾄ設定** を選択すると、携帯電話事業者による設定が有効となります。

メール

メール では、SMS や MMS、E-mail、データを含むメールを作成、送受信、フォルダで整理することができます。 また、Bluetooth 接続や赤外線通信を利用してメールやデータを受信することもできます。

MMS を送信した際には、受信した側によっては表示が異なる場合があります。

注意 : 次の機能は、日本国内ではご利用いただけません。

- データが含まれた特別な SMS の作成
- サービスメッセージや情報メッセージの受信
- サービスコマンドの送信

メール受信

■ 新着メールの確認

メールを受信すると、待受画面に **新着メッセージがあります□件** のメッセージと、右上に「✉」が表示されます。

1 [表示] を押し、受信したメールを表示

- **受信メール** を表示するには、◉ を押します。
- 続きのある MMS の受信をする場合は、「MMS の続きを受信する」(P.160) を参照してください。

2 [戻る] を押す

受信メール が表示されます。

補足 : メモリの上限まで受信すると、画面右上の「」が点滅表示になり、メモリ不足のメッセージが表示され、それ以降の新着メールは受信できません。不要なメールを削除し、再度受信の操作をおこなってください。(「メモリ不足を解消する」P.109)

アイコン

「」- 未読の SMS

「」- MMS 通知

「」- 未読の MMS

「」- 赤外線通信で受信したデータ

「」- Bluetooth 接続で受信したデータ

サブ画面でメールを確認する

カバーディスプレイを閉じているときに、メールを受信した場合、サブ画面にアイコンが表示されます。

アイコン

「」- SMS / MMS 受信

「」- E-mail 受信

MMS の続きを受信する

MMS が MMS センター (マルチメディアメッセージサービスセンター) に届くと、MMS 通知 (メールの 1 部) がお客様に送信されます。

MMS を自動的に受信するには、**メール** > **[オプション]** > **設定** > **MMS** > **MMS 受信** を選択し、**常時自動** を選択します。

> **メール** > **受信メール**

1 MMS 通知を選択し、 を押す

MMS 通知メールには、「」が表示されます。

2 [オプション] > 受信 を選択

- メールの取得が開始されます。取得が終わると、受信したメールが表示されます。MMS 通知は**受信メール** から削除され、アイコンが「」に変わります。
- MMS にファイルが添付されている場合、ファイルの種類によって、次のアイコンが表示されます。
  - 「」- サウンドファイル
  - 「」- ビデオファイル

画像ファイルが添付されている場合、その画像が表示されます。サウンドファイルやビデオファイルを再生する場合は、アイコンを選択し、 を押します。

- MMS にプレゼンテーションが添付されている場合、「 」が表示されます。プレゼンテーションを再生する場合は、アイコンを選択し、 を押します。
- MMS に添付リストが含まれている場合は、**[オプション]** > **添付リスト** を選択します。

重要 : MMS のオブジェクトには、ウィルスが含まれている場合があります。ウィルスが含まれている場合、本機、または他の PC で障害が発生する可能性があります。信頼のおける送信者かどうかわからない場合、添付ファイルを開かないでください。

受信したメールを利用する

> **メール** > **受信メール**

返信する

1 受信したメールを選択

2 [オプション] > 返信 を選択

(「メールの返信」P.166)

転送する

1 受信したメールを選択

2 [オプション] > 転送 を選択

(「メールの転送」P.166)

送信者に電話をかける

1 受信したメールを選択

2 [オプション] > 電話をかける を選択

MMS 通知

MMS センターに接続し、MMS センターにあるメールの状態を確認できます。

1 > メール > 受信メール > [オプション] > MMS 通知リスト を選択

2 [オプション] を押す

次のオプションを設定することができます。

開く - MMS 通知を開きます。

受信 - 選択したメッセージの受信、またはサーバにある受信したすべてのメッセージを本機に受信します。

削除 - 通知とそれに該当するメッセージをサーバから削除します。

リスト更新 - 本機の MMS 通知リストが、サーバにあるマルチメディアメッセージの現在の状態に更新されます。

サーバ詳細 - 通知リストが最後に更新された日付と、サーバにあるマルチメディアメッセージのメモリ使用量が確認できます。

並べ替え - 通知を受信日、送信者、または件名などで並べ替えることができます。

表示されるオプションは変わることがあります。

メール送信

送信できる MMS のサイズは、添付ファイルとメッセージ本文などを合わせて最大 300 kB です。添付したファイルが制限を越える場合、送信可能なサイズに縮小されることがあります。

メールを送信中は、画面右上に「 」が表示されます。送信が完了すると画面から「 」が消えます。

■ メールの作成方法

> **メール** > **新規メール作成**

SMS を作成する

1 メールの種類から、SMS を選択

2 宛先 を選択し、 を押す

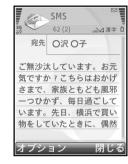
- 電話帳が開き、あらかじめ登録されている受信者の名前やグループを選択することができます。または、受信者の電話番号を直接入力することもできます。
- 複数の受信者を入力する場合は、 を押し、セミコロンで区切ります。
- クリップボードにコピーされた電話番号を、貼り付けて入力することもできます。

3 メール本文を入力

- 定型文を使用するには、**[オプション]** > **挿入** > **定型文** の順に選択します。

4 SMS を送信

[オプション] > **送信** を選択

を押して、送信することもできます。

注意：本機は、送信時にメールの文字数制限（全角 70 文字）を超えた場合に対応することができます。長いメールは、2 つ以上のメールに分割して送信されます。その場合、携帯電話事業者は送信メール数に応じて、料金を請求することがあります。アクセント記号やマーク記号、他言語の文字によっては、文字数のカウントが通常より多く必要となります。画面上部に、入力可能なメールの文字数が表示されます。例えば、10 (2) と表示された場合は、2 つに分割されたメールに対して、あと10文字追加して送信することができます。

MMS を作成する

1 メールの種類から、MMS を選択

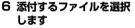
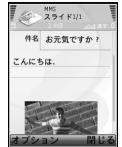
2 宛先 を選択し、受信者を入力

- 宛先として **CC** や **BCC** を追加するには、**[オプション]** > **宛先フィールド** を選択します。
- 電話帳から E-mail アドレスを呼び出して入力できます。

3 件名 に件名を入力

4 メール本文を入力

5 ファイルを添付するには、[オプション] > ファイル添付 > 画像、サウンドクリップ、ビデオクリップ の順に選択

ギャラリーのフォルダが表示されます。

6 添付するファイルを選択します

- サウンドファイルが追加された場合、「」が表示されます。
- MMS に添付するファイルを新規作成するには、**[オプション]** > **添付ファイル作成** > **画像**、**サウンドクリップ**、**ビデオクリップ** の順に選択します
- **画像**、**ビデオクリップ** を新規作成する場合は、カメラが起動します。**サウンドクリップ** を新規作成する場合は、**音声メモ** が起動します。
- 作成した MMS をプレビューする場合は、**[オプション]** > **プレビュー** を選択します。
- スライドを作成する場合は、**スライド** を選択します。
- プレゼンテーションを作成し、MMS に追加する場合には、**[オプション]** > **ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ作成**を選択します。

- プレゼンテーションは、画像、ビデオ、サウンド、テキストファイルを組み合わせ、MMS として送信することができます。
- **MMS 作成モード** が、**確認メッセージ付き** または**制約なし** に設定されている必要があります。(「MMS 設定」P.171)

7 [オプション] > 送信 を選択

を押して、送信することもできます。

MMS で、MP4 形式のビデオファイルを送信することはできません。送信可能なビデオファイル形式については、「ビデオ設定」(P.72) を参照してください。

E-mail を作成する

1 メールの種類から、E-mail を選択

E-mail アカウントの設定がされていない場合は、設定を要求するメッセージが表示されます。(「メールボックスを開く」P.168)

2 宛先 を選択し、受信者を入力

- 宛先として **CC** や **BCC** を追加するには、**[オプション]** > **宛先フィールド** を選択します。

3 件名 に件名を入力

4 メール本文を入力

5 ファイルを添付するには、[オプション] > 挿入 > 画像、サウンドクリップ、ビデオクリップ、ノート、定型文 の順に選択

- E-mail に添付ファイルが追加されると、画面上部に「 」が表示されます。

補足 : メールアプリケーションで対応している以外の種類のファイルを添付ファイルとして送信する場合は、そのファイルに対応するアプリケーションを開き、ファイルを選択し、**送信** > **E-mail** を選択します。(機能が対応している場合)

6 [オプション] > 送信 を選択

を押して、送信することもできます。

注意 : E-mail は、送信前に自動的に未送信メール に保存されます。送信が失敗した場合は、「失敗」が表示され、**未送信メール** に保存されたままとなります。

■ 送信オプション設定

> **メール** > **新規メール作成**

1 メールを作成

(「メールの作成方法」P.162)

2 [オプション] > 送信オプション を選択

配信レポート受信、**メッセージ有効期間** などを設定します。(「SMS 設定」P.170)、(「MMS 設定」P.171)

作成したメールを下書きに保存する

> **メール** > **新規メール作成**

1 メールを作成

(「メールの作成方法」P.162)

2 メール作成画面で、[閉じる] を押す

3 下書きに保存 を選択

作成途中のメールは**下書き**フォルダに保存されます。

メールフォルダ

> **メール**

メールフォルダの種類と役割

メールフォルダには、次のような種類と役割があります。

- **受信メール**「 」- 受信したメールが保存されます。E-mail は **メールボックス**に保存されます。
- **マイフォルダ**「 」- フォルダの新規作成、フォルダの名前変更および削除が可能です。

補足：繰り返し使用するメール本文を**定型文** フォルダに保存し、テンプレートとして使用することができます。

- **メールボックス**「 」- リモートメールボックスに接続して、新着 E-mail を取得することができます。また、以前取得した E-mail をオフラインで表示することができます。(「E-mail クライアント設定」P.172)
- **下書き**「 」- 送信前の下書きメールが保存されます。
- **送信済みメール**「 」- 送信済みメールが最大 20 件まで保存されます。Bluetooth 接続や赤外線通信を使用して送信されたメールは保存されません。メールの保存件数を変更する場合は、「その他」(P.175) を参照してください。
- **未送信メール**「 」- 送信待ちのメールが、一時的に保存されます。

補足：ネットワーク圏外の場合、メールは**未送信メール** に一時的に保存されます。E-mail をリモートメールボックスへ送信する場合は、**直ちに送信** するか**次回接続時**を選択することができます。(「ユーザ設定」P.173)

- **配信レポート**「 」(ネットワークサービス) - 携帯電話事業者からの SMS と MMS の配信レポートを受信することができます。E-mail アドレスへ送信された MMS の配信レポートを受信することはできません。

補足：いずれかのフォルダを開いた状態で または を押すと、フォルダを切り替えることができます。

メールの内容確認

1 フォルダからメールを選択し、 を押す

2 [戻る] または [閉じる] を押す

フォルダ管理

メールを他のフォルダに移動する

> メール

1 フォルダからメールを選択し、 を押す

2 [オプション] > フォルダへ移動 を選択

3 フォルダを選択し、 を押す

メールの返信

1 フォルダからメールを選択し、 を押す

2 [オプション] > 返信 でメールの種類を選択

3 返信メールの本文を作成

4 [オプション] > 送信 を選択

メールの転送

1 フォルダからメールを選択し、 を押す

2 [オプション] > 転送 でメールの種類を選択

3 転送先を入力

4 転送メールの本文を作成

5 [オプション] > 送信 を選択

下書きからのメール送信

1 下書き を選択

2 メールを選択し、 を押す

3 宛先入力、または確認

4 [オプション] > 送信 を選択

メールの削除

メールを指定して削除する

1 メールを選択し、[オプション] > 削除 を選択

- C を押して削除することもできます。
- 複数のメールを一度に削除する場合は、 を押しながら を押し、マークをつけてから削除します。
- フォルダ内のメールをすべて削除する場合は、**[オプション]** > **マーク / マーク解除** > **すべてをマーク** の順に選択してから削除します。
- **メールボックス** から E-mail を削除する場合は、「E-mail を削除する」（P.170）を参照してください。

メール内のデータを利用

メールに電話番号や E-mail アドレス、URL が含まれている場合、その画面から電話をかけたり、メールを送信したり、ウェブに接続することができます。利用できる電話番号、E-mail アドレス、URL は青でハイライト表示されます。

電話帳に登録する

1 メールを選択し、(●) を押す

2 [オプション] > 電話帳へ登録 を選択

3 新規登録 または 既存電話帳へ追加 を選択

新規電話帳登録画面、または電話帳リストが表示されます。(「電話帳の登録」P.42)

電話をかける / メール送信 / ウェブ接続をおこなう

1 メールを選択し、(●) を押す

電話 / テレビ電話をかける

- 電話番号を選択し、(●) を押します。(「電話をかける」P.34、「TV コールをかける」P.60)

メールを返信する

- 電話番号、またはアドレスを選び、(●) 押します。返信 または 転送 を選択することができます。

ウェブにアクセスする

- URL を選び、(●) を押します。(「ウェブにアクセスする」P.177)

添付ファイルの利用

データフォルダに保存する

1 メールを選択し、(●) を押す

2 [オプション] > 添付リスト を選択

E-mail の場合は、添付ファイル を選択します。

3 [オプション] > 保存 を選択

保存するファイルの種類に応じて、適切なアプリケーションに保存されます。

- 壁紙に設定する場合は、[オプション] > 添付リスト > 画像ファイル選択 > [オプション] > 壁紙に設定 の順に選択します。

リモートメールボックスを利用した E-mail 送受信

- メールボックス が設定されていない状態で、メール からメールボックス を選択すると、メールボックス設定を要求するメッセージが表示されます。[はい] を押すと、メールボックスウィザードが起動するので、[開始] を押して設定を行います。「E-mail クライアント設定」(P.172) または、ノキアジャパンのウェブサイト http://www.nokia.co.jp/phones/n71/settei.php を参照してください。

- 新しいメールボックスを作成すると、**メール** のフォルダリストの**メールボックス**が、作成したメールボックスの名前で上書きされます。最大 6 つのメールボックスを作成できます。

メールボックスを開く

すでに取得している E-mail とヘッダーをオフラインで表示するか、または E-mail サーバに接続するかを選択できます。

1 メールボックスを選択し、 を押す

メッセージが表示されます。

2 [はい] を押す

- リモートメールボックスに接続し、新着 E-mail のヘッダーと本文を取得します。メールをオンラインで表示する場合、パケットデータ接続により、リモートメールボックスに継続的に接続されます。(「接続設定」P.136)

- メールボックスに接続中は、フォルダリストのメールボックス名に「 」が表示されます。
- **ヘッダー受信** を **常に有効** に設定した場合、フォルダリストのメールボックス名に「 」が表示されます。(「自動受信」P.174)
- 設定によっては、通信費が高くなる場合があります。
- **[いいえ]** を押した場合は、すでに取得した E-mail をオフラインで表示します。E-mail をオフラインで表示する場合、本機は、リモートメールボックスに接続されません。

E-mail を取得する

重要： E-mail には、ウィルスが含まれていることがあります。ウィルスが含まれている場合、本機または他の PC で障害が発生する可能性があります。信頼のおける送信者かどうかわからない場合、添付ファイルを開かないでください。

アイコン

- 「 」- 新着 E-mail(オンライン / オフライン)
- 「 」- 取得済み新着 E-mail
- 「 」- 取得されていない既読 E-mail
- 「 」- 既読 E-mail
- 「 」- メッセージ本文が本機から削除済みの E-mail
- 「 」- 添付ファイルのある E-mail
- 「 」- 新着 E-mail(未読 E-mail)
  メールボックスに未読の E-mail がある場合、スクリーンセーバーに表示されます。
  E メールクライアントに新着メールがある場合、画面右上に表示されます。

> **メール** > **メールボックス** >**[オプション]**> **開く**

1 [オプション] > E-mail 受信 を選択

- **新着** - すべての新着 E-mail を取得します。
- **選択したメッセージ** - マークした E-mail のみ取得します。
- **すべて** - メールボックスからすべての E-mail を取得します。

取得を停止する場合は、**[キャンセル]** を押します。

2 [オプション] > 切断 を選択

E-mail 取得後、オフラインで表示します。オンラインにしたまま表示することもできます。

3 E-mail を選択し、 を押す

- 未取得の E-mail をオフラインで選択した場合、E-mail を取得するかどうかメッセージが表示されます。
- E-mail に添付されたファイルを表示する場合は、**[オプション]** > **添付ファイル** を選択します。添付ファイルのアイコンがグレー表示で、添付ファイルがまだ取得されていない場合は、**[オプション]** > **受信** を選択します。
- **[オプション]** > **印刷** を選択し、プリントすることができます。
  この機能は、Bluetooth 接続機能のある Basic Print Profile を使用した場合にご利用できます。

E-mail を削除する

本機から削除する

1 [オプション] > 削除 > 電話機のみ の順に選択

- 本機内の E-mail のヘッダーは、リモートメールボックス内と同じ状態を保つようになっています。メッセージ本文を削除しても、ヘッダーは本機に残ります。
- ヘッダーも削除する場合は、まずリモートメールボックスから E-mail を削除し、次に本機からリモートメールボックスに再度接続して、ステータスを更新する必要があります。

本機とサーバから削除する

1 [オプション] > 削除 > 電話機とサーバ の順に選択

- オフラインの場合、E-mail はまず本機から削除されます。リモートメールボックス内の E-mail は、次回、リモートメールボックスへ接続したときに自動的に削除されます。
- POP3 プロトコルを使用している場合、削除マーク「」の付いた E-mail は、リモートメールボックスへの接続を終了したあとに削除されます。

E-mail の削除を中止する

1「」の E-mail を選択

次回接続時に削除される E-mail に表示されるアイコンです。

2 [オプション] > 削除取消し を選択

リモートメールボックスの接続を切断する

1 [オプション] > 切断 を選択

オンラインの場合、リモートメールボックスへのパケットデータ接続を終了します。

その他の機能

メール設定について

- SMS または MMS のアクセスポイントは、すでにボーダフォンによって設定されています。設定の変更や削除はできません。
- E-mail のアクセスポイントの設定をするには、サービスプロバイダの指示に従ってください。赤色のアスタリスクが表示されている項目はすべて入力が必要です。

SMS 設定

> メール > [オプション] > 設定 > SMS

メッセージセンター - 設定されている SMS センター (ショートメッセージサービスセンター) のリストを表示します。

使用するﾒｯｾｰｼﾞｾﾝﾀｰ - SMS 配信に使用される SMS センターを選択します。

文字エンコード - 他の文字エンコードに変更する場合に使用します。

配信レポート受信 (ネットワークサービス) - 配信レポートを受信する設定ができます。

メッセージ有効期間 (ネットワークサービス) - メール受信者が有効期間内にメールを受信できない場合、このメールは SMS センターから削除されます。この機能は、ネットワークでサポートされている必要があります。**最長有効期間** は、ネットワークで許可されているメールの最長期間です。

送信ﾒｯｾｰｼﾞのﾀｲﾌﾟ - このオプションは、メッセージセンターが SMS をその他の形式に変換できることが確実な場合にのみ送信してください。

注意 : 日本国内ではご利用いただけません。

優先する接続 - SMS 送信時に優先する接続を選択します。**WCDMA または GSM**、および **パケットデータ接続** を利用して送信します。(「接続設定」P.136)

注意 : ボーダフォンから変更のお知らせがないときは、変更しないでください。

同一ｾﾝﾀｰ経由で返信 (ネットワークサービス) - 同一の SMS センター番号で返信メールを送信する場合は、**[はい]** を選択します。

注意 : ボーダフォンから変更のお知らせがないときは、変更しないでください。

■ MMS 設定

> **メール** > **[オプション]** > **設定** > **MMS**

添付画像サイズ - MMS で利用する静止画サイズを設定します。**オリジナル**、**小**、**大** から選択します。**オリジナル** (**MMS 作成モード** が**確認メッセージ付き** または**制約なし** に設定の場合) を選択すると、MMS のサイズが大きくなります。

MMS 作成モード - **確認メッセージ付き** を選択した場合、受信者側電話機でサポートしていないメッセージ形式の送信をすると、確認メッセージが表示されます。**制約あり** を選択すると、サポート対象外のメールが受信者へ送信されないようになります。

使用するｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ - 使用するアクセスポイントを設定します。

注意 : ボーダフォンから変更のお知らせがないときは、変更しないでください。

MMS 受信 - MMS の受信方法を設定します。

- **契約ﾈｯﾄﾜｰｸで自動** を選択すると、契約ネットワーク内では、MMS を自動的に受信します。契約ネットワーク外の場合は、MMS センターに取得できる MMS が受信されていることを知らせる通知が、お客様へ送信されます。
- **常時自動** を選択すると、契約ネットワーク内外にかかわらず、常時、パケットデータ接続を使用して MMS を取得します。
- **手動** を選択すると、MMS が MMS センターに届いたことを、MMS 通知でお知らせします。
- 契約ネットワーク外から MMS の送受信をおこなう場合、通常より料金が加算されることがあります。

匿名ﾒｯｾｰｼﾞ受信許可 - 匿名の送信者からのメールを拒否する場合、**いいえ** を選択します。

注意 : 日本国内ではご利用いただけません。

広告受信 - MMS による広告を受信する設定ができます。

注意 : 日本国内ではご利用いただけません。

配信レポート受信 (ネットワークサービス) - 配信レポートを受信する設定ができます。

注意 : 一般に、E-mail アドレスに送信された MMS の配信レポートを受信することはできません。

配信ﾚﾎﾟｰﾄ送信拒否 - 受信済み MMS の配信レポートを送信しないように設定するには、**はい** を選択します。

注意 : 日本国内ではご利用いただけません。

メッセージ有効期間 (ネットワークサービス) - メール受信者が有効期間内にメールを受信できない場合、このメールは MMS センターから削除されます。この機能は、ネットワークでサポートされている必要があります。**最長有効期間** は、ネットワークで許可されているメールの最長期間です。

■ E-mail クライアント設定

お客様が契約されたサービスプロバイダの E-mail 設定につきましては、ボーダフォンでは責任を負いかねます。詳細については、「E-mail クライアントについてのご注意」(P.189) を参照してください。また、ノキアジャパンのウェブサイト http://www. nokia.co.jp/phones/n71/settei.php も併せてご確認ください。

> **メール** > **[オプション]** > **設定** > **E-mail**

メールボックス - メールボックスを選択し、次の設定をおこないます。

- **接続設定**

- **ユーザ設定**
- **受信設定**
- **自動受信**

使用するﾒｰﾙﾎﾞｯｸｽ - E-mail の送受信に使用するメールボックスを選択します。

新規メールボックスを作成する場合は、**メールボックス** > **[オプション]** > **新規メールボックス** を選択します。メールボックス設定ウィザードが起動します。

接続設定

受信 E-mail サーバ の設定

- **ユーザ名** - サービスプロバイダから取得したユーザ名を入力します。
- **パスワード** - パスワードを入力します。この項目を空白にしておくと、リモートメールボックスへの接続がおこなわれるたびにパスワードの入力を要求されます。
- **受信メールサーバ** - 受信メールサーバの IP アドレスまたはホスト名を入力します。
- **使用するｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ** - インターネットアクセスポイント (IAP) を設定します。(「接続設定」P.136)
- **メールボックス名** - メールボックス名を入力します。
- **ﾒｰﾙﾎﾞｯｸｽﾀｲﾌﾟ** - リモートメールボックスのサービスプロバイダが推奨するメールボックスタイプを **POP3** または **IMAP4** から選択します。これはメールボックスの新規作成時のみ設定できます。一旦、設定を保存または終了すると、再度変更することはできません。**POP3** を選択した場合、接続中に E-mail が自動更新されることはありません。新着 E-mail を受信する場合は、一旦、接続を切断してから、リモートメールボックスに再接続する必要があります。
- **ｾｷｭﾘﾃｨ (ﾎﾟｰﾄ)** - リモートメールボックスへの接続を保護することができます。
- **ポート** - ポートを設定します。
- **APOP 安全ログイン** (POP3 の場合) - リモートメールボックスへの接続時にサーバへ送信するパスワードを暗号化します。

送信 E-mail サーバ の設定

- **自分の E-mail ｱﾄﾞﾚｽ** - サービスプロバイダから取得した E-mail アドレスを入力します。相手からの返信メールは、このアドレスに送信されます。
- **送信メールサーバ** - 送信メールサーバの IP アドレスまたはホスト名を入力します。詳細については、ご契約されているサービスプロバイダにお問い合わせください。
- **使用するｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ** - インターネットアクセスポイント (IAP) を設定します。(「接続設定」P.136)
- **ユーザ名**、**パスワード**、**ｾｷｭﾘﾃｨ (ﾎﾟｰﾄ)**、**ポート** の設定は、(「受信 E-mail サーバ の設定」P.173) を参照してください。

ユーザ設定

自分の名前 - お客様の名前を入力します。設定しておくと、入力した名前が E-mail アドレスの代わりに、E-

mail 受信者の電話機に表示されます。E-mail 受信者の電話機がこの機能をサポートしている必要があります。

メッセージ送信 - E-mail の送信方法を設定します。**直ちに送信** を選択すると、**メッセージ送信** を選択した場合、E-mail は直ちに送信されます。**次回接続時** を選択すると、E-mail は次回リモートメールボックスへ接続された場合に送信されます。

自分にコピー送信 - **はい** を選択すると、リモートメールボックスと**自分の E-mail ｱﾄﾞﾚｽ** で指定されたアドレスに、E-mail のコピーを保存します。

署名添付 - E-mail に署名を設定することができます。

新着 E-mail の通知 - 本機に新着 E-mail を受信すると、通知されます。

受信設定

受信する E-mail - E-mail の受信方法を設定します。**ヘッダーのみ**、**サイズ制限**、**ﾒｯｾｰｼﾞと添付ﾌｧｲﾙ** のいずれかを選択します。(POP3 の場合)(IMAP4 の場合は、**ヘッダーのみ** 選択できます。)

受信件数 - 受信する E-mail 数を設定します。

IMAP4 フォルダパス (IMAP4 の場合) - フォルダパスを設定します。

フォルダ登録 (IMAP4 の場合) - リモートメールボックス内の他のフォルダを登録し、コンテンツを受信できるよう設定します。

自動受信

ヘッダー受信 - 新着 E-mail を自動的に受信します。E-mail を受信するタイミングと頻度を設定します。

- この機能がオンになっている場合は、メールボックス名の右側に「 」が表示され、メッセージが自動的に取得されます。
- 設定によっては、通信費が高くなる場合があります。

リモートメールボックスのアクセスポイントを手動で設定する

個別の E-mail アカウントを持っている必要があります。リモートメールボックスとインターネットサービスプロバイダ (ISP) の指示に従って、設定してください。

サービスプロバイダによっては、設定を送信するサービスを提供している場合があります。

1 **> ツール > 設定 > 接続 > アクセスポイント の順に選択**

アクセスポイント (IAP) の詳しい設定方法については、「接続設定」(P.136) を参照します。

2 **> メール > [オプション] > 設定 > E-mail > メールボックス の順に選択**

メールボックス が設定されていない状態で、**メール** から **メールボックス** を選択すると、設定を要求するメッセージが表示されます。メールボックス設定

ウィザードを利用して、設定をおこなう場合は、**[開始]** を押します。

サービスメッセージ

> **メール** > **[オプション]** > **設定** > **サービス メッセージ**

サービスメッセージの受信を設定することができます。自動的にブラウザを起動し、ネットワークに接続してサービスメッセージのコンテンツを受信する場合は、**ﾒｯｾｰｼﾞﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ** > **自動** を選択します。

USIM カードに保存されたメールを表示する

USIM カードに保存されているメッセージを表示するには、そのメッセージを本機内のフォルダにコピーする必要があります。

1. > **メール** > **[オプション]** > **SIM に保存されたﾒｰﾙ** の順に選択
2. 表示するメッセージ > **[オプション]** > **マーク / マーク解除** > **マーク** または **すべてをマーク** の順に選択
3. **[オプション]** > **コピー** を選択

   保存先が表示されます。
4. 保存先を選択し、**[OK]** を押す
5. 保存先のフォルダを開き、表示するメッセージを選択

情報メッセージ

> **メール** > **[オプション]** > **設定** > **情報メッセージ**

トピックとそのトピック番号についてサービスプロバイダに確認し、設定を変更します。

受信 - 情報メッセージ受信の設定をおこないます。

言語 - **すべて** では、すべてのサポート対象言語で情報メッセージを取得できます。**選択** では、情報メッセージを取得する言語を選択できます。希望する言語がない場合は、**その他** を選択します。

トピック検出 - 自動的に新しいトピック番号を検索し、名前のない新しい番号がトピックリストに保存されます。

その他

> **メール** > **[オプション]** > **設定** > **その他**

送信済みﾒｯｾｰｼﾞ保存 - **はい** を選択すると、送信したメール (SMS、MMS、E-mail) のコピーを **送信済みメール** フォルダに保存することができます。

保存メッセージ数 - **送信済みメール** フォルダに保存できるメール数を設定します。デフォルトで設定されて

いるメール保存数は、20 件です。保存メール数が最大数に達したら、古いメールから順に削除されます。

使用するメモリ - メモリカードが挿入されている場合、メールの保存先を **電話機メモリ** または**メモリカード**から選択することができます。

■ メールで受信できるデータ

本機では、Bluetooth、赤外線通信、SMS などでさまざまなデータやメッセージを受信できます。

ビジネスカードを保存する

- **[オプション]** > **ビジネスカード保存** を選択
  ビジネスカードに添付された証明書またはサウンドファイルは保存されません。

  補足 : 画像ファイルが添付されたビジネスカードを受信した場合、画像は電話帳に保存されます。

カレンダーエントリを保存する

- **[オプション]** > **カレンダーに保存** を選択

インターネットメッセージを保存する

- **[オプション]** > **ブックマークへ追加** を選択
  メッセージにアクセスポイント設定とブックマークの両方が保存されている場合、データを保存するには、**[オプション]** > **すべて保存** を選択します。

ウェブ

ウェブの基本操作

■ ウェブをご利用になる前に

ウェブとは、Vodafone live! を利用したインターネット接続サービスです。ボーダフォン携帯電話だけで、いろいろなコンテンツにアクセスしたり、情報検索や、画像 / サウンドの取得などが行えます。

さまざまなサービスプロバイダが、携帯電話用ホームページを提供しています。これらのページは、WML (Wireless Markup Language)、XHTML (Extensible Hypertext Markup Language)、または HTML (Hypertext Markup Language) で作成されています。

利用可能なサービス、料金については、「3G ガイドブック」を参照してください。

補足： 接続を開始するには、待受画面で [0わ] を長く押します。

■ ウェブにアクセスする

メニューからアクセスする

1 **> ウェブ を選択**

- サーバに接続する必要がある場合は、接続します。

2 **ブックマーク、またはコンテンツメニューからサイトにアクセスする**

選択したウェブページが表示されます。

3 **確認したい項目を選択**

URL を入力してアクセスする

1 **> ウェブ を選択**

ブックマーク画面が表示されます。

2 **アドレスフィールドに URL を入力**

入力した URL のウェブページが表示されます。

■ ウェブページの操作のしかた

ウェブページでは、まだ参照していないリンクは青の下線で、リンクとして機能する画像は、周囲に青の枠線が表示されます。

ウェブ画面表示中に または を押すと画面をスクロールできます。

補足： ページの末尾に移動する場合は [文字マナー #] を押し、ページの先頭へ移動する場合は [*+記号] を押します。

ブラウズ中に前のページに移動する

1 [戻る] を選択

- [戻る] を使用できない場合は、[オプション] > ナビゲーション > 履歴 の順に選択し、ブラウズ中にアクセスしたページのリストを表示し、選択します。
- 履歴リストは、ウェブページを終了するたびにクリアされます。

新しい URL を入力する

1 [オプション] > ナビゲーション > URL 入力 の順に選択

画面下部に URL が表示されます。

2 URL を入力し、[開く] を押す

ブラウズ中にコマンドのサブリストを開く

このオプションはサイトによっては表示されない場合があります。

1 [オプション] > サービスオプション を選択

アイテムをダウンロードする

1 リンクを選択し、◉ を押す

- ウェブページにリンクされているファイル (着信音、静止画、テーマ、ビデオファイルなど) をダウンロードすることができます。
- ダウンロードを開始すると、表示しているウェブページに、ダウンロード詳細画面が表示されます。
- ダウンロードの状況を示すリストが表示されます。
- リストのアイテムを選択し、[オプション] を押し、ダウンロードの中止、再開、キャンセルや、ダウンロードの完了したアイテムを開く、保存、削除などができます。

サイトによっては、リンクを選択した状態で [オプション] > ツール > ダウンロード の順に選択してダウンロードを開始できます。

ダウンロードしたファイルにコンテンツキーが含まれている場合があります。(「著作権管理」P.141)

著作権により保護されているコンテンツ (画像、着信音など) のコピー、編集、および転送は禁止されています。

重要 : 有害ソフトウェア対策が講じられている、安全な提供元からのアプリケーションだけをインストールしてください。

ブラウザを閉じる

1 [オプション] > 終了 を選択

オフラインでページをみる

1 [オプション] > 詳細オプション > 切断 の順に選択

設定を手動で入力する

アクセスポイントを設定します。(「接続設定」P.136) サービスプロバイダからの指示に従って、設定してください。

1 > **ツール** > **設定** > **接続** > **アクセスポイント** の順に選択

2 > **ウェブ** > **[オプション]** > **設定** > **アクセスポイント**の順に選択

定義したアクセスポイントをデフォルトアクセスポイントとして設定します。

情報の利用

■ 画像ファイルの利用

ギャラリーに保存する

1 ウェブページを表示

2 [オプション] > ツール > 画像表示 を選択

画面下部に保存する画面が表示されます。

3 [OK] を押す

選択した画面が表示されます。

4 [オプション] > 保存 を選択

- メモリカードが挿入されている場合、保存先を選択するメッセージが表示されます。
- 画像は **ギャラリー** に保存されます。

壁紙に登録する

1 ウェブページを表示

2 [オプション] > ツール > 画像表示 を選択

画面下部に保存する画像のサムネイル画像が表示されます。

3 [OK] を押す

選択した画像が表示されます。

4 [オプション] > 壁紙に設定 を選択

サウンドファイルの利用

サウンドを再生する

詳細については、「音楽ファイルを再生する」(P.95) を参照してください。

ギャラリーに保存する

1 ウェブページを表示

2 ウェブページに表示されるダウンロードの手順に従って操作

サウンドファイルは、ｷﾞｬﾗﾘｰ に保存されます。

ページ保存

よく利用するウェブページを保存しておくと、あとでインターネットに接続しなくても簡単にアクセスすることができます。

1 ウェブページを表示

2 [オプション] > 詳細オプション > ページ保存 の順に選択

- ウェブページは、電話機メモリに保存され、メモリカードには保存できませんが、オフラインで保存ページをみることができます。
- ブックマーク表示で、を押し、保存ページ で保存したページを見ることができます。

3 ページ名を入力または確認し、 を押す

ブックマーク

よく利用するウェブページの URL をブックマークに登録しておくと、簡単な操作でアクセスできます。

ノキアと関連のないサイトへのブックマークが設定されていることがあります。ノキアはこれらのサイトに対する保証や、承認は行っておりません。これらのサイトにアクセスする場合は、セキュリティやコンテンツについて、他のインターネットサイトの場合と同様の注意を払ってください。

アイコン

「 」- デフォルトアクセスポイントに設定されたホームページ

ウェブページからブックマークを保存する

1 ウェブページを表示する

2 [オプション] > ﾌﾞｯｸﾏｰｸとして保存 を選択

補足 : ウェブページからブックマーク画面へ移動する場合は、 を長く押します。ウェブページへ戻る場合は、[オプション] > ブラウザに戻る を選択します。

3 ブックマーク名を入力し、[OK] を押す

ブックマーク画面からブックマークを保存する

1 ブックマーク画面を表示する

2 [オプション] > ブックマーク管理 > ブックマーク追加の順に選択

3 各項目を入力

URL は、必須項目です。デフォルトアクセスポイントがブックマークにまだ登録されていない場合は、登録されます。[*+記号]を押して、/、.、: および @ などの特殊文字を入力します。文字を削除するには、C を押します。

4 [オプション] > [保存] の順に選択

ブックマークから接続する

1 > ウェブ を選択

ブックマーク画面が表示されます。

2 ブックマークを選択

- サーバに接続する必要がある場合は、接続します。
- 選択したウェブページが表示されます。

ブックマークを送信する

1 該当するブックマークを選択

2 [オプション] > 送信 > SMS の順に選択

ブックマークを削除する

1 該当するブックマークを選択

2 [オプション] > ブックマーク管理 > 削除 の順に選択

登録内容を編集する

1 該当するブックマークを選択

2 [オプション] > ブックマーク管理 > 編集 の順に選択

名前、アドレス、アクセスポイント、ユーザ名、パスワード を変更することができます。

■ ホームページ

> **ウェブ**

1 [オプション] > 設定 > ホームページ の順に選択

2 デフォルト、ユーザ定義、ブックマーク、現在のページ から選択

■ 情報表示中の各種設定

> **ウェブ**

文字や画像の表示サイズを設定する

1 [オプション] > 設定 > フォントサイズの順に選択

2 最大、大、標準、小、最小 からフォントサイズを選択

文字タイプを変更する

画面の文字が正しく表示されないときに、エンコードを変更して再表示することができます。

1 **ブックマーク表示またはウェブページを表示**

2 **[オプション] > 設定 > ﾃﾞﾌｫﾙﾄｴﾝｺｰﾄﾞ の順に選択**

3 **リストから設定するエンコードを選択**

最新の情報に更新 / 再取得する

1 **ウェブページを表示する**

2 **[オプション] > ナビゲーション > 再読み込みの順に選択**

ウェブページ内の URL を検索する

表示したページ内にある、電話番号、E-mail アドレス、URL を検索することができます。

1 **ウェブページを表示する**

2 **[オプション] > 検索 > 電話番号、E-mail アドレス または URL を選択**

- 検索の結果、見つからない場合は、**一致する項目が見つかりません** が表示されます。
- ウェブページ内の 5 桁〜 20 桁の数字は、**電話番号** として検索されます。

プロパティ (情報の詳細) を表示する

表示しているウェブページの詳細を表示します。

1 **ウェブページを表示**

2 **[オプション] > 詳細 > を押す**

3 **表示する詳細情報を選択し、 を押す**

- **ページ情報** - URL アドレスを表示します。
- **セッション** - セッションの詳細を表示します。
- **セキュリティ** - 接続のセキュリティを表示します。

証明書を表示する

本機にあらかじめ登録されている証明書を確認することができます。詳細は、「証明書管理」(P.131) を参照してください。

アイテムをダウンロードして購入する

着信音、静止画、テーマ、ビデオクリップなどのアイテムをダウンロードできます。これらのアイテムには、無料と有料のものがあります。ダウンロードした各種アイテムは、本機のそれぞれ対応するアプリケーションに保存されます。例えば、写真をダウンロードすると、**ギャラリー** に保存されます。

重要 : 有害ソフトウェア対策が講じられている、安全な提供元からのアプリケーションだけをインストールしてください。

1 **リンクを選択し、 を押す**

2 **「購入」などの該当するオプションを選択**

3 **表示事項を注意深く読む**

ダウンロードをキャンセルする場合は、**[キャンセル]** を押します。

ボーダフォンは、Vodafone live! よりダウンロードしたコンテンツ以外は、保証いたしません。

その他の機能

画像や音声の取得設定

ウェブページに含まれる画像や音声を表示せずに文字情報のみを取得するように設定し、受信完了までの時間を短縮することができます。

1 > **ウェブ** > **[オプション]** > **設定** > **画像と音声のロード** の順に選択

2 **画像と音声を表示する場合は、オン を選択、表示しない場合は、オフ を選択**

セキュリティの設定

警告画面を表示する

1 > **ウェブ** > **[オプション]** > **設定** > **セキュリティ警告** 順に選択

2 **セキュリティ警告を表示する場合は、表示 を選択、表示しない場合は、非表示 を選択**

ユーザ ID を通知する

「ウェブ設定 - シリアル番号送信」(P.185) を参照してください。

SSL/TLS 証明書を確認する

接続中にセキュリティマーク「」が表示されると、本機とインターネットゲートウェイまたはサーバ間のデータ伝送は暗号化されます。

セキュリティアイコンが表示されていても、ゲートウェイサーバとコンテンツサーバ（または要求リソースの格納場所）間のデータ伝送が安全であるとは限りません。ゲートウェイとコンテンツサーバ間のデータ伝送のセキュリティは、サービスプロバイダによって確保されます。

セキュリティの詳細を表示する

1 **ネットワーク接続中のウェブページを表示**

2 **[オプション]** > **詳細** > **セキュリティの順に選択**

接続、暗号化の状況、サーバとユーザ認証などについてのセキュリティ情報が表示されます。

セキュリティ機能は、銀行業務などの一部のサービスで必須です。このような接続にはセキュリティ証明書が必要です。詳細についてはサービスプロバイダにお問い合わせください。(「証明書管理」P.131)

ウェブの初期化

キャッシュをクリアする

アクセスした情報やサービスは、本機のキャッシュメモリに保存されます。

キャッシュとは、データを一時的に保存するために使用する場所です。パスワードを必要とする機密情報にアクセスを試みたり、実際にアクセスした場合は、そのたびにキャッシュをクリアしてください。

1 > **ウェブ** > **[オプション]** > **詳細オプション** > **キャッシュをクリア** を選択

完了メッセージが表示されます。

クッキーを削除する

1 > **ウェブ** > **[オプション]** > **詳細オプション** > **クッキー削除** を選択

完了メッセージが表示されます。

ウェブ設定

1 > **ウェブ** > **[オプション]** > **設定**の順に選択

次の設定をすることができます。

アクセスポイント - デフォルトアクセスポイントを設定します。「接続設定」(P.136) を参照してください。

ホームページ - 表示されるホームページを設定します。(「ホームページ」P.181)

画像と音声のロード - ウェブページに含まれる画像やサウンドを自動的に表示する場合に選択します。**オフ**を選択した場合は、ブラウズ中に **[オプション]** > **画像表示**を選択すると画像を表示することができます。(「画像や音声の取得設定」P.183)

フォントサイズ - 文字のサイズを設定します。

ﾃﾞﾌｫﾙﾄｴﾝｺｰﾄﾞ - テキストの文字が適切に表示されない場合は、言語に応じて別の文字エンコードを選択する必要があります。(「文字タイプを変更する」P.182)

自動ブックマーク保存 - 自動的にブックマークを蓄積しない場合は **オフ** を選択します。自動的にブックマークを蓄積し、ブックマーク表示にはフォルダを表示しない場合は、**フォルダ表示なし** を選択します。

画面サイズ - ブラウズ中に表示される画面のサイズを**標準** または**全画面表示**から設定します。

検索ページ - 検索ページとして使用するサイトのURL を設定します。この設定をしておくと、ブラウズ中やブックマーク表示で**ナビゲーション** > **検索ページを開く** を選択すると、設定したサイトが表示されます。

音量 - ウェブ上で再生する音量を設定します。

表示オプション - **携帯画面サイズ** 上に画面レイアウトをできるだけ正確に表示させたい場合は、**画質** を選

択します。外部カスケードスタイルシート (CSS) をダウンロードしない場合は、**速度** を選択します。

クッキー - クッキーの送受信を設定します。

Java/ECMA スクリプト - スクリプトの使用を設定します。

セキュリティ警告 - セキュリティ警告の表示を設定します。(「警告画面を表示する」P.183)

シリアル番号送信 - インターネットサービスから要求されたときに、ユーザ識別情報として本機のシリアル番号を送信するには、**オン** を選択します。

ﾌﾟｯｼｭ信号送信確認 - プッシュ信号送信確認のメッセージ表示の設定をします。(「その他通話中にできること」P.36)

V アプリ

V アプリの基本操作

V アプリをご利用になる前に

V アプリは、V アプリを提供しているウェブページからダウンロードすることができます。

・ 詳しくは、「3G ガイドブック」を参照してください。

ネットワーク接続型 V アプリ

V アプリには、本機だけで動作するものと、利用時にネットワーク (ウェブ) に接続する必要があるものがあります。ネットワーク接続型のゲームを楽しんだり、リアルタイムに情報を入手することができます。

ネットワーク接続型アプリを利用するときは、接続するたびに通信料がかかります。「3G ガイドブック」を参照してください。

V アプリのダウンロード

1 > ウェブ > V アプリを提供しているウェブページを表示

ウェブへの接続方法については、「ウェブ」(P.177) を参照してください。

2 V アプリを選択し、 を押す

3 画面の操作に従って、ダウンロードする

ダウンロードが終了すると、エンタテイメント に保存され、確認画面が表示されます。

ボーダフォンではオンライン証明書の確認サービスをおこなっていないため、ツール > アプリ > [オプション] > 設定 > オンライン証明書確認 は、初期設定（オフ）以外でお使いになると V アプリのダウンロードが正常にできません。初期設定（オフ）のままお使いください。

V アプリの起動

1 > エンタテイメント > ダウンロードした V アプリ の順に選択

- V アプリを選択し、[オプション] を押すと V アプリの起動や移動をおこなうメニューが表示されます。
- V アプリは、オープンポジションでご利用ください。

■ V アプリの管理

詳細情報を確認する

V アプリの詳細情報を確認します。

1 > **ツール** > **アプリ** > **V アプリを選択**

2 **[オプション]** > **詳細情報表示** **を選択**

詳細情報は、**ファイル形式**、**名前**、**バージョン**、**タイプ**、**サイズ**、**供給元**、**状態**、**URL**、**使用するメモリ**、**ドメインカテゴリ** などが表示されます。

V アプリを移動する

> **エンタテイメント** > **ダウンロードした V アプリ**

1 **[オプション]**> **移動** **を選択**

- 選択した V アプリに「✓」がつきます。
- 他のフォルダへ移動する場合は、**フォルダへ移動** を選択します。

2 **メインメニュー内で移動したい場所へカーソルを移動し、[OK] を押す**

V アプリを削除する

1 > **ツール** > **アプリ** > **V アプリ選択**

2 **[オプション]** > **削除** **を選択**

付録

メモリ容量

詳細については、本書「メモリ不足を解消する」(P.109) をご確認ください。

主な仕様

質量	約 139g
連続通話時間	最大 約 188 分 (GSM 網使用時) 最大 約 172 分 (W-CDMA 網使用時)
連続待受時間	最大 約 227 時間
充電時間	約 75 分
サイズ (W × H × D)	約 51.2 ×約 98.6 × 約 25.8mm

連続通話時間および連続待受時間は、充電を満たした新品の電池パックを装着し、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な利用時間です。使用環境、利用場所の電波状態・機能の設定状況により、ご利用時間が半分以下になることがあります。

サポート情報

このたびはノキアの携帯電話をお買い上げいただきありがとうございます。

ノキアのウェブ･サポートサービスをぜひご活用ください。

■ 携帯電話の使い方を知りたい

チュートリアルでは携帯電話の特徴、シミュレーション、ヒントや使用方法を紹介しています。
http://www.nokia.co.jp/N71/support

■ PC と携帯電話の同期方法は？

Nokia PC suite を使ってカレンダーや連絡先が同期できます。
http://www.nokia.co.jp/pcsuite

■ 携帯電話のソフトウェアをダウンロードしたい

ソフトウェアセクションでダウンロードできます。
http://www.nokia.co.jp/software
Nokia PC Suite には携帯電話と PC を接続してカレ

ンダー、連絡先、音楽ファイルまたは画像の管理をしたり等、様々な機能が備わっています。

■ よくある質問は？

携帯電話やその他のノキア製品についてのよくある質問は FAQ セクションでご覧いただけます。
http://www.nokia.co.jp/faq

■ ノキアの最新情報を知りたい

ニュースメールにご登録いただければ、携帯電話の最新ニュースを中心に、ノキアに関する情報をダイレクトにお届けします。メール会員様だけにお知らせするキャンペーン情報や、プレゼント情報などの特典もいっぱいです。

http://www.nokia.co.jp/N71/support

■ E-mail クライアントについてのご注意

本機には E-mail クライアント機能が搭載されています。本機能をお使いいただくにあたっては次の点にご注意ください。

【E-mail クライアントとは？】
E-mail クライアントとは、インターネットサービスプロバイダ等でご契約されているメールボックスを利用できる機能です。あらかじめ、インターネットサービスプロバイダ等でのメールボックス契約が必要です。ボーダフォンが提供するメールサービス機能とは異なりますのでご注意ください。

1. E-mail クライアントの設定について

E-mail クライアントをご利用いただくにあたってはあらかじめ E-mail クライアントの設定が必要です。（詳細については、「E-mail クライアント設定」(P.172) を参照してください。）アクセスポイントの設定では、[VFJP Access Internet] を選択して下さい。
※ [VFJP MMS] や [VFJP Web] ではご利用いただけません。

2. E-mail クライアント利用時のパスワードについて

通信が開始される際、アクセスポイントのユーザ名とパスワードを確認する画面が表示されます。変更せず、初期設定のままご利用ください。確認画面を表示させずに通信を開始することもできます。アクセスポイントのパスワード確認を「いいえ」に設定してください。

3. 「E メールアドレス」について

E-mail クライアントで送信する場合、From アドレスはお客様が 1. で設定したメールアドレスが From アドレスとなって送信されます。

メールで **新規メール作成** を選択すると、**SMS**、**MMS**、**E-mail** のメニューが表示されますが、

E-mail を選択すると E-mail クライアントが起動しますのでご注意ください。

ボーダフォンのアドレスで E-mail を送信される場合は、**MMS** を選択し送信先の E メールアドレスを入力してください。

4. E-mail クライアントの通信料について

「E-mail クライアント」(取扱説明書等には「リモートメールボックス」または「E-mail」と記載)は、パケットフリーの定額制の対象外となります。また、「E-mail クライアント」をご利用いただくには、インターネットサービスプロバイダ等でメールボックスの契約が必要です。

5. お問い合わせ

携帯電話における E-mail クライアントの設定、利用に関するお問い合わせは、
ノキアジャパンのウェブサイト
http://www.nokia.co.jp/phones/n71/settei.php をご覧頂くか、
ハローノキア (TEL: 0570-0-66542、
メール:http://www.nokia.co.jp/asknokia) までお問い合わせください。

■ ボーダフォン取り扱いアクセサリー覧

アクセサリ名	商品コード
電池パック	NKBF01
急速充電器	NKCAA1
USB 接続ケーブル	NMGE01
ステレオイヤホンマイク for Nokia	NKLAA1
シガーライター充電器	NKJAA1

注意:取扱説明書 (「Nokia 純正アクセサリ」P.205) には、上記以外のアクセサリについても記載されています。ボーダフォンでは上記以外のアクセサリはお取り扱いしておりません。

区点コード一覧表

区点1～3行目	区点4行目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010			、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ

区点1～3行目	区点4行目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
					【あ】					
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢

区点1～3行目	区点4行目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
					【い】					
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
					【う】					
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
					【え】					
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
					【お】					
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
					【か】					
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬

区点1～3行目	区点4行目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
					【き】					
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
					【く】					
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂

区点1～3行目	区点4行目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
					【け】					
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
					【こ】					
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
					【さ】					
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪

区点コード一覧表

区点	区点４行目									
1~3行目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
					【 し 】					
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常

区点	区点４行目									
1~3行目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
					【 す 】					
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
					【 せ 】					
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
					【 そ 】					
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
					【 た 】					
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打

区点	区点４行目									
1~3行目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
					【 ち 】					
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
					【 つ 】					
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
					【 て 】					
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
					【 と 】					
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等

区点	区点４行目									
1~3行目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
					【 な 】					
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
					【 に 】					
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
					【 ぬ 】					
390									濡	
					【 ね 】					
390										禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									
					【 の 】					
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
					【 は 】					
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
					【 ひ 】					
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被

区点	区点４行目									
1~3行目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
					【 ふ 】					
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
					【 へ 】					
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
					【 ほ 】					
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
					【 ま 】					
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
					【 み 】					
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密

区点コード一覧表

区点 1~3行目	区点4行目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
【 む 】										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
【 め 】										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
【 も 】										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
【 や 】										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
【 ゆ 】										
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
【 よ 】										
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
【 ら 】										
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
【 り 】										
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
【 る 】										
466	瑠	塁	涙	累	類					

区点 1~3行目	区点4行目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
【 れ 】										
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
【 ろ 】										
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
【 わ 】										
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辧					
500		辨	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩

区点 1~3行目	区点4行目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙

区点 1~3行目	区点4行目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					

区点 1~3行目	区点4行目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬

区点1~3行目	区点4行目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	門	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

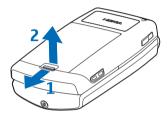
Before use

Insert the USIM card and battery

Glosary: The USIM card is an enhanced version of the SIM card and is supported by UMTS mobile devices.

Keep all USIM cards out of the reach of small children.

With the back of the device facing you, press the release button (1), and lift the cover (2).

Insert the USIM card into the slot. Make sure that the contact area on the card is facing downward and the bevelled corner is positioned as shown (3).

The battery fits into the cover (4). Insert the bottom of battery into the cover (5) making sure that the contacts are at the top right, and press the top of the battery until it clicks into place (6).

The battery may already be inserted into the cover.

Replace the back cover positioning the top first (7), and press the bottom of the cover (8) in until it clicks into place.

Always switch the device off and disconnect the charger before removing the battery.

Memory card

Use only compatible miniSD memory cards with this device. Other memory cards, such as MultimediaCards (MMC), do not fit in the memory card slot and are not compatible with this device. Using an incompatible memory card may damage the memory card as well as the device, and data stored on the incompatible card may be corrupted.

Use your memory card to save the memory on your device. You can also back up information from your device to the memory card.

the memory card (mini secure digital card, miniSD card) You will find the mini SD card in the sales package.

the mini secure digital card (miniSD card) adapter. You do not need the adapter when you use the memory card in your device. The adapter allows you to use the memory card in another compatible device that has a full-size SD card slot.

The memory card may already be inserted in the device.

Insert the memory card

To insert the memory card, open the door of the memory card slot. Place your finger in the recess next to the door, and lift out the door.

Insert the memory card in the slot. Make sure that the contact area on the card is facing up and the bevelled corner is facing towards the slot.

Push the card in. You can hear a click when the card locks into place.

Close the door. You cannot use the memory card if the door is open.

Eject the memory card

1. **Before you eject the card, press the power key, and select Remove mem. card. All applications are closed.**
2. **When Remove memory card and press 'OK' is displayed, open the door of the memory card slot.**
3. **Press and release the memory card to eject it from the slot.**
4. **Remove the memory card, close the door, and select OK.**

Important: Do not remove the memory card in the middle of an operation when the card is being accessed. Removing the card in the middle of an operation may damage the memory card as well as the device, and data stored on the card may be corrupted.

Charge the battery

Connect a compatible charger to a wall outlet.

Connect the power cord to the device. The battery indicator bar starts scrolling. The device can be used while charging. If the battery is completely discharged, it may take a few minutes before the charging indicator is shown.

When the battery is fully charged, the bar stops scrolling. Disconnect the charger, first from the device, then from the wall outlet.

Headset

Connect a compatible headset to the Pop-Port™ connector of your device.

Warning! When you wear the headset, your ability to hear outside sounds may be affected. Do not use the stereo headset where it can endanger your safety.

Wrist strap

Thread the strap as shown, and tighten it.

Modes

Your device has two modes: Fold closed mode and Fold open mode. In Fold open mode there are two distinct positions: video calling (1), the device can be put on a table, for example; and voice calling (2), the device should be held at the ear.

In Fold closed mode, the cover display provides limited functions. You can, for example, read received text messages and use voice commands.

To send messages, answer voice and video calls, and use the applications in your device, use the Fold open mode. To activate this mode, open the fold.

You cannot make emergency calls in Fold closed mode because the keypad is not active. To make an emergency call, use the Fold open mode.

Keys and parts fold open mode

Earpiece (1)

[ ] Selection keys (2) to select the commands and items

[ ] 5-way scroll key (3) to move around the menus. Press the scroll key in the middle to select, accept, or activate.

[ ] Call key (4)

[ ] Edit key (5) opens a list of commands when you edit text

[ ] Menu key (6) opens the main menu

Loudspeaker outlet (7)

Press and hold [ ] (8) as a shortcut to a Web connection

[ ] Clear key (9) deletes text and items

[ ] End key (10)

[ ] Multimedia key (11). Press and hold to start the camera application

Light sensor (12) constantly observes the lighting conditions. This may cause the display and keypad to flash in low light.

Camera unit and lens (13)

Microphone (14)

Keys and parts fold closed mode

Power key (1)

LED flash (2)

Camera unit and lens (3)

Cover key (4)

Cover display (5)

Infrared sensor (6)

Voice key (7)

Loudspeaker outlet (8)

Memory card slot (9)

Pop-Port™ connector (10) for the USB data cable, headset, and other compatible enhancements

Charger connector (11)

Switch the device on

Press and hold the power key.

If the device asks for a PIN code, or lock code, enter the code (displayed as ****), and press . The factory setting for the lock code is 12345.

Internal antenna

Your device has an internal antenna.

Note: As with any other radio transmitting device, do not touch the antenna unnecessarily when the device is switched on. Contact with the antenna affects call quality and may cause the device to operate at a higher power level than otherwise needed. Avoiding contact with the antenna area when operating the device optimizes the antenna performance and the battery life.

When you switch on the device for the first time, it may ask you to set: City, Time, and Date. Use the scroll key and the number keys. To find the city, enter the first letters of the city name. The city you select also defines the time zone for the clock in your device.

The display

Remove the protective plastic films covering the display and the camera lens.

A small number of missing, discoloured, or bright dots may appear on the screen. This is a characteristic of this type of display. Some displays may contain pixels or dots that remain on or off. This is normal, not a fault.

Essential indicators

The device is being used in a GSM network.

3G The device is being used in a UMTS network.

You have a new voicemail message in the Voicemail Centre.

You have one or more unread messages in the **Inbox** folder in **Messag.**.

@ You have received new e-mail in the remote mailbox.

There are messages waiting to be sent in the **Outbox** folder.

You have missed calls.

Shown if Silent mode is active.

The device keypad is locked.

A clock alarm is active.

Calls to the device are diverted to another number.

A headset is connected to the device.

The connection to a headset with Bluetooth connectivity has been lost.

A carkit is connected to the device.

D A data call is active.

A GPRS or EDGE packet data connection is available.

A GPRS or EDGE packet data connection is active.

A GPRS or EDGE packet data connection is on hold.

A UMTS packet data connection is available.

A UMTS packet data connection is active.

A UMTS packet data connection is on hold.

Bluetooth connectivity is on.

Data is being transmitted using Bluetooth connectivity.

A USB connection is active.

An infrared connection is active. If the indicator is blinking, the device is trying to connect to the other device or the connection has been lost.

Keypad lock (keyguard)

Use the keypad lock to prevent the keys from being accidentally pressed.

To lock, in standby mode, press , then . When the keys are locked, is shown on the display.

To unlock in fold open mode, press , then .

To lock the keypad, in fold open mode press the power key, and select **Lock keypad**.

To lock the keypad, in fold closed mode press the power key twice, to select **Lock keypad**, and press the cover key.

When the keypad lock is on, calls may be possible to the official emergency number programmed into your device. Calls to 110, 118 and 119 may not be possible from your USIM card when the keypad lock is on. Unlock the phone and make calls with these numbers.

To turn on the display light when the keypad lock is on, press the power key.

Standby mode shortcuts

Use your display in standby mode for fast access to your most frequently used applications. By default, the active standby mode is on. Select **Tools** > **Settings** > **Phone** > **Standby mode** > **Active standby**.

To switch between applications that are open, press and hold . If memory is low, the device may close some applications. The device saves any unsaved data before closing an application. Leaving applications running in the background increases the demand on battery power and reduces the battery life.

To change the profile, press , and select a profile.

To open the last dialed numbers list, press .

To start a connection to Services, press and hold .

To open multimedia applications, press . To open the camera application, press and hold .

Tips for efficient use

To mark an item in a list, scroll to it, and press and at the same time.

To mark multiple items in a list, press and hold , while you press or . A check mark is placed next to the selected items. To end the selection, release the scroll key, then release . After you select all the items you want, you can move or delete them.

In some situations, when you press , a shorter options list shows the main commands available in the view.

To copy and paste text, press and hold . At the same time, press or to select letters and words, or or to select rows of text. As the selection moves, text is highlighted. To copy the text to clipboard, while still holding , select **Copy**. To insert the text into a document, press and hold and select **Paste**.

Transfer content from another device

Use Nokia PC Suite to copy content from a compatible Nokia device. See the CD-ROM supplied with your device. Nokia PC Suite supports several Nokia device models. For more information on the device supported by each Nokia PC Suite, refer to **www.nokia.co.jp/pcsuite**.

Multimedia Key

To open the shortcut assigned to the multimedia key, press and hold [camera key]. To open a list of multimedia applications, press [camera key]. To open the desired application, press [left], [up], [right] or [select]. To exit the list without selecting an application, press [camera key].

To change the shortcuts, press [camera key], and press [down]. To change the applications that are shown when you press, [camera key] select **Top**, **Left**, and **Right** and the application.

Some shortcuts may be fixed, and you are not able to change them.

Help

Your device has a help function, which provides you instructions and information when using the device. To access it from an application, select **Options** > **Help**.

Example: To view instructions on how to create a contact card, start to create a contact card, and select **Options** > **Help**; or select **Tools** > **Help** to open the instructions for contacts. When you are reading the instructions, to switch between **Help** and the application that is open in the background, press and hold [menu key].

Nokia support on the Web

Check **www.nokia.co.jp/support** or your local Nokia Web site for the latest version of this guide, additional information, downloads, and services related to your Nokia product.

Nokia 純正アクセサリ

Nokia N71 とご利用いただけるアクセサリのバリエーションがさらに広がりました。お客様のコミュニケーションニーズに合ったアクセサリをお選びください。Nokia N71 に対応するアクセサリについていくつかここでご紹介します。

Nokia N71 対応のアクセサリリスト :

オーディオ

Boom Headset	HDB-4
Fashion Stereo Headset	HS-3
Wireless Boom Headset	HS-4W

車載キット

Advanced Car Kit	CK-7W
Mobile Charger	DC-4

データ

Connectivity Cable	CA-53

電源

Travel Charger	AC-4
Battery	BL-5C

メッセージ

Digital Pen	SU-1B

本機に対応するアクセサリについていくつかここでご紹介します。

アクセサリのご購入については、製品お買い上げ店に確認してください。アクセサリのご使用にあたっては、次の注意事項をお守りください。

- お子様の手の届く所に置かないでください。
- アクセサリの電源コードを外す際は、コードではなくてプラグを持って抜いてください。
- 車内の携帯電話機器は、適切に取り付けられ、正常に動作しているか定期的に確認してください。

Nokia が認定した電池、充電器、およびアクセサリのみを使用してください。それ以外の機器を使用すると、本機に対する認定あるいは保証の対象外となるだけでなく、危機が及ぶ場合があります。

電池

タイプ	仕様	連続通話時間 #	連続待受時間 #
BL-5C	Li-Ion	最大約 188 分 (GSM) 最大約 172 分 (W-CDMA)	最大約 227 時間

USIM カード、ネットワークおよび使用設定、使用方法、環境によって、連続通話時間および連続待受時間が異なる場合があります。

Nokia Digital Pen SU-1B

デジタルペンでカラフルで個性的なメッセージを作成し、互換性のある電話機に Bluetooth テクノロジーで送信したり、MMS で転送したりできます。デジタルペンで書いた内容を互換性のある PC に保存することもできます。

Wireless Boom Headset HS-4W

Nokia Wireless Boom Headset をご使用になると、両手が自由になります。会議出席のために急いでいるときでも、散歩中でも、電話に出るためにバッグやコートの中を探す必要はありません。

ハンズフリーの便利さがわかると、この軽量で快適なヘッドセットを手放せなくなります。

仕事でもプライベートでも、生活のニーズとリズムに合わせて洗練されたこの快適な技術が役立ちます。ご活用ください。

- スタイリッシュで快適なワイヤレスヘッドセット
- Bluetooth ワイヤレステクノロジー搭載
- 使いやすいヘッドセットでの通話操作
- 簡単に使えるハンズフリー機能
- 左右の耳への掛け替えが容易
- 状態表示用の LED ランプ付き

Nokia Advanced Car Kit CK-7W

Nokia Advanced Car Kit を利用すると、車内でハンズフリーの通話をすることができます。本アクセサリは、Bluetooth ワイヤレステクノロジを使用しており、様々な種類の互換性のある電話機との通信に幅広く対応します。

主要機能：

- ハンズフリー通話
- ２種類の接続オプション：
  Bluetooth 接続および、Pop-Port™ を利用したケーブル接続
- リモートコントロールボタンを利用した通話操作や音量調節
- カーラジオミュート機能
- 外部ラウドスピーカー出力
- オーディオ音声出力
- ボイスタグ呼出機能 - 電話機からのサポートが必要

電池について

充電と放電

本機は、充電できる電池を電源として使用しています。新しい電池を使用する際には、完全充電と放電のサイクルを 2、3 回繰り返すと、完全に充電できるようになります。電池は数百回充電と放電を繰り返すことができますが、次第に消耗します。使用時間 (通話時間と待受時間) が極端に通常より短くなった場合は、電池を取り替えてください。Nokia 認定の電池以外は使用しないでください。また、Nokia 認定の充電器以外を用いて電池の充電をしないでください。

充電器を使用していないときは、コンセントから外してください。過充電は、電池の寿命を短くする場合がありますので、充電が完了した電池を充電器に接続したまま放置しないでください。完全に充電された電池は使用しなくても徐々に放電します。

電池が完全になくなった状態で充電を開始すると、充電中を示すインジケータが画面に表示されるまで、または電話がかけられるようになるまで数分かかる場合があります。

本来の目的以外にこの電池を使用しないでください。損傷した充電器または電池を使用しないでください。

電池をショートさせないでください。金属物 (コイン、クリップ、またはペン) が電池の金属部分のプラス端子およびマイナス端子 (電池の金属部分) に直接接続した場合、偶発的に電池がショートすることがあります。このような事故は、ポケットまたは財布に予備のバッテリーを携帯している場合などに起こる可能性があります。端子をショートさせると、電池または接続物が損傷することがあります。

夏の閉め切った車中や寒い冬の日など、高温または低温の場所に電池を放置しておくと、電池の容量と寿命が短くなります。電池は常に 15 ℃～ 25 ℃ (59° F ～ 77° F) の温度範囲で保管するようにしてください。高温または低温状態の電池は、完全に充電されていても取り付けたときに一時的に本機が動作しない場合があります。0 ℃以下では、電池の性能が著しく制限されます。

爆発する可能性があるため、火の中へは絶対に電池を投げ込まないでください。電池は、リサイクル処分など地域の条例に従って処理してください。一般廃棄物として廃棄しないでください。

Nokia 純正電池の認証確認

安全のため、必ず Nokia 純正電池をお使いください。Nokia 純正電池を確実に入手できるよう、電池は Nokia の指定販売店から購入してください。パッケージの Nokia Original Enhancements ロゴを確認し、次の手順に従って電池のホログラムラベルを確認してください。

次の手順どおりに確認しても、電池の認定が必ず保証されるわけではありません。電池が Nokia Original Enhancements 認定を受けていない疑いがある場合は、直ちに使用を中止し、ハローノキア（0570-0-66542）にご相談ください。

認証ホログラムでの確認方法

1 電池に付いているホログラムのラベルを確認します。見る角度に応じて、2 つの手のイラストまたは Nokia Original Enhancements ロゴが映し出されます。

2 ホログラムを傾けると、ロゴの周囲にドットが 見えます。ドットは、ロゴの左側に 1 つ、右側に 2 つ、下に 3 つ、上に 4 つあります。

3 ラベルのスクラッチ部分を削って電池に付いている 20 桁の認証コードを確認します (例 : 12345678919876543210)。20 桁の認証コードは、上の段の数字に下の段の数字を続けたものです。

4 20 桁のコードが有効なものかどうかは、www.nokia.co.jp/batterycheck にあるインストラクションで確認できます。

SMS(ショートメッセージ) に 20 桁のコード (例 : 12345678919876543210) を入力し、宛先「+61 427151515」に送信します。SMS の通信には、通信事業者の SMS 料金がかかります。

SMS を送信後、認証コードが有効かどうかを知らせるメッセージが返信されます。

（注１）: 通信事業者によっては SMS による確認をおこなうことが出来ない場合があります。

電池が認定を受けていない場合

ご使用になられている電池のホログラムラベルで、Nokia 純正電池の認証が確認できなかった場合は、電池の使用を中止してください。製造者の承認を受けていない電池の使用は危険な場合があり、性能の劣化および機器やアクセサリの破損に及ぶ場合もあります。また、機器の認証や保証が無効となる場合があります。

Nokia 純正電池について詳しくは、www.nokia.co.jp/batterycheck を参照してください。

SMS による認証コードの確認および送信された携帯電話番号などの管理は、ノキアのオーストラリア法人 (NOKIA AUSTRALIA PTY LTD) およびシンガポール法人 (NOKIA PTE LTD) にて行います。
ノキア製品の安全・安心な使用のため、非純正電池をお使いの場合には、ノキアよりお客様にご連絡を差し上げる場合もございますのであらかじめご了承ください。

お手入れとメンテナンス

本機の製造には、優れたデザインと技術が採用されています。お取り扱いには十分ご注意ください。保証の対象範囲をお守りいただけるよう、次の記載事項をお読みください。

- 湿気のある場所に置かないでください。雨水、湿気、および液体はミネラルを含み、電気回路を腐食させます。本機が濡れた場合、電池を取り外し、本機を完全に乾かしてから取り付けてください。
- ほこりが多く、清潔でない場所で使用または保管しないでください。電話機の可動部と電子部品が損傷することがあります。
- 高温の場所で保管しないでください。高温状態では、電子機器の寿命を短くするだけでなく、電池が損傷したり、特定のプラスチック部品が変形したり、溶けたりする原因となります。
- 低温の場所で保管しないでください。電話機を通常の温度まで暖めると、本体の内部に結露が発生し、電気回路基板に損傷をきたすことがあります。
- 本書で指示された以外の方法で本機を分解しないでください。
- 本機を落としたり、たたいたり、振ったりしないでください。手荒に取り扱うと、内部の回路基板と優れた構造に損傷をきたすことがあります。
- 本機のお手入れをする場合、刺激の強い化学薬品、洗浄液、または強い洗剤を使用しないでください。
- 本機を塗装しないでください。塗装すると装置の可動部を詰まらせ、適切に動作しなくなることがあります。
- レンズ (カメラレンズ、近接センサー、ライトセンサーレンズ等) のお手入れには、柔らかくて清潔な、乾いた布をお使いください。
- 付属の、または Nokia が認定した交換アンテナのみを使用してください。無許可のアンテナ、改造、付属品の取り付けは、電話機の損傷の原因となり、無線装置についての規定に違反する場合があります。
- 屋内で充電してください。
- 本機をサービス機関に送るときは、電話帳やカレンダーなどのデータのバックアップを必ず作成するようにしてください。

これらの注意事項は、電話機の本体、電池、充電器、またはその他のアクセサリすべてに適用されます。適切に動作しない機器がある場合は、製品お買い上げ店までご相談ください。

安全についての追加情報

本機やアクセサリには、小さな部品が付いています。小さい子供の手の届くところに置かないでください。

操作環境

本機の利用について特別な規則がある場所では、それらの規則に従ってください。本機の使用が禁止されている、または電波干渉や危険な事態を引き起こす可能性がある場合は、本機の電源を入れないでください。本機を通常の操作位置以外で、ご使用にならないでください。本機は、人体から最低 2.2cm 離した位置で使用された場合と、通常の耳元での操作位置で使用された場合に電波防護指針のガイドラインに適合します。本機をキャリーケース、ベルトクリップ、またはホルダーとともに人体に身に付ける場合は、金属製物質と一緒に身に付けず、本機が人体から最低 2.2 cm 離れたところに位置するようにしてください。

データファイル、またはメッセージを転送するために、本機はネットワークとの状態の良い接続を必要とします。場合によっては、データファイル、またはメッセージの転送は、ネットワークの状態が良くなるまで遅れることがあります。転送が完了するまで本機が人体から 2.2cm 離れていることを確認してください。

本機は磁気部品を使用しており、金属物が本機に引き寄せられる場合があります。本機の近くにクレジットカードや、その他の磁気記憶媒体を置かないでください。記憶された情報が消去されてしまうことがあります。

医療機器

携帯電話を含む無線送信機の動作は、十分に保護されていない医療機器の機能を妨害する可能性があります。医療機器が外部の電波から十分に遮蔽されているかを判断する際、またはご不明な点がありましたら、医師または医療機器メーカーにご相談ください。医療施設などで本機の電源を切るよう規則が掲示してある場合は、その指示に従ってください。病院または医療施設では、外部の電波に対して感度の高い電気医療機器を使用している場合があります。

ペースメーカー

ペースメーカー製造業者は、ペースメーカーの誤作動を防ぐため、携帯電話をペースメーカーから 15.3cm 以上離すことを勧めています。以下の勧告は、「Wireless Technology Research」が独自に行った研究に基づいて推奨されるものです。ペースメーカーを装着されている方は、次の事項を守ってください。

- 常に本機をペースメーカーから 15.3cm 以上離してください。
- 胸ポケットに本機を入れて持ち運ぶのはおやめください。
- ペースメーカーの誤作動を最小限にするため、ペースメーカーを装着している側の反対の耳で本機をご使用ください。

ペースメーカーの誤作動が疑われる場合は、すぐに本機の電源を切り、本機を離れたところに置いてください。

補聴器
デジタル無線機が一部の補聴器の動作を干渉する場合があります。万が一、そのような干渉があった場合は、ご契約されているサービスプロバイダまでご相談ください。

乗り物

電波は、適切に取り付けられていない、または十分に遮蔽されていない自動車の電子装置 (電子燃料噴射システム、電子アンチロックブレーキ装置、電子速度制御装置、およびエアバック装置など) に影響を与える場合があります。詳しい情報につきましては、自動車および追加装備した装置のメーカー、または代理店にご確認ください。

資格を有するスタッフ以外は、本機の修理、または自動車への本機の取り付けをしないでください。誤った取り付けや修理は危険を伴うことがあるだけでなく、本機に適用されるすべての保証が無効になる場合があります。車内の無線機は、適切に取り付けられ、正常に動作していることを定期的に確認してください。可燃性の液体、ガス、または爆発性物質を、本機、その部品、またはアクセサリと一緒に車内に保管、または持ち運ばないでください。エアバックを装備した自動車では、エアバックが強い力で膨らみます。エアバックの上の部分、またはエアバックが膨らむ範囲に、固定無線機と移動無線機の両方を含めて、物を置かないでください。車内の無線機が適切に取り付けられていない場合、エアバックが膨らんだときに重傷を負うことがあります。

飛行中に本機を使用することは禁止されています。航空機に搭乗する前に本機の電源を切ってください。航空機内で携帯電話を使用すると、航空機の操作に危険をもたらし、無線通信が混信する原因にもなります。また機内での携帯電話の使用は違法となる場合もあります。

爆発の危険がある場所

爆発の危険がある場所では、本機の電源を切り、すべての標識や指示に従ってください。爆発の危険がある場所とは、通常自動車のエンジンを停止するよう指示されている場所を含みます。そのような場所で発生する火花は、爆発または火災の原因となり、怪我や死につながる恐れがあります。ガソリンスタンドの

ガソリンポンプの近くといった給油地点では、本機の電源を切ってください。給油箇所、燃料貯蔵、燃料販売場所、化学工場、または爆破作業が行われている現場での無線機の使用に関する規制に従ってください。爆発の危険がある場所は、たいていの場合は明確に表示されていますが、常にそうであるとは限りません。そのような場所としては、船のデッキの下、化学物質の搬送または保管施設、液化石油ガス (プロパンまたはブタン等) を使用する自動車、大気中に結晶粒、ほこり、または金属粉末といった化学物質または微粒子が含まれる場所があります。

緊急通報

重要： 他の携帯電話と同じように、本機は無線信号、無線ネットワーク、有線ネットワーク、およびお客様によってプログラムされた機能も使用しているため、すべての条件で接続を保証できるものではありません。従って、救急車を呼ぶ場合といった非常に重要な連絡には、無線機だけに頼らないようにしてください。

緊急電話番号に電話をかけるには

1 **本機の電源が入っていない場合は、電源を入れます。電波が十分に届いていることを確認してください。**

ネットワークによっては、有効な USIM カードを電話機に挿入するよう要求される場合があります。

2 **必要な数だけ を押して画面をクリアし、電話がかけられる状態にします。**

3 **現在いる地域の緊急電話番号を入力します。地域によって緊急電話番号は異なります。**

4 **を押して電話をかけます。**

使用中の機能によっては、緊急電話番号に電話をかける前に機能を終了する必要があります。本機がオフラインモードまたはフライトモードの状態で緊急電話番号に電話をかけるには、モードを変更して電話の機能を有効にする必要があります。詳細は本書を参照の上、ご契約されているサービスプロバイダにお問い合わせください。

緊急電話番号に電話をかける場合、必要な情報をできる限り正確に伝えることを心がけてください。事故現場では、お客様の無線機が唯一の通信手段となる場合があります。指示があるまでは電話を切らないでください。

証明情報 - 携帯電話機の比吸収率

このモデルの携帯電話は、電波防護指針に適合しています。

本機は無線送受信機です。本機は、国際ガイドライン推奨の電波暴露限度を超えないよう設計されていま

す。これらのガイドラインは、独立科学機関 ICNIRP によって策定されており、年齢や健康状態に関係なく、すべての人の安全を確保するのに十分は安全率を含んでいます。

携帯電話の電波防護指針には、SAR(比吸収率) という測定単位を採用しています。ICNIRP ガイドラインで指定される SAR 限度は、生体組織 10g あたり 2.0W/kg(ワット / キログラム) です。SAR 試験は、すべての試験周波数帯において通常の電話機の操作位置で、認証を受けた最大送信電力で行われます。操作中の電話機の実際の SAR レベルは、その最大値を下回る値となります。これは、ネットワークとの通信に必要最小限の送信電力となるように、電話機が設計されているためです。実際の値は、基地局にどのくらい近い位置にいるか等といった様々な要因によって異なります。本機を耳元で使用した試験の場合、ICNIRP ガイドラインに基づいた SAR の最大値は、0.41W/kg です。

デバイスアクセサリやアクセサリの使用は、異なる SAR 値になる場合があります。SAR 値は、各国の報告用件、試験要求事項、およびネットワークの帯域によって異なる場合があります。SAR の追加情報については、www.nokia.com にある製品情報でご覧ください。

保証とアフターサービス

保証について

Vodafone 804NK 本体をお買い上げいただいた場合には保証書が付いております。

本製品の故障、または不具合などにより、通話などの機会を逸したためにお客様または第三者が受けた損害につきましては、ボーダフォンは責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。
- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間外の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

修理を依頼される場合

「サポート情報」(P.188) を参照の上、もう一度お確かめください。それでも異常がある場合は、ご契約いただいたボーダフォン各地域の故障受付 (「お問い合わせ先一覧」P.216) または、最寄りのボーダフォンショップへご相談ください。その際にできるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

お問い合わせ先一覧

■ サービス、紛失、故障について

お問い合わせは、次の窓口までご連絡ください

ボーダフォンお客様センター 総合案内： ボーダフォン携帯電話から 157(無料) 故障・故障受付： ボーダフォン携帯電話から 113(無料)

一般電話からおかけの場合

ご契約地域

・ 北海道、青森県、秋田県、岩手県、山形県、宮城県、福島県、新潟県、東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県、栃木県、群馬県、山梨県、長野県、富山県、石川県、福井県

総合案内	0088-240-157（無料）
紛失・故障受付	0088-240-157（無料）

・ 愛知県、岐阜県、三重県、静岡県

総合案内	0088-241-157（無料）
紛失・故障受付	0088-241-157（無料）

・ 大阪府、兵庫県、京都府、奈良県、滋賀県、和歌山県

総合案内	0088-242-157（無料）
紛失・故障受付	0088-242-157（無料）

・ 広島県、岡山県、山口県、鳥取県、島根県

総合案内	0088-259-157（無料）
紛失・故障受付	0088-259-157（無料）

・ 徳島県、香川県、愛媛県、高知県

総合案内	0088-247-157（無料）
紛失・故障受付	0088-247-157（無料）

・ 福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

総合案内	0088-250-157（無料）
紛失・故障受付	0088-250-157（無料）

ボーダフォン国際コールセンター
海外からのお問合せおよび盗難・紛失のご連絡
+81-3-5351-3491(有料)

ボーダフォンで取り扱いのないアクセサリのお問い合わせは、ノキアコンタクトセンター「ハローノキア」までご相談ください。

ハローノキア
TEL: 0570-0-66542
メール: http://www.nokia.co.jp/asknokia

索引

あ

か

さ

た

な

は

ま